

機械設備図 リスト					
図面番号	図面名称	図面番号	配置図		
M-01	工事仕様書（機械設備）－ 1	M-26	換気設備 平面図（増築棟）		
M-02	工事仕様書（機械設備）－ 2	M-27	空調設備 1 階平面図（既存棟 改修前）		
M-03	工事仕様書（機械設備）－ 3	M-28	空調設備 1 階平面図（既存棟 改修後）		
M-04	付近見取図・現況配置図	M-29	空調設備 2 階平面図（既存棟 改修前）		
M-05	計画配置図	M-30	空調設備 2 階平面図（既存棟 改修後）		
M-06	機械設備 工事工程概要書	M-31	換気設備 1 階平面図（既存棟 改修前）		
M-07	給排水衛生設備 現状外構図（準備工事撤去図）	M-32	換気設備 1 階平面図（既存棟 改修後）		
M-08	給排水衛生設備 現状外構図（準備工事改修図）	M-33	換気設備 2 階平面図（既存棟 改修前）		
M-09	給排水衛生設備 配置図	M-34	換気設備 2 階平面図（既存棟 改修後）		
M-10	給排水衛生設備 外構各詳細図	M-35	自動制御設備 既存棟・増築棟 1 階平面図（増築棟準備工事）		
M-11	給排水衛生設備 衛生機器表・衛生器具表（増築棟・既存校舎棟）	M-36	自動制御設備 平面図（増築棟）		
M-12	給排水衛生設備 既設校舎棟 1 階天井配管平面図（増築棟準備工事）	M-37	自動制御設備 屋根伏図（増築棟）		
M-13	給排水衛生設備 平面図（増築棟）	M-38	自動制御設備 1 階平面図（既存棟 改修前）		
M-14	給排水衛生設備 天井配管平面図（増築棟）	M-39	自動制御設備 1 階平面図（既存棟 改修後）		
M-15	給排水衛生設備 既存改修 普通教室（既存 1 階職員室）平面詳細図	M-40	自動制御設備 2 階平面図（既存棟 改修前）		
M-16	給排水衛生設備 既存改修 和室→会議室 改修図	M-41	自動制御設備 2 階平面図（既存棟 改修後）		
M-17	給排水衛生設備 既存改修 2 階平面図（消火設備）	M-42	自動制御設備 既存系統図・機器表（参考図）		
M-18	給排水衛生設備 既存改修 WC 改修図－ 1				
M-19	給排水衛生設備 既存改修 WC 改修図－ 2				
M-20	給排水衛生設備 既存改修 WC 改修図－ 3				
M-21	空調換気設備 新設空調機器表（増築棟・既存棟改修）				
M-22	空調換気設備 既設移設・撤去空調機器表（既存棟改修）				
M-23	空調換気設備 新設・移設・撤去換気機器表（増築棟・既存棟改修）				
M-24	空調設備 平面図（増築棟）				
M-25	空調設備 屋上平面図（増築棟）				

工 事 仕 様 書 （機械設備）

I. 工事概要

1. 工 事 名 称 西部地区小学校灾害復旧工事

2. 工事場所 輪島市門前町清水10の21番地

3. 完 成 期 日 令和 年 月 日 （余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。）
指定部分 ・ 無 ・ 有（指定期日：令和 年 月 日）対象部分（ ）
概成工期 ・ 無 ・ 有（令和 年 月 日）（積算工期 ： か月） （1.2.1(6)）

4. 建物概要

建築物名稱	構造	階數	延面積 (㎡)	消防令別表第一	備考
既設門前中學校	RC造	2階建(塔屋 階)	7,062.09	7項	
増築棟	RC造	1階建(塔屋 階)	556.61	7項	

5. 別契約の関連工事

・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 給排水衛生設備工事 ・ 空調調和設備工事 ・ 構内交換設備工事
・ 昇降機設備工事 ・ 自家発電設備工事 ・ 厨房機器設備工事 ・ 屋外付帯工事 ・ 植栽工事

6. 工事内容

・準備工事：増築棟工事の為の外構給排水設備の撤去切り回し工事
・増築棟工事：増築棟の給排水衛生設備工事及び空調換気設備工事、既設配管からの分岐・接続工事
・既設校舎棟改修工事：既設校舎棟1階職員室、校長室及び2階会議室、生徒会ラウンジを普通教室に改修、1階和室を会議室に改修する為の給排水衛生設備工事及び空調換気設備工事
又、1階2階各所便所の和風便器を腰掛便器に改修、建築工事に伴って床仕上げ改修を行う為、既設各衛生器具の取外し復旧工事を行う。

II. 工事仕様

1. 一般仕様

1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。

2. 特記仕様

章は●印の付いたものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。

◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

章	項	目	特 記 事 項
● 一 般 事 項	1	工事実績情報	請負金額5,000千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。(1.1.4)
	2	施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。(1.1.5(3))
	3	他工事との 取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表－1によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合わせる。(1.1.7)
	4	工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末ごとに提出する。(1.2.4)
	5	施工条件	<p>○ 新築工事 ○ 改修工事 ◎ 執務並行改修 ・ 全館無人改修 (1.3.3)</p> <p>・ 工事用車両の駐車場所等は図示による。(改1.3.3)</p> <p>・</p>
	6	発生材の処理等	<p>・ 引渡しを要するもの(・) (1.3.9(2))</p> <p>・ 特別管理産業廃棄物(・ 廃石綿(エルボ保温、パッキン) ・)</p> <p>・ 現場で再利用を図るもの(・)</p> <p>・ 再資源化を図るもの(・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材)</p>
	7	再使用機材	・ 取外し後再使用するものは図示による。(改1.4.3)

●

一

般

8 事前調査

9 養生

10 撤去等

11 環境への配慮

12 機材の品質等

13 一級技能士の適用

14 工事の創意工夫等

15 化学物質の濃度測定

16 中間検査

17 完成図

18 保全に関する資料

19 足場類

20 工事用水等

21 仮設間仕切・扉

●
共通事項

石綿含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所） ・ 行わない

1) 既存部分の養生範囲は、図示による。

2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。

1) 回収を要する機器及び配管の内容物 ○ 冷媒 ・ 吸収液 ・ 廃油

2) 石綿の撤去は、図示による。

3) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。

1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。

・ 吸収冷暖水機 ・ 水蓄熱式空調機器 ・ 送風機 ・ ポンプ

・ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 ・ 下塗用塗料（重防食）

・ 大便器 ・ 自動洗浄装置及びその組込み小便器 ・ 自動水栓

2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。

① JIS又はJASの☆☆☆☆規格品

② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品

③ 下記表示のあるJAS規格品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用

d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。

ただし、仮設に使用する機材は新品に限らない。

2) 機器類の能力、容量等は図示された数値以上とする。

3) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として図示された数値以下とする。

4) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建筑材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

③安定的な供給が可能であること。

④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。

⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。

機 材 名 称			
ボイラー	空気調和機	ポンプ類	タンク
温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置
冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器
冷却塔	送風機類	衛生器具ユニット	鋳鉄製ふた

○ 配管（建築配管） ○ 建築板金（ダクト製作及び取付け）

○ 熱絶縁施工（保温保冷水工） ・ 厨房設備施工（厨房機器据付け及び整備）

○ 冷凍空気の調和機器施工（冷凍機、パッケージ形空気調和機据付け、整備及び冷媒配管）

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

建築物の室内空気中の濃度測定を ○ 行う ・ 行わない

測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。

中間検査の実施 ・ 無 ・ 有（時期 ・ 天井地下地完了時 ・ ）

原因及び製本（等倍 1 部、A3縮小 2 部）提出する。

保全に関する資料は次のとおり、2 部提出する。

①建築物等の利用に関する説明書※

②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも）

③機器性能試験成績書（総合試運転調整報告書とも）

④官公署届出書類

※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き

手引きのダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.htm

内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。

○ 既存施設に量水器等を設けて使用できる（有償） ・ 水道局引込み等

設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。

下記の項目の測定報告書（測定箇所は監督員の指示による）を提出する。

○ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外気中の温湿度の測定

・ 室内気流及びじんあいの測定 ○ 騒音の測定 ・ 振動の測定

○ 飲料水の水質測定（・ 11項目 箇所 ○ 16項目 箇所）

○ 雑用水の水質測定（建築物環境衛生管理基準による。）

●

共通

通

事項

章	項 目	特 記 事 項																	
●	2 配管等	1) 仕切弁はJIS又はJV (○ 5K (○ 10K (水道直結等の図示部分)) とする。 (2.2.1) 2) 絶縁継手の取付け箇所は、図示による。 (2.2.12) 3) 建物導入部の変位吸収方法は次による。ただし、排水及び通気配管を除く。 (2.4.1(3)) 標準図 (・ (a) フレキシブルジョイント ・ (b) ・ (c)) による。(2.5.7(1)) 4) 呼び径60Su以下のステンレス鋼管は、(・ プレス ・ 拡張 ・) 接合とする。 5) ポリエチレン管の接合方法は、(○ 電気融着 ・ メカニカル) とする。 (2.5.10(2)) 6) 溶接部の非破壊検査を ・ 行う ・ 行わない (2.5.15.12(7)) 7) 地中埋設標の設置箇所は、図示による。 (2.7.1(8)) 8) 埋設表示用テープ (倍折) を土被り150mm程度の深さに埋設する。 (2.7.1(9)) 9) 埋設深さは、図示が無い場合、車両道路 (○ 60cm ・)、 (2.7.2) その他 (○ 30cm ・) 以上とする。																	
	3 防凍保温	屋外露出部(給水管、消火管、膨張管、冷温水管、弁類を含む)は 防凍保温を行い、保温材の厚さは配管の呼び径25mm以下のものは50mm以上、それ以外は40mm以上とする。 (3.1.6)																	
	4 塗装	下記の垂鉛めつきを施した露出ダクト及び露出配管は、塗装を行わない。 (3.2.1.1) (○ 機械室 (エレベーター機械室) (○ 電気室 (自家発電) (○ 倉庫 ・																	
	5 吊り及び支持金物の防錆	多湿トレンチ内等の吊り金物、支持金物類は溶融亜鉛めつき処理又はステンレス鋼製とする。 (3.2.2.1)																	
	6 監督員事務所等	1) 監督員事務所を ※ 設けない ・ 設ける[・ 1号 (10㎡程度) ・ 2号 (20㎡程度)] 2) 監督員事務所に設ける備品等 (4.1.1(4)) ・ 保護帽 ・ 墜落制止用具 ・ 長靴 ・ 合羽 ・ 机 ・ 椅子 ・ 懐中電灯 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 寒暖計 ・ ・																	
	7 快適トイレ (快適トイレ実施要領に基づく)	3) 設計図を工事監理用に製本 (等倍 1部、A3縮小 2部) し、監督員事務所等に置く。 ・ 快適トイレを設置する ・ 快適トイレを設置しない (別途工事で設置等) ※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。																	
	8 工事現場の表示板	工事現場には、下記表示板を設置する。 (記入例) (4.1.1(7)) <div><div>上段の地色は白色 文字は青色 下段の地色は青色 文字は白色</div><div><table><tr><th colspan="2">工 事 名</th></tr><tr><td>工 期</td><td>自 年 月 日 〜 至 年 月 日</td></tr><tr><td>発注者</td><td>輪島市教育委員会教育総務課</td></tr><tr><td>設 計</td><td>(建築・設備委託業者名を記入)</td></tr><tr><td>監 理</td><td>(建築・設備委託業者名を記入)</td></tr><tr><td>施 工</td><td>建 築 (施工業者名を記入)</td></tr><tr><td></td><td>電 気 (施工業者名を記入)</td></tr><tr><td></td><td>機 械 (施工業者名を記入)</td></tr><tr><td colspan="2">この工事は、週休 2 日に取り組んでいます</td></tr></table></div><div>60cm 〜75cm</div><div>90cm</div></div>	工 事 名		工 期	自 年 月 日 〜 至 年 月 日	発注者	輪島市教育委員会教育総務課	設 計	(建築・設備委託業者名を記入)	監 理	(建築・設備委託業者名を記入)	施 工	建 築 (施工業者名を記入)		電 気 (施工業者名を記入)		機 械 (施工業者名を記入)	この工事は、週休 2 日に取り組んでいます
工 事 名																			
工 期	自 年 月 日 〜 至 年 月 日																		
発注者	輪島市教育委員会教育総務課																		
設 計	(建築・設備委託業者名を記入)																		
監 理	(建築・設備委託業者名を記入)																		
施 工	建 築 (施工業者名を記入)																		
	電 気 (施工業者名を記入)																		
	機 械 (施工業者名を記入)																		
この工事は、週休 2 日に取り組んでいます																			
9 埋め戻し土	設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。 ※ 根切り土の中の良質土 (ただし、管の周囲は山砂) ・ 山砂 (4.2.1(4))																		
10 建設発生土の処理	・ 現場内で処理 (4.2.1(5)) ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し (○ 場外搬出適正処理 (「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。) ※ 指定 (想定) 搬出先 受入場所： 受入時間帯： 時 分〜 時 分 仮置き等：																		
11 はつり	1) 放射線透過検査を ・ 行う ※ 行わない (但し、鉄筋探査は行う。) (改4.1.2) 2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。 (改4.1.3) 3) 既設基礎の解体、撤去後の床補修は、図示による。 (改4.1.5)																		
12 あと施工アンカー	1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。 (改5.2.1) 2) 施工後確認試験 (引張試験) を ・ 行う (箇所) (○ 行わない (改5.2.3)																		
13 県内産材料	石川県建設工事標準請負契約約款 (以下「請負契約約款」という。) 第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。																		
14 材料検査	請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・ 熱源機器 (○ 空調機器 ・ ポンプ類 ・ ダクト及び付属品 (○ 衛生器具 ・ タンク類 ・ 消火機器 ・ 合併処理槽 ・ 厨房機器 ・																		
15 工事写真等の記録	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領 (令和3年改定)」による。																		

最終改訂 R 7. 10. 1

工事名	西部地区小学校災害復旧工事	番号	M-01
図面名	工事仕様書（機械設備）－ 1	縮尺	_____
設 計	輪島市 教育委員会 教育総務課		

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●</

章	項 目	特 記 事 項						
●	25 公共事業労務費調査の協力	<p>2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にＣＤ－Ｒ、ＤＶＤ－Ｒ又はＢＤ－Ｒで１部納品する。</p> <p>3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。</p> <p>工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。</p> <p>受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。</p> <p>① 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をする。</p> <p>② 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力する。</p> <p>③ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賞金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賞金時間管理を適切に行う。</p> <p>④ 下請負に付する場合には、当該下請工事受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）が前各号と同様の義務を負う旨を定める。</p>						
●	26 事故の補償	<p>受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む）</p>						
●	1 煙道	<p>ばい煙濃度計取付座、ばいじん量測定口、伸縮継手及び掃除口は図示による。（1.1.2）</p>						
●	2 冷媒	<p>パッケージ形空気調和機等の冷媒の種類は、図示による。（1.7.5.15）</p>						
●	3 ダクト	<p>1) 低圧ダクト ・ アングルフランジ工法 (○) スパイラルダクト (1.14.3.1～2)</p> <p>(○) コーナーボルト工法 (・) 共板フランジ ・ スライドオンフランジ</p> <p>2) 高圧ダクトの適用範囲は図示による。</p>						
●	4 チャンバー	<p>3) 厨房用長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書の１ランク厚いものを使用する。（1.14.3.5）</p> <p>消音内貼りを施すチャンバーは、図示による。（1.14.6.(1)）</p>						
●	5 風量測定口	<p>取り付け位置は、図示による。（2.2.5.5）</p>						
●	6 基礎	<p>防振基礎は、図示による。（2.1.1(3)）</p>						
●	7 配管材料	<p>1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ (2-2.1.2.1)</p> <p>2) 冷却水管 ・ ポリ粉体ライニング鋼管(PB) ・</p> <p>3) 蒸気管 給気管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) ※ 配管用炭素鋼鋼管(黒) (2-2.1.2.2)</p> <p>還管 ※ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) ・</p> <p>4) 油管 屋内 ・ 配管用炭素鋼鋼管(黒)</p> <p>地中 ・ ポリエチレン被覆鋼管(PLS(PE1H))</p> <p>屋外露出、暗渠 ・ 硬質塩化ビニル被覆鋼管(PLV)</p> <p>5) 冷媒配管 ※ 断熱材被覆鋼管 ・ 銅管 (2-2.1.2.4)</p> <p>6) 空調用ドレン管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) (2-2.1.2.6)</p> <p>(○) 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)(屋内露出を除く)</p> <p>7) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラーへの給水管は配管用炭素鋼鋼管(白)とする。</p>						
●	8 伸縮管継手	<p>鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。（2-2.2.7.1）</p>						
●	9 瞬間流量計	<p>・ 着脱形 ・ 固定形 を設ける。（2-2.3.8）</p>						
●	10 保温	<p>1) 還りダクト（ＲＡダクト）の保温範囲は図示による。（2-3.1.4）</p> <p>2) 外気取入れダクト（ＯＡダクト）の保温範囲は図示による。</p> <p>3) 外壁２ｍ以内のダクト及び多湿箇所（図示の範囲）のダクトは保温（25mm厚）を行う。</p> <p>4) 膨張タンクよりボイラーへの補給水管の保温は、温水管の項による。</p> <p>5) 建物内の空気抜き管の保温は、温水管の項による。</p> <p>6) 冷媒管の保温外装は次表による。</p> <table border="1"> <tr> <td>屋内露出</td><td>・ 合成樹脂製カバー</td><td>(○) 保温化粧ケース(既設改修部)</td></tr> <tr> <td>屋外露出</td><td>・ ステンレス鋼板</td><td>(○) 保温化粧ケース(既設改修部)</td></tr> </table>	屋内露出	・ 合成樹脂製カバー	(○) 保温化粧ケース(既設改修部)	屋外露出	・ ステンレス鋼板	(○) 保温化粧ケース(既設改修部)
屋内露出	・ 合成樹脂製カバー	(○) 保温化粧ケース(既設改修部)						
屋外露出	・ ステンレス鋼板	(○) 保温化粧ケース(既設改修部)						
●	11 冷媒(フロン類)の回収	<p>1) 業務用冷凍空調機器等（エアコンディショナー、冷蔵機器、冷凍機器等）で「フロン排出抑制法」の対象となっている機器 (改2.4.3)</p> <p>(○) 「第一種フロン類充填回収業者登録通知書」の写しを提出する。</p> <p>(○) 「フロン類引取証明書」を提出する。</p> <p>2) 家庭用のエアコン等で「家電リサイクル法」の対象となっている機器</p> <p>・ 「特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)」の写しを提出する。</p>						
●	1 システム構成	<p>図示による。（1.1.1(2)）</p>						
●	2 電源装置	<p>無停電電源装置は、図示による。（1.4.2.9）</p>						
●	3 電気計装用配線	<p>原則、配線はＥＭケーブル等とし、天井隠ぺい部は、図示がなければケーブル配線とする。（1.5.1)(2.3.1）</p>						
●	1 水栓	<p>水抜栓を使用する系統の水栓は、固定こま式とする。台所流し水栓は泡沫式とする。（1.1.6）</p>						
●	2 量水器	<p>1) ・ 親メーター(・ 貸与品 ・ 買取) ・ 子メーター(・ 買取 ・) (2-2.2.16)</p> <p>2) 量水器樹 ・ 水道事業者指定品(・ 貸与品 ・ 買取) ・ 標準図 M C 形 (1.8.4)</p>						
●	3 汚水用 水中ポンプ	<p>水中ケーブルの長さは、図示による。（1.2.7）</p>						
●	4 タンクの保温	<p>ステンレス鋼板製タンクの保温を ・ 行う ・ 行わない (1.4.2.4)(1.4.2.5)</p>						

章	項 目	特 記 事 項				
● 給 排 水 衛 生 設 備	5 緊急遮断弁装置	受水槽、高架水槽に設ける緊急遮断弁装置は、図示による。(2-2.2.22)				
	6 配管材料	1) 給水管 一般 ○ ポリ粉体ライニング鋼管(PB) ・ ステンレス鋼鋼管 (2-2.1.2.5) ・ 厨房、浴室等のシンダー内配管はポリ粉体ライニング鋼管(PD) 地中 ○ ポリ粉体ライニング鋼管(PD) ・ ステンレス鋼鋼管 ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ・ 水道用ポリエチレン管 引込管（直結部分）は水道事業者指定のものとし、図示による。加入負担金は別途 2) 給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラーなどへの補給水管を含む。） ・ 銅管（壁又は床埋設は、被覆鋼管又は保温付被覆鋼管としてもよい。） ○ ステンレス鋼鋼管 ・ 耐熱性塩化ビニルライニング鋼管 3) 消火管 一般 ○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 地中 ○ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(VS) 4) 排水管 屋内 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層管(VP) (2-2.1.2.6) ○ リサイクル発泡三層管(RF-VP) ・ 耐火二層管(RF-VP) 屋外 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 圧送 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 5) 通気管 屋外 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層管(VP) 屋内 ○ リサイクル発泡三層管(RF-VP) ・ 耐火二層管(RF-VP)				
	7 洗面器等の 排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。(2-2.4.8)				
	8 満水試験継手	取付け位置は、図示による。(2-2.9.4)				
	○ ガ ス 設 備	1 配管材料	1) 屋内 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) (2.1.1)(3.1.1) 2) 地中 ・ ポリエチレン被覆鋼管(PLS(PE1H)) ・ ガス用ポリエチレン管 3) 屋外露出、暗渠 ・ 硬質塩化ビニル被覆鋼管(PLV) ・ 配管用炭素鋼鋼管(白)			
		2 メーター	・ 親メーター（ ・ 貸与品 ・ ） ・ 子メーター（ ・ 買取 ・ ） (2.1.7)(3.1.3.4)			
		3 ガス漏れ 警報器	・ 本工事（図示による） ・ 別途工事 (2.1.3)(3.1.3.6)			
		4 その他	ガス遮断装置、漏洩検知装置、電気防食措置、ボンベの転倒防止措置は、図示による。			
○ 浄 化 槽 設 備	1 配管材料等	1) マンホールふた ・ ボルトロック式 ・ メーカー標準ロック式 (2.1.27) 2) 管材や弁類は、図示による。(2.1.30)				
	2 山留め	山留め壁 ・ 要（図示による。） ・ 不要 (2.2.1(㍿))				
	3 維持管理	工事引渡後6ヶ月間は受注者が維持管理を行い、7条検査を受検し、その報告を行う。(2.2.2)				
(別表－1) 他工事との取り合い						
開 口 部	工 事 内 容		機械	電気	建築	備 考
	はり、床、壁の貫通部 （ＲＣ造）	スリーブ、仮枠、穴埋共	●			S造は建築
		補 強 筋			●	建築図面に図示
		ボ ー ド 類 切 込 み	●			
	天井、壁の切り込み	下 地 補 強			●	建築図面に図示
外部取付ガラリ（ダクト、チャンバの接続用フランジを含む）					●	建築図面に図示
レンジフードファン、フード（取付枠共）及び流し台（排水トラップ共）					●	
洗面所、手洗所等の大型鏡、はめ込型洗面器用カウンター及び身障者用手すり			●		●	
下流し、足洗い場及び玄関の排水			●			
床、天井、壁の点検口及び床下水槽のマンホール蓋					●	建築図面に図示
屋内外設備（受水槽、ポンプ等）の基礎					●	建築図面に図示
屋上設備の基礎					●	建築図面に図示
地下油タンク室等のコンクリート工事					●	建築図面に図示
油サービスタンの防油堤					●	
ボイラーの煙突及びプロパンボンベ庫（既製のものは機械）					●	
実験台(陶器製流し、化学水栓、ガス栓及びコンセント共付属品を含む)					●	
実験台への配管及び配管接続			●			
電 気 配 線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）		●			二次側
	機器付属の制御盤への電源供給の配管配線			●		一次側
	制御盤と動力盤間の電源供給及び操作回路の渡り配管配線			●		
	機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線		●	●		

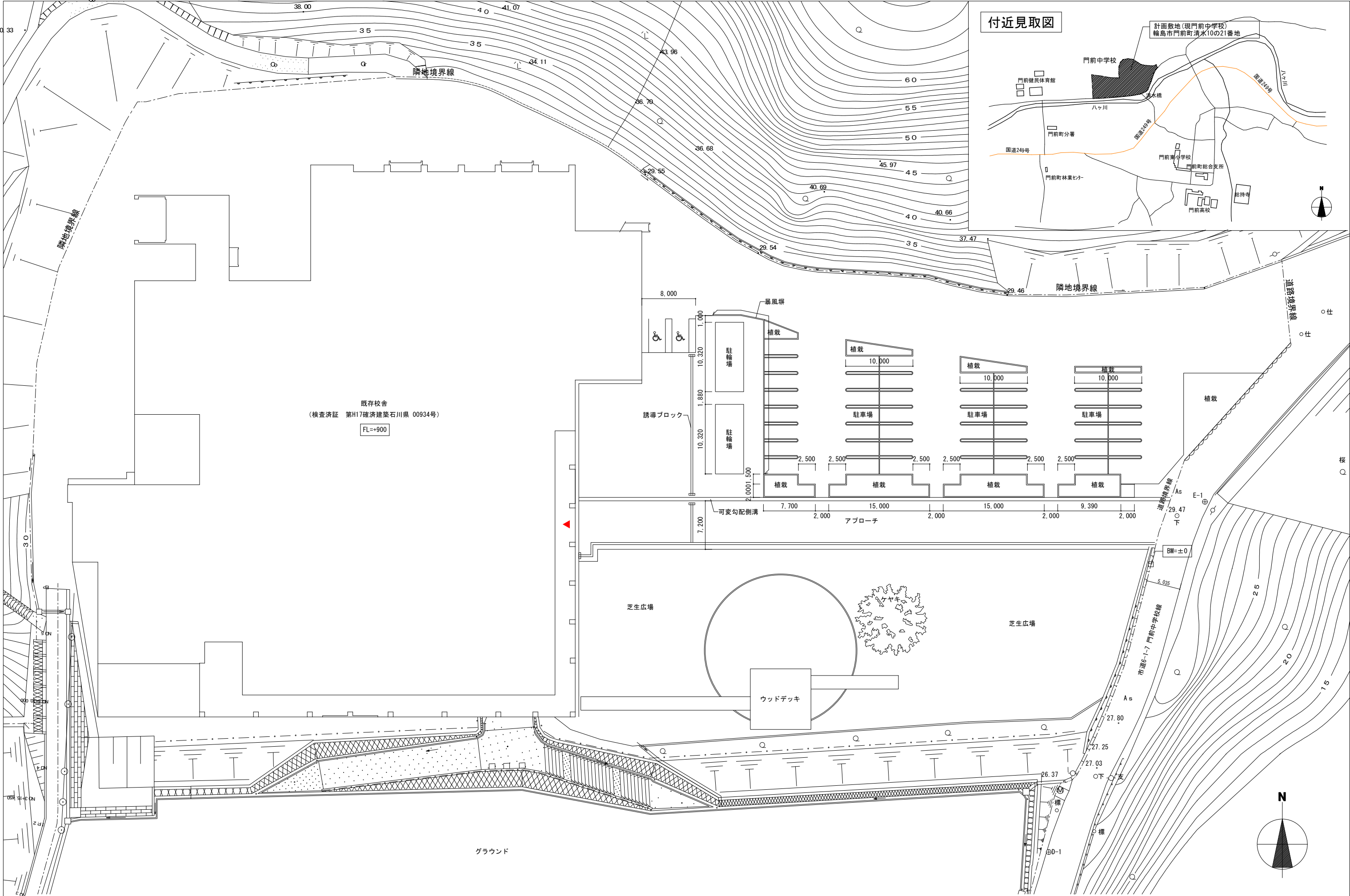
最終改訂 R 7 . 1 0 . 1	工事名	西部地区小学校災害復旧工事	番号	M-C
	図面名	工事仕様書（機械設備）－ 2	縮尺	—
	設 計	輪島市 教育委員会 教育総務課		

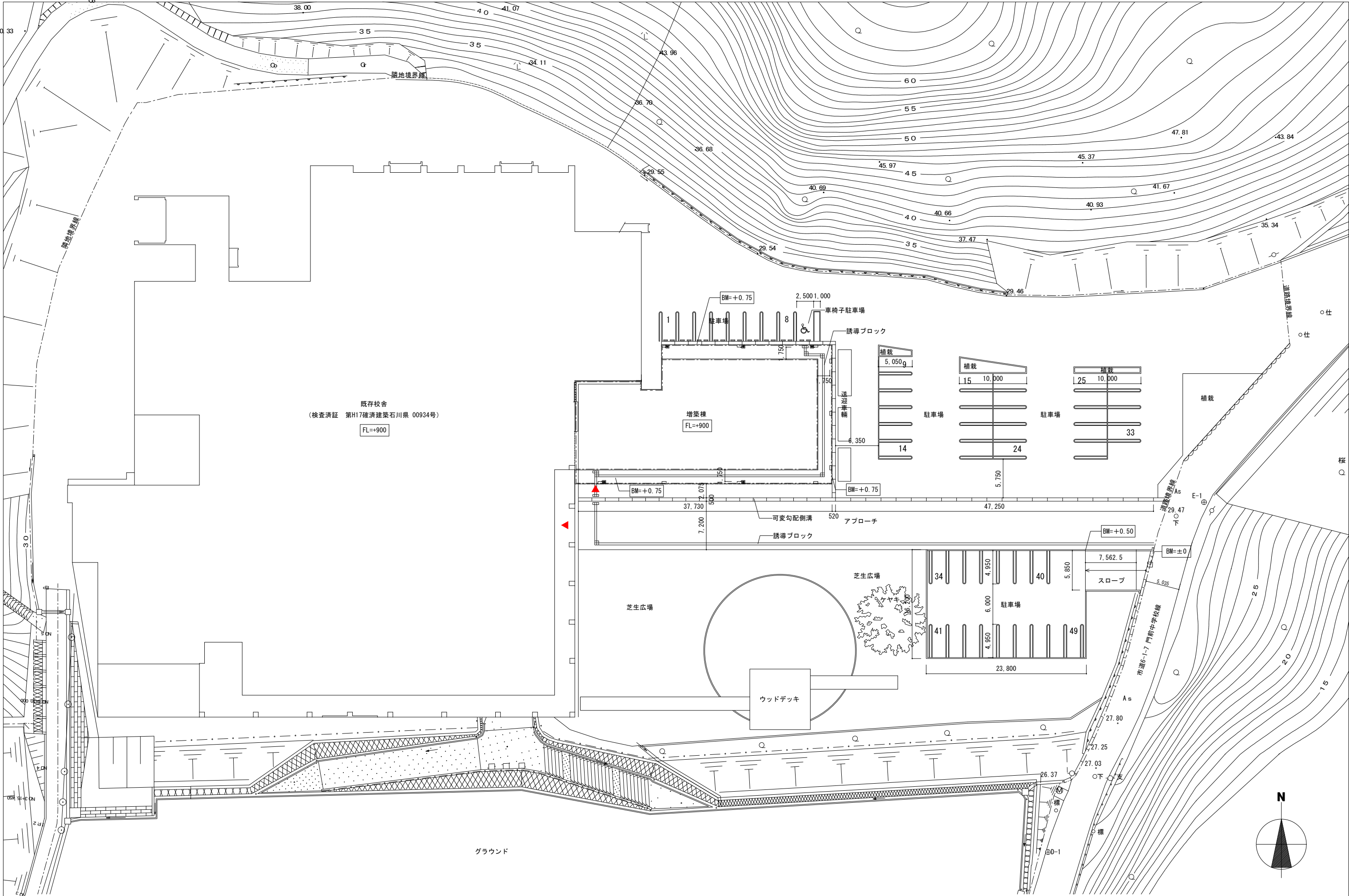
章 項 目 特 記 事 項			章 項 目 特 記 事 項		
○その他	1 いしかわ週休2日工事	工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室ＨＰの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 （１）当初設計において、週単位の週休2日にかかる補正係数を乗じている。 （２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （３）受注者は、現場着手前に休日取得〔計画〕表を作成し、監督員に提出・共有すること。 （４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （５）受注者は、工期最終日までに、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。 （６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、週単位の週休2日に満たない場合は、月単位の週休2日（４週8休相当）の補正に減額するものとし、月単位の週休2日（４週8休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。			
	2 余裕期間制度 試行工事	1）適用 ・ 対象 ※ 対象外 2）余裕期間制度対象工事の内容 （１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。 （２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 （３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 （４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 （５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 （６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 （７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。 （８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 （９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 （１０）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。 （着工日の期限） 契約締結日から起算して○ヶ月以内			
	3 イメージアップ 看板	・ 設置する ・ 設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする） 【参考図】 <div><div><div>野立型（大） H1400×W1100</div><div><div>未来への扉 「石川をつくる」</div><div>未来への扉「石川をつくる」 みんなでつくろう石川</div></div></div><div><div>野立型（小） H1400×W550</div><div><div>未来への扉 「石川をつくる」</div><div>みんなでつくろう石川</div></div></div><div><div>壁掛型 H750×W900</div><div><div>未来への扉「石川をつくる」 みんなでつくろう石川</div><div>（注）看板のデザインは監督員に確認すること</div></div></div></div>			
	4 情報共有 システム	石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/ki jun/ki jun.html ・ 利用する（発注者指定型） ※ 現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）			

工事名	西部地区小学校災害復旧工事	番号	M-03
図面名	工事仕様書（機械設備）－ 3	縮尺	――
設 計	輪島市 教育委員会 教育総務課		

最終改訂 R7. 1 0. 1

機械3





 株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 25. 12	設計番号 25_42	図面番号 M-05	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:500
						図面名称		

1

準備工事

工事範囲仮囲いゲート設置

増築部分の既存表層仕上、工作物、駐輪場棟解体撤去

電気設備（受電経路改修）、機械設備（既設給排水経路撤去・新設給排水経路更新）

2

増築工事

増築工事（RC造、平屋）

既存校舎内昇降機設備改修工事

上記工事完了時に確認審査機関による完了検査

3

既存改修工事

増築工事使用開始後（什器備品移動）

外構駐車場部分及び送迎部分外構整備工事

既存校舎内部改修工事

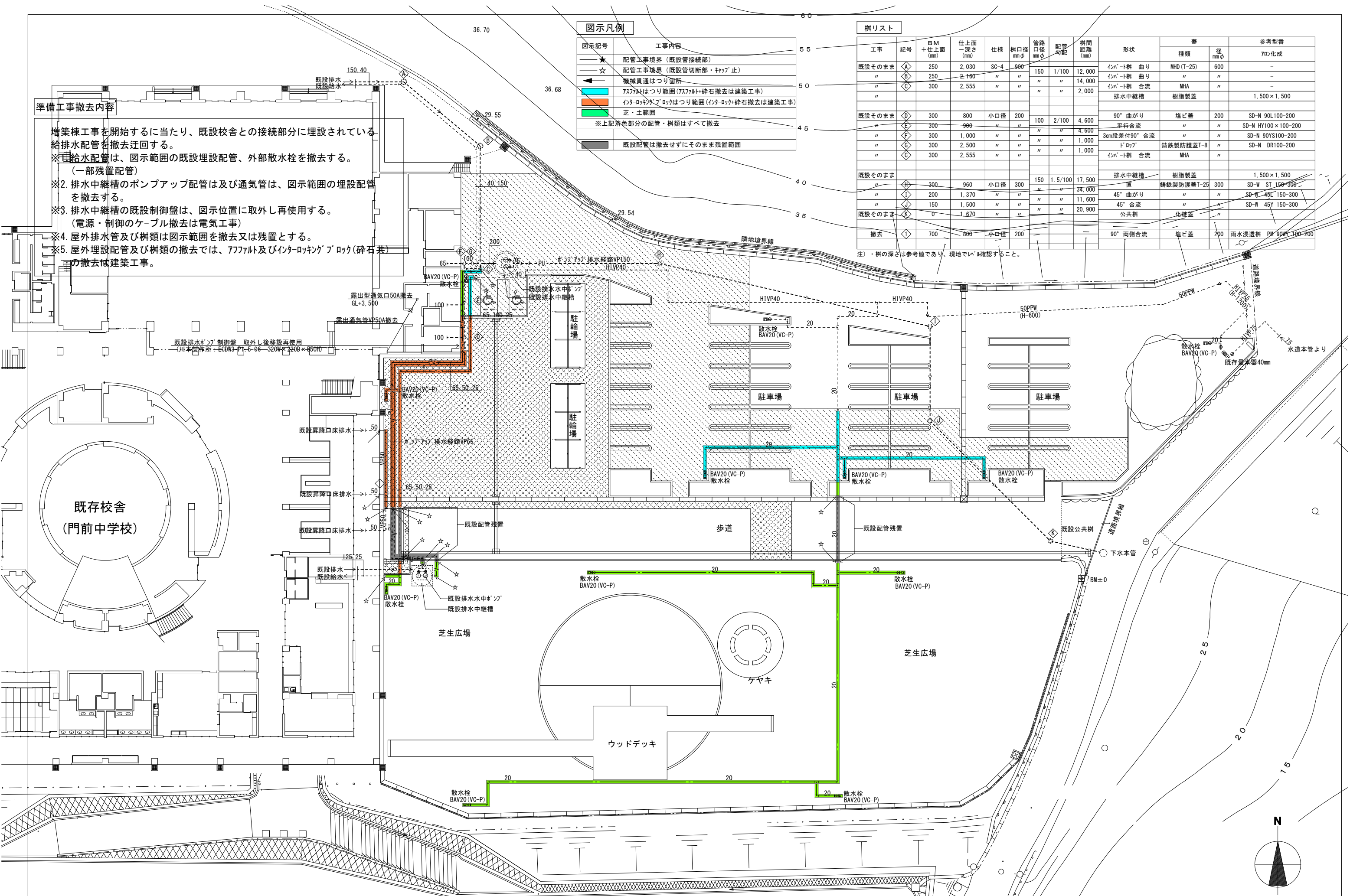
4

外構整備工事

駐車場整備工事

外構整備工事

	株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日	設計番号	図面番号	工事名称	縮尺	
			26.03	25_42	M-06	西部地区小学校災害復旧工事		1:1000
							図面名称	機械設備 工事工程概要書



図示凡例

図示記号	工事内容
★	配管工事境界 (既設管接続部)
☆	配管工事境界 (既設管切断部・キャップ止)
←	機械貫通はつり箇所
7mm	7mm厚はつり範囲 (7mm厚+砕石撤去は建築工事)
インターロッキングブロック	インターロッキングブロックはつり範囲 (インターロック+砕石撤去は建築工事)
芝・土範囲	芝・土範囲
※上記着色部分の配管・樹類はすべて撤去	
既設配管は撤去せずにそのまま残置範囲	

樹リスト

工事	記号	BM + 仕上面 (mm)	仕上面 深さ (mm)	仕様	樹口径 mmφ	管路 口径 mmφ	配管 勾配	樹間 距離 (mm)	形状	蓋		参考型番 7mm化成
										種類	径 mmφ	
既設そのまま	A	250	2,030	SC-4	900	150	1/100	12,000	インポート樹 曲り	MHD (T-25)	600	-
"	B	250	2,160	"	"	"	"	14,000	インポート樹 曲り	"	"	-
"	C	300	2,555	"	"	"	"	2,000	インポート樹 合流	MHA	"	-
"									排水中継槽	樹脂製蓋		1,500×1,500
既設そのまま	D	300	800	小口径	200	100	2/100	4,600	90° 曲がり	塩ビ蓋	200	SD-N 90L100-200
"	E	300	960	"	"	"	"	4,600	平行合流	"	"	SD-N HY100×100-200
"	F	300	1,000	"	"	"	"	4,600	3cm段差付90° 合流	"	"	SD-N 90YS100-200
"	G	300	2,500	"	"	"	"	1,000	ドローフ	鉄製防護蓋T-8	"	SD-N DR100-200
"	H	300	2,555	"	"	"	"	1,000	インポート樹 合流	MHA	"	
既設そのまま	I	300	960	小口径	300	150	1.5/100	17,500	排水中継槽	樹脂製蓋		1,500×1,500
"	J	200	1,370	"	"	"	"	34,000	直	鉄製防護蓋T-25	300	SD-W ST 150-300
"	K	150	1,500	"	"	"	"	11,600	45° 曲がり	"	"	SD-W 45L 150-300
"	L	0	1,670	"	"	"	"	20,900	45° 合流	"	"	SD-W 45Y 150-300
既設そのまま	M	0	1,670	"	"	"	"	20,900	公共樹	化粧蓋	"	
撤去	N	700	800	小口径	200				90° 両側合流	塩ビ蓋	200	雨水浸透樹 PM 90WT 100-200

注) ・樹の深さは参考値であり、現地で必ず確認すること。

準備工事撤去内容

- 増築棟工事を開始するに当たり、既設校舎との接続部分に埋設されている給排水配管を撤去迂回する。
- ※1. 給水管は、図示範囲の既設埋設配管、外部散水栓を撤去する。
(一部残置配管)
- ※2. 排水中継槽のポンプアップ配管は及び通気管は、図示範囲の埋設配管を撤去する。
- ※3. 排水中継槽の既設制御盤は、図示位置に取外し再使用する。
(電源・制御のケーブル撤去は電気工事)
- ※4. 屋外排水管及び樹類は図示範囲を撤去又は残置とする。
- ※5. 屋外埋設配管及び樹類の撤去では、7mm厚及びインターロッキングブロック(砕石基)の撤去は建築工事。

既存校舎
(門前中学校)

芝生広場

芝生広場

ウッドデッキ

ケヤキ

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

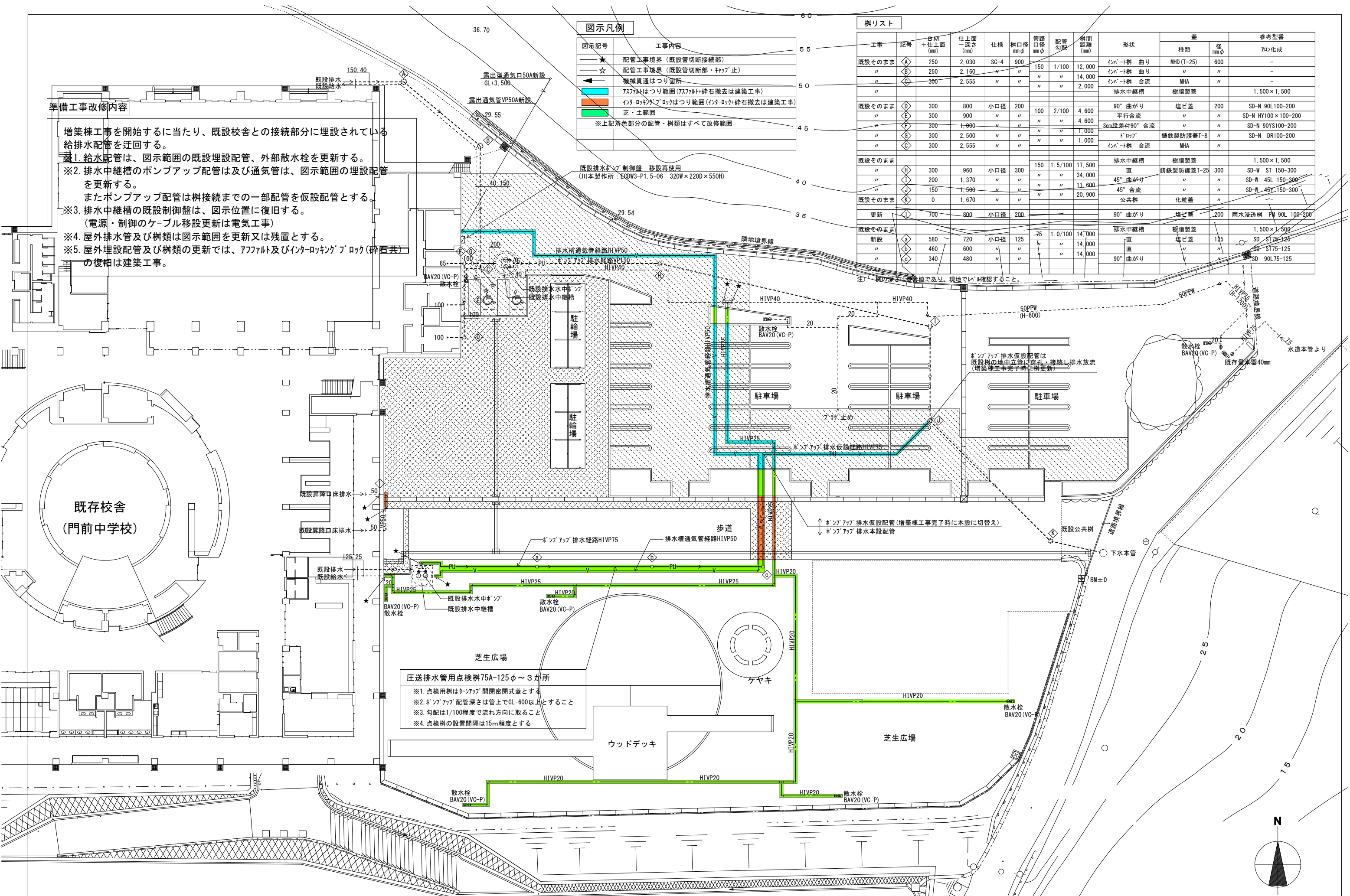
駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場

駐輪場



図示凡例	
図示記号	工事内容
★	配管工事境界 (既設管切断接続部)
☆	配管工事境界 (既設管切断部・キャップ止)
←	機械貫通はつり箇所
7A7A	7A7Aはつり範囲 (7A7A+砕石撤去は建築工事)
インターロッキングブロック	インターロッキングブロックはつり範囲 (インターロッキング+砕石撤去は建築工事)
芝・土範囲	芝・土範囲
※上記着色部分の配管・樹類はすべて改修範囲	

樹リスト

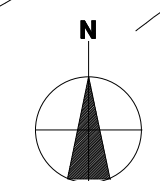
工事	記号	BM +仕上面 (mm)	仕上面 -深さ (mm)	仕様	樹口径 mmφ	管口径 mmφ	配管 勾配	樹間 距離 (mm)	形状	蓋		参考型番 70/化成
										種類	径 mmφ	
既設そのまま	A	250	2,030	SC-4	900	150	1/100	12,000	インポート樹 曲り	MHD (T-25)	600	-
"	B	250	2,160	"	"	"	"	14,000	インポート樹 曲り	"	"	-
"	C	300	2,555	"	"	"	"	2,000	インポート樹 合流	MHA	"	-
"									排水中継槽	樹脂製蓋		1,500×1,500
既設そのまま	D	300	800	小口径	200				90° 曲がり	塩ビ蓋	200	SD-N 90L100-200
"	E	300	900	"	"	100	2/100	4,600	平行合流	"	"	SD-N HY100×100-200
"	F	300	1,000	"	"	"	"	4,600	3cm段差付90° 合流	"	"	SD-N 90YS100-200
"	G	300	2,500	"	"	"	"	1,000	ドロッ	铸铁製防護蓋T-8	"	SD-N DR100-200
"	H	300	2,555	"	"	"	"	1,000	インポート樹 合流	MHA	"	
既設そのまま	I	300	960	小口径	300	150	1.5/100	17,500	排水中継槽	樹脂製蓋		1,500×1,500
"	J	200	1,370	"	"	"	"	34,000	直	铸铁製防護蓋T-25	300	SD-W ST 150-300
"	K	150	1,500	"	"	"	"	11,600	45° 曲がり	"	"	SD-W 45L 150-300
既設そのまま	L	0	1,670	"	"	"	"	20,900	45° 合流	"	"	SD-W 45T 150-300
更新	M	700	800	小口径	200				公共樹	化粧蓋	"	
既設そのまま	N	580	720	小口径	125	-75	1.0/100	14,000	90° 曲がり	塩ビ蓋	200	雨水浸透樹 PM 90L 100-200
新設	a	460	600	"	"	"	"	14,000	排水中継槽	樹脂製蓋		1,500×1,500
"	b	340	480	"	"	"	"	14,000	直	塩ビ蓋	125	SD ST125-125
"	c			"	"	"	"		直	"	"	SD ST175-125
"				"	"	"	"		90° 曲がり	"	"	SD 90L75-125

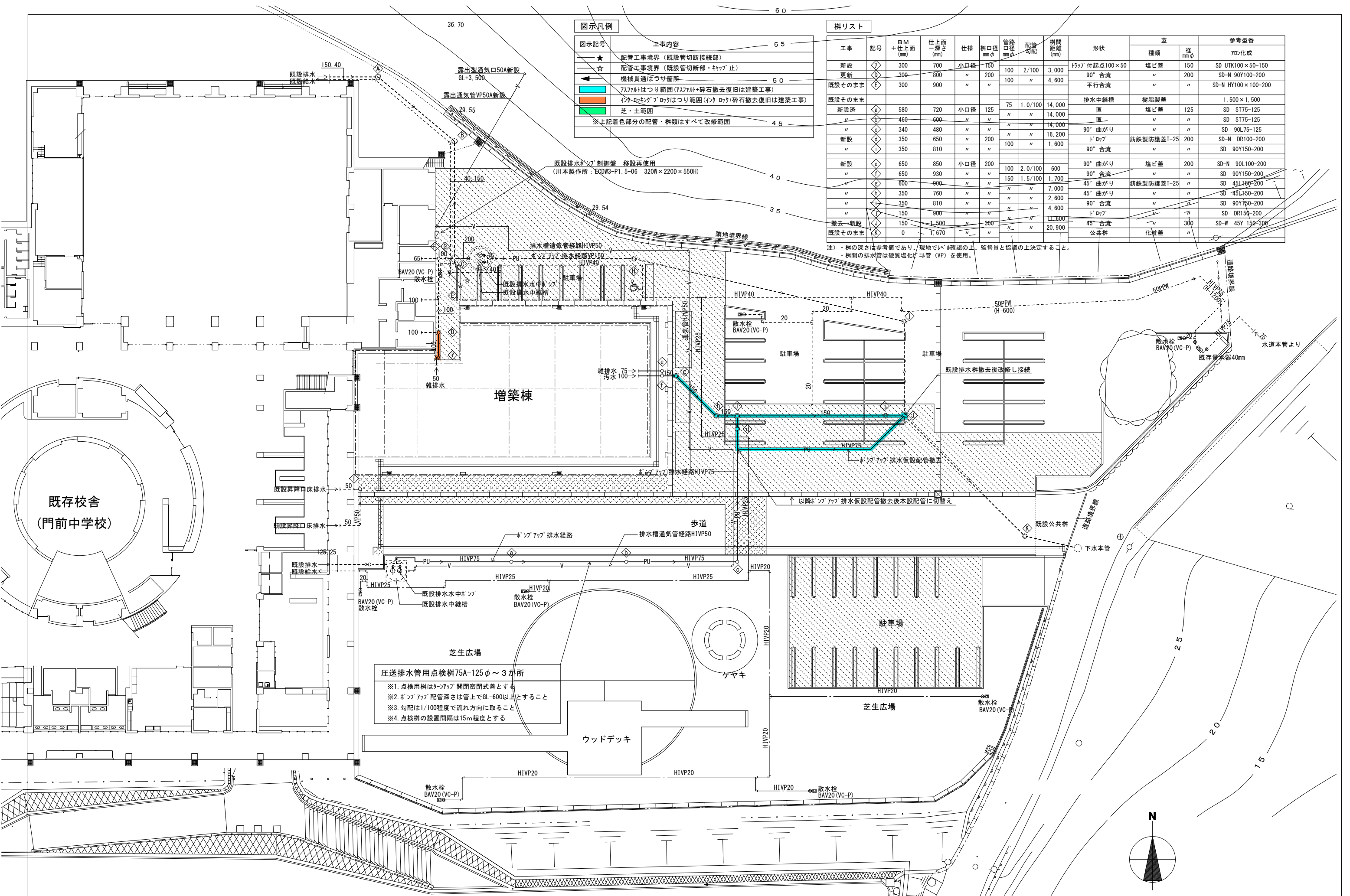
注) 緑の深さは参考値であり、現地で必ず確認すること。

芝生広場
圧送排水管用点検樹75A-125φ～3か所
※1. 点検用樹はタンナップ 開閉密閉式蓋とする
※2. タンナップ 配管深さは管上でGL-600以上とすること
※3. 勾配は1/100程度で流れ方向に取ること
※4. 点検樹の設置間隔は15m程度とする

タンナップ 排水仮設配管は
既設樹の地中立管に穿孔・接続し排水放流
(増築棟工事完了時に樹更新)

↑ タンナップ 排水仮設配管 (増築棟工事完了時に本設に切替え)
↓ タンナップ 排水本設配管





図示凡例

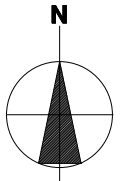
図示記号	工事内容
★	配管工事境界（既設管切断接続部）
☆	配管工事境界（既設管切断部・キャップ止）
←	機械貫通はつり箇所
（ブルー塗り）	アスファルトはつり範囲（アスファルト+砕石撤去復旧は建築工事）
（オレンジ塗り）	インターロックブロックはつり範囲（インターロック+砕石撤去復旧は建築工事）
（グリーン塗り）	芝・土範囲
※上記着色部分の配管・樹類はすべて改修範囲	

樹リスト

工事	記号	BM + 仕上面 (mm)	仕上面 深さ (mm)	仕様	樹口径 mmφ	管路 口径 mmφ	配管 勾配	樹間 距離 (mm)	形状	蓋		参考型番
										種類	径 mmφ	
新設	◇	300	700	小口径	150	100	2/100	3,000	トラップ付起点100×50	塩ビ蓋	150	SD UTK100×50-150
更新	◇	300	800	〃	200	100	〃	〃	90°合流	〃	200	SD-N 90Y100-200
既設そのまま	◇	300	900	〃	〃	100	〃	4,600	平行合流	〃	〃	SD-N HY100×100-200
既設そのまま	◇								排水中継槽	樹脂製蓋		1,500×1,500
新設済	◇	580	720	小口径	125	75	1.0/100	14,000	直	塩ビ蓋	125	SD ST75-125
〃	◇	460	600	〃	〃	〃	〃	14,000	直	〃	〃	SD ST75-125
〃	◇	340	480	〃	〃	〃	〃	14,000	90°曲がり	〃	〃	SD 90L75-125
新設	◇	350	650	〃	200	100	〃	16,200	ドブツ	鉄製防護蓋T-25	200	SD-N DR100-200
〃	◇	350	810	〃	〃	100	〃	1,600	90°合流	〃	〃	SD 90Y150-200
新設	◇	650	850	小口径	200	100	2.0/100	600	90°曲がり	塩ビ蓋	200	SD-N 90L100-200
〃	◇	650	930	〃	〃	150	1.5/100	1,700	90°合流	〃	〃	SD 90Y150-200
〃	◇	600	990	〃	〃	〃	〃	7,000	45°曲がり	鉄製防護蓋T-25	〃	SD 45L150-200
〃	◇	350	760	〃	〃	〃	〃	2,600	45°曲がり	〃	〃	SD 45L150-200
〃	◇	350	810	〃	〃	〃	〃	4,600	90°合流	〃	〃	SD 90Y150-200
〃	◇	150	900	〃	〃	〃	〃	11,600	ドブツ	〃	〃	SD DR150-200
撤去-新設	◇	150	1,500	〃	300	〃	〃	〃	45°合流	〃	300	SD-W 45Y 150-300
既設そのまま	◇	0	1,670	〃	〃	〃	〃	20,900	公共樹	化粧蓋	〃	

注) ・樹の深さは参考値であり、現地でいへば確認の上、監督員と協議の上決定すること。
・樹間の排水管は硬質塩化ビニル管（VP）を使用。

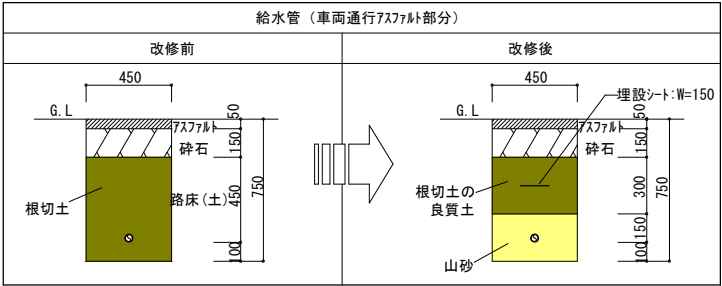
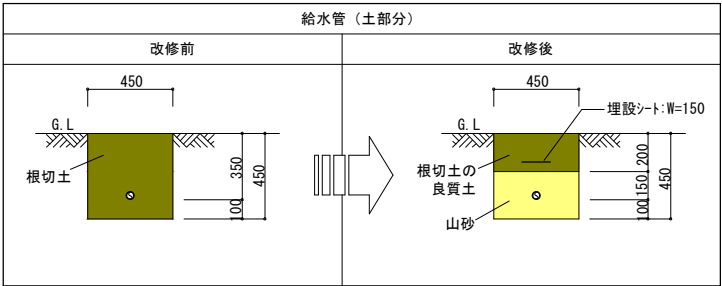
圧送排水管用点検樹75A-125φ～3か所
※1. 点検用樹は樹脂製 開閉密閉式蓋とする
※2. 樹脂製 配管深さは管上でGL-600以上とすること
※3. 勾配は1/100程度で流れ方向に取ること
※4. 点検樹の設置間隔は15m程度とする



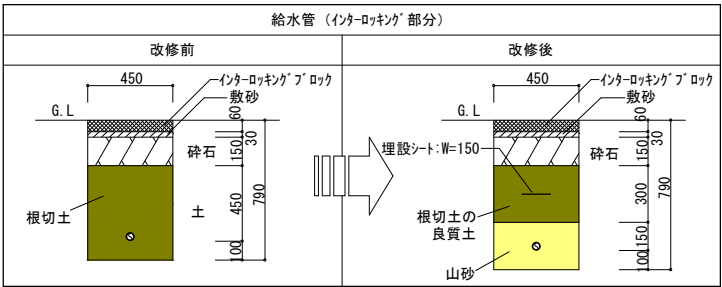
配管材料

配 管				保温・被覆・塗装	
名 称	記 号	区 分	材 料	保温材	仕上材
給水管（上水） 給水管（雑用水）	―― ――	屋内露出	SGP (PB)	※ リスチレンフォーム保温筒	粘着テープ＋ 合成樹脂製カバー
		屋内隠蔽		※ リスチレンフォーム 7mmガラスクロス化粧保温筒	7mmガラスクロス粘着テープ
		屋内ビッド内	HIVP	―	―
		屋外埋設	HIVP	―	―
汚水管	――>――	屋内隠蔽	RF-VP	※ ガラス繊維強化プラスチック保温筒	7mmガラスクロス粘着テープ
		屋内ビッド内	RF-VP	―	―
		屋外埋設	VP	―	―
雑排水管	――	屋内隠蔽	RF-VP	※ ガラス繊維強化プラスチック保温筒	7mmガラスクロス粘着テープ
		屋内ビッド内	RF-VP	―	―
		屋外埋設	VP	―	―
通気管	――V――	屋外露出	VP	―	調査ベント
圧送排水管	――-――	屋外埋設	HIVP	―	―

給水土工事参考図 1/40

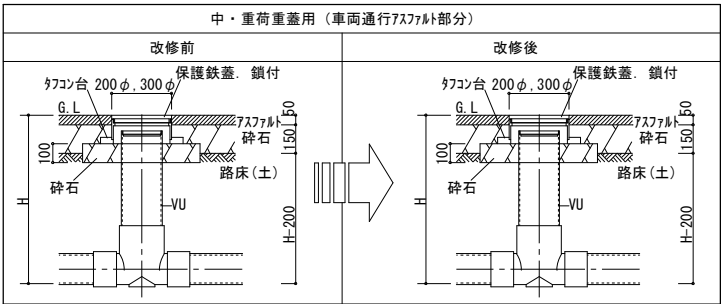


・アスファルト＋砕石撤去復旧は建築工事

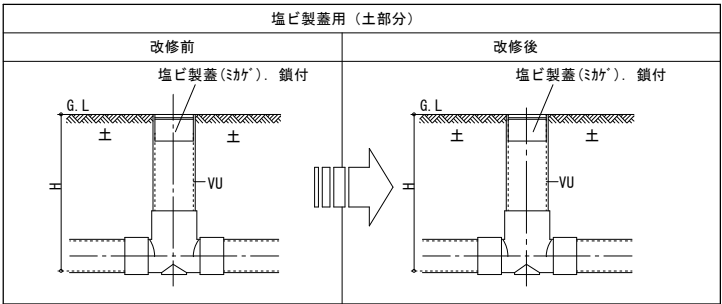


・インターロッキングブロック＋砕石撤去復旧は建築工事

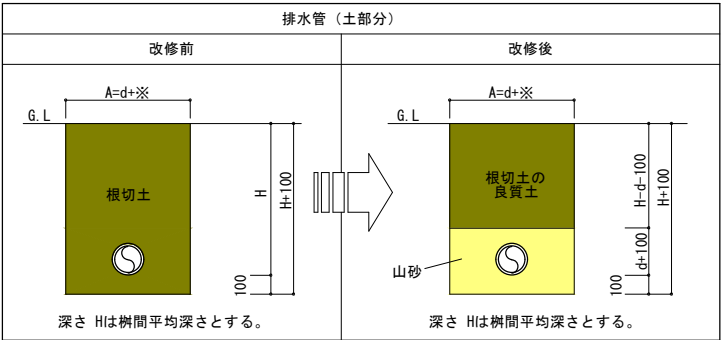
塩ビ小口径樹設置図 1/40



・アスファルト＋砕石撤去復旧は建築工事

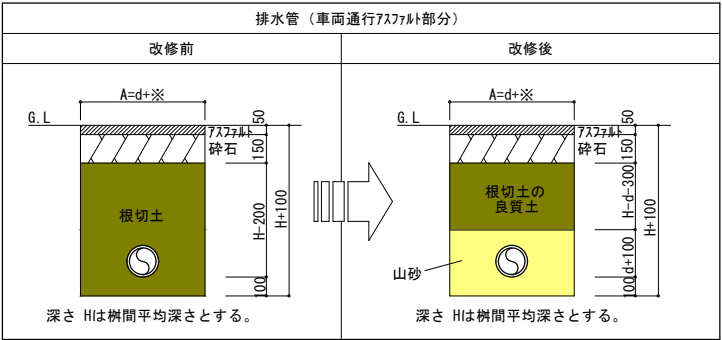


排水土工事参考図 1/40



深さ Hは樹間平均深さとする。

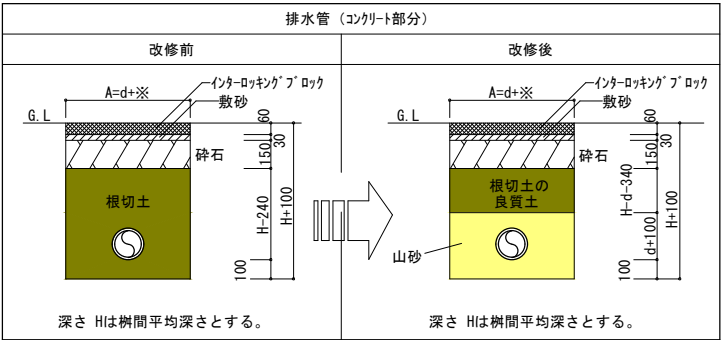
深さ Hは樹間平均深さとする。



深さ Hは樹間平均深さとする。

深さ Hは樹間平均深さとする。

・アスファルト＋砕石撤去復旧は建築工事



深さ Hは樹間平均深さとする。

深さ Hは樹間平均深さとする。

・インターロッキングブロック＋砕石撤去復旧は建築工事

※は 根切土部分が1m未満の場合＝0.4：直掘り
根切土部分が1m以上1.5m未満の場合＝0.8：直掘り
根切土部分が1.5m以上の場合＝{0.3+(根切深さ×0.3)/2}×2：法付け工法



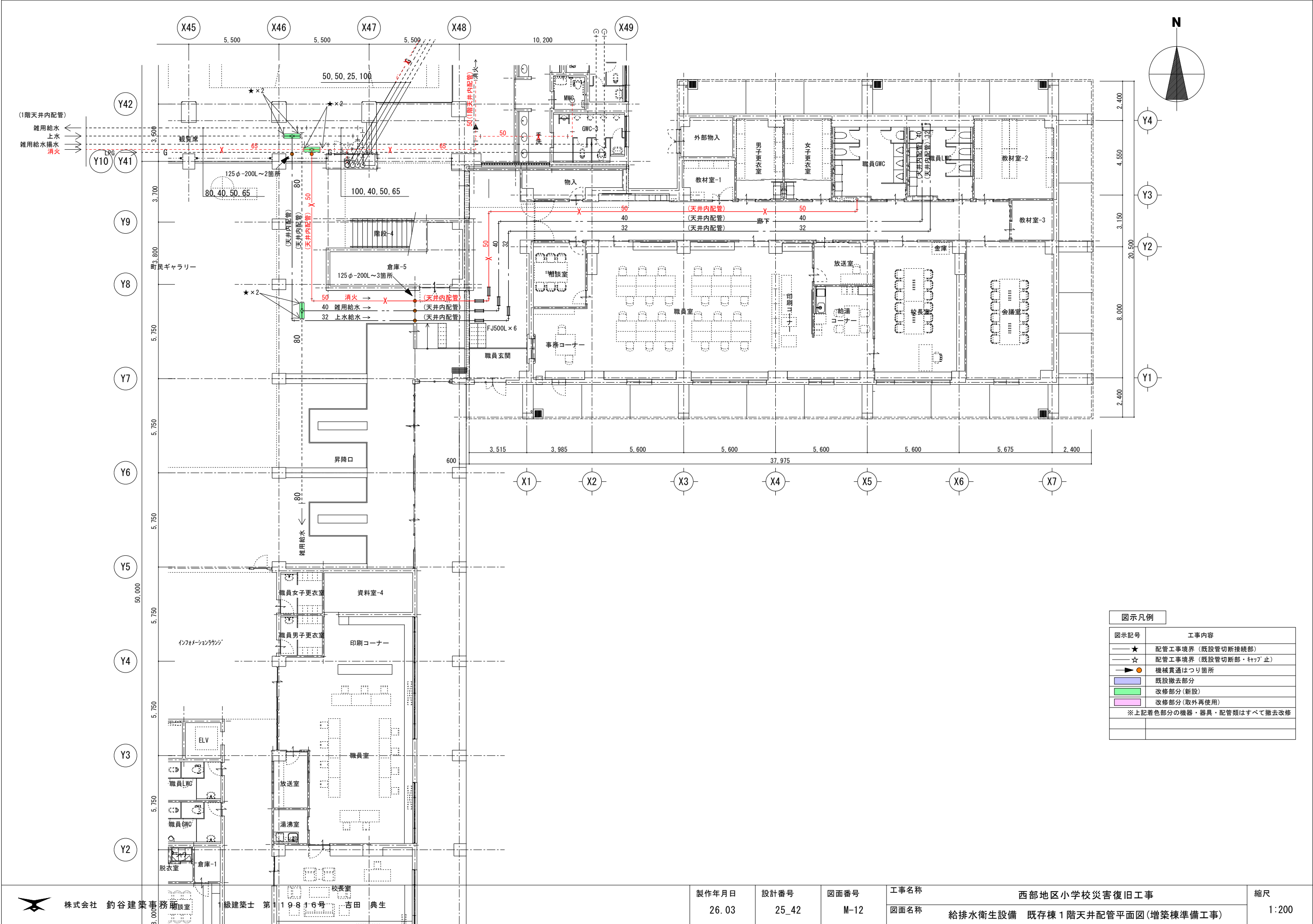
衛生機器表

記号	機 器 名 称	仕 様	電源・消費電力			台数	設 置 場 所		備 考 (機種:参考型番)
			相 φ	電圧V	出力kW		階	室 名	
WHE-1	電気温水器	型 式 壁掛タイプ・先止め式(適温出湯タイプ) 貯湯量：3 L	1	100	0.6kW	10	1	職員GWC・LWC・廊下	TOTO:REWF03B1RSM
		付属品 おまかせ節電・アンケル形止水栓・排水ホック付 (RHE97H-32・TL347CU)						男子更衣・女子更衣	
								校長室	
WHE-2	電気温水器	型 式 据置きタイプ・先止め式(温度調節タイプ) 貯湯量：25 L	1	100	1.1kW	1	1	職員室給湯コーナー	TOTO：REW25A1BKSCM
		付属品 アンケル形壁止水栓・タイマー・耐震用脚・排水ホック付 (RHE706・RHE97H-32・TL347CU)							
HB-1AS	屋内消火栓ボックス	型 式 易操作性1号消火栓 埋込型 (認定品)	－	－	－	1	1	廊下	
		外形寸法 1,050×200×1,300H 消火器ボックス併用タイプ							
		内部格納品 消火栓ハンドル(30A×90°)・起動スイッチ・可変噴霧ノズル(30A)・保形ホース(30φ-30m)×1本							
PD-1	ピット排水ポンプ	型 式 強化樹脂製雑排水用水中 可搬式	1	100	150W	1	P	ピット排水用	川本製作所：WUP4-326-0.15SL
		能 力 32φ×50L/min×6m						外部物入に保管	
		付属品 ホースカップリング32A、ポンプケーブルφ6.0m付							

衛生器具表

器具名称	品番・付属品 (排水金物はトラップ付とする)	電源		消費電力	合計	増築棟1階					既存校舎棟1階						既存校舎棟2階				外 部	
		φ	V	W		職員GWC	職員LWC	男子更衣室	女子更衣室	廊下	校長室	GWC1	LWC1	GWC2	LWC2	GWC6	LWC6	GWC4	GWC5	LWC5		
腰掛式防露便器	ハンドルリックコンバクト・フラッシュタンク式(掃除口付)CFS498BMC・SP498BAY・HP498	1	100	311	16	2	3					1	1	1	2	1	1	1	1	2		
	TCF5534AU(エコリモコン・オート洗浄・擬音装置付)																					
棚付2連紙巻器	YH702				5	2	3															
自動洗浄小便器	低リフト 壁掛壁排水 UFS900WR(自己発電式・節水タイプ)				3	3																
はめ込み角形洗面器	LS351C・TLE28SS1W(自動単水栓・自己発電タイプ)・TLDP2201JA(壁排水)・(壁給水)【洗面器用カウンターは建築工事】				7	2	3	1	1													
はめ込み角形洗面器	LS351C・TLE28SS1W(自動単水栓・自己発電タイプ)・T LDS2201JA(床排水)・T6B1(床給水)【洗面器用カウンターは建築工事】				1						1											
洗面器ハンドル一体形カウンター	MKWF PA13 (ハンドル2連・間口:2,100・洗面器間寸法:700・奥行:450・あふれ面:800) 【フロントパネルは建築工事】				1					1												
	TENA125AW(自動単水栓・自己発電タイプ)・止水栓・T6SM10(床排水)・M9P40A(ブラケット)																					
マルチンク	SK507・T130AEQF13C・T9R・T8C・TK40P				2	1	1															
手すり	L型樹脂被覆タイプ・L=700(90) T112CL9 T110D3R×3				5	2	3															
手すり	小便器用樹脂被覆タイプ T112CU22 T110D3R×4				1	1																
耐食化粧鏡	YM4560F(450x600)				1						1											
耐食化粧鏡	YM3580FC(350x800)				7	2	3	1	1													
全身化粧鏡	YM512(450x1000)				2	1	1															
散水栓	T28UNH13 カップリング付 SUS製散水栓ボックス(HSE-1)共				5																	5
A B C粉末消火器	蓄圧式 10型				2					2												

※注記：消火器は、消防法第17条第1項に規定する『政令で定める技術上の基準』に従って設置する。



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

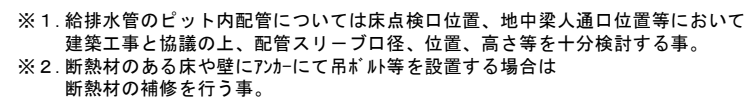
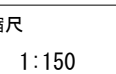
製作年月日
26. 03

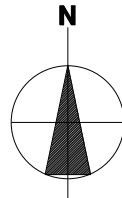
設計番号
25_42

図面番号
M-12

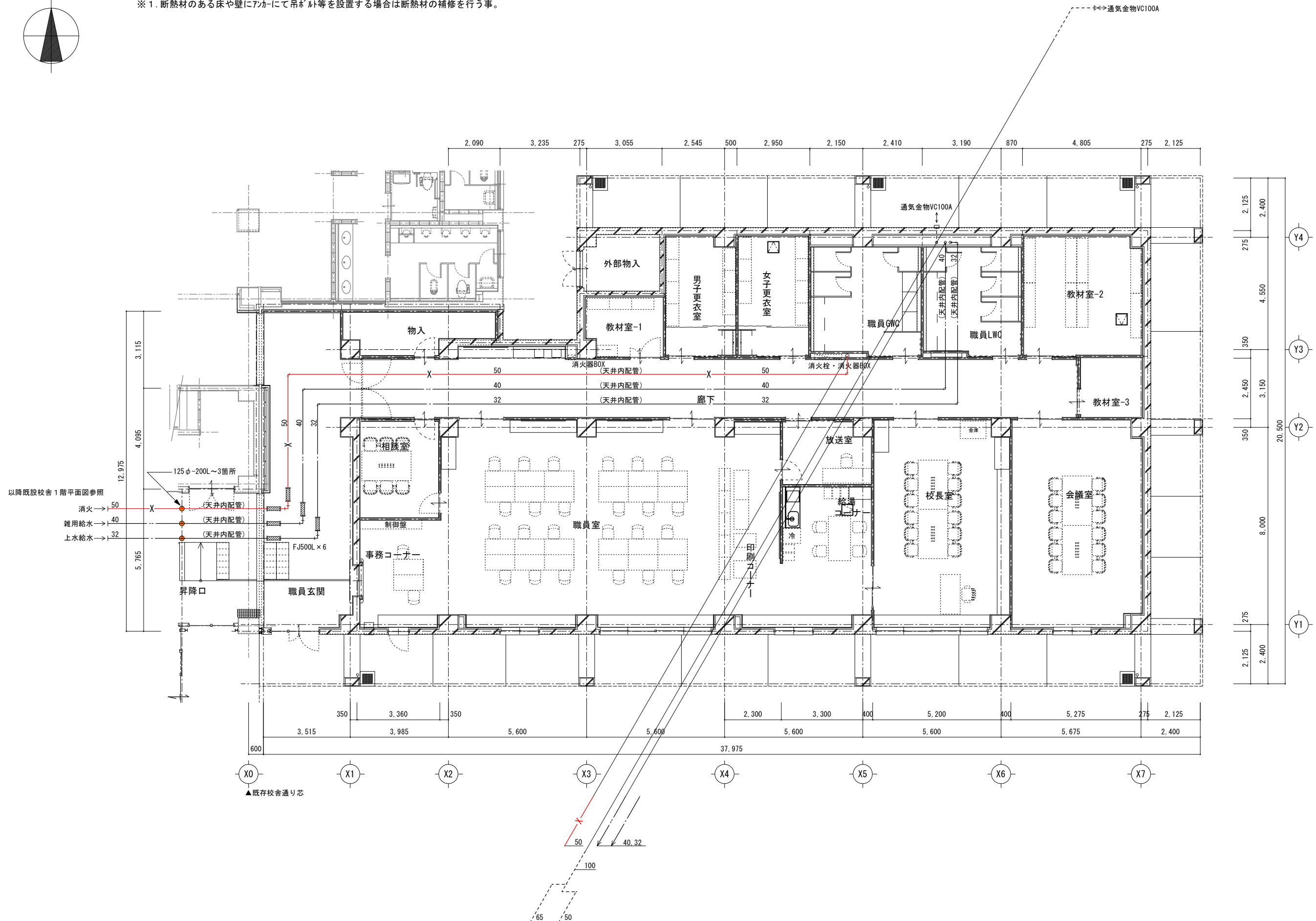
工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
給排水衛生設備 既存棟 1 階天井配管平面図 (増築棟準備工事)

縮尺
1:200

[illegible]



※ 1. 断熱材のある床や壁にアンカーにて吊钩等を設置する場合は断熱材の補修を行う事。



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号

吉田 典生

製作年月日
26. 03

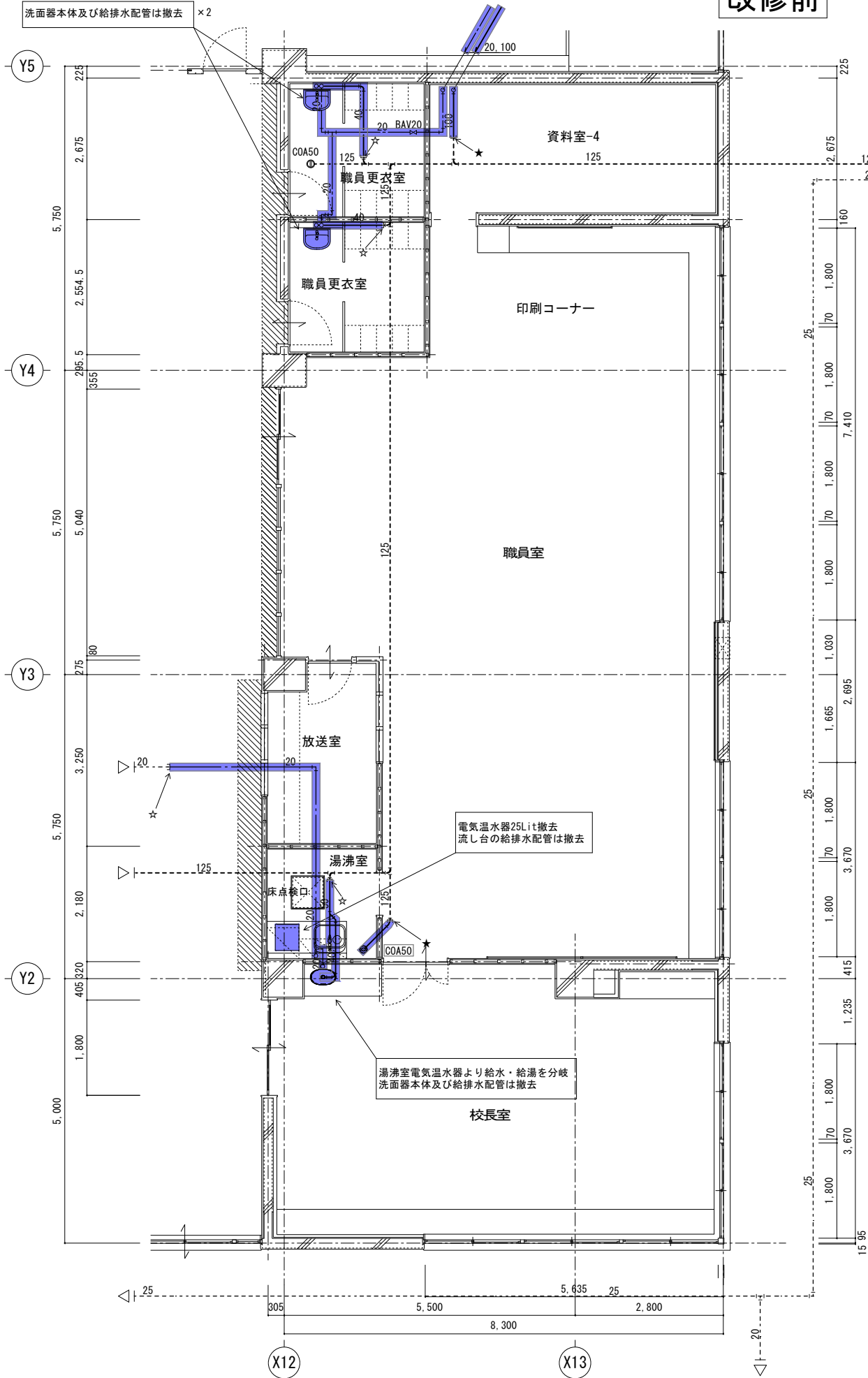
設計番号
25_42

図面番号
M-14

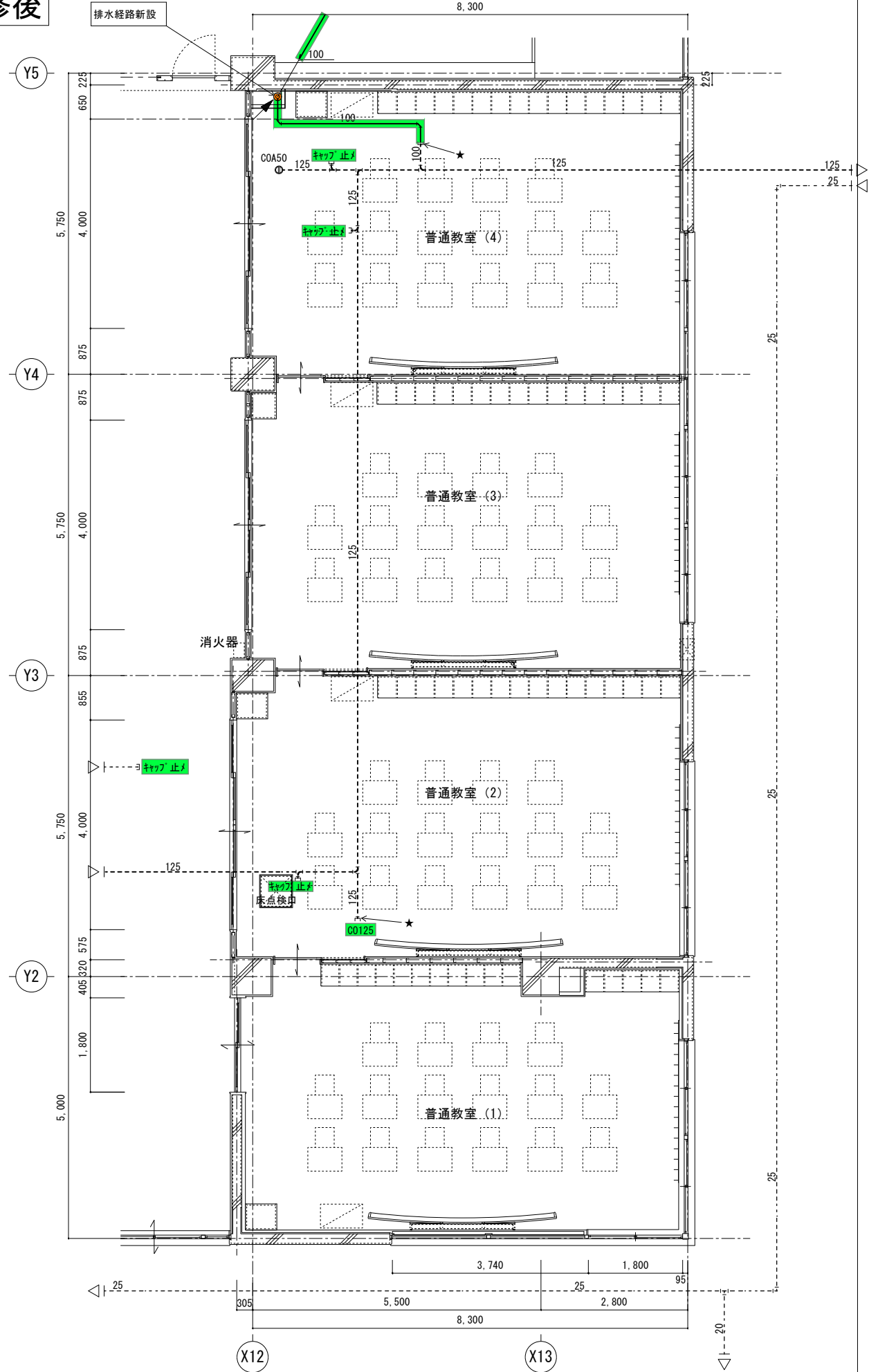
工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
給排水衛生設備 天井配管平面図 (増築棟)

縮尺
1:150

改修前



改修後



図示凡例	
★	配管工事境界（既設管切断接続部）
☆	配管工事境界（既設管切断部・キャップ止）
●	機械貫通はつり箇所
赤線	既設撤去部分
青線	改修部分（新設）
黄線	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・配管類はすべて撤去改修	



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

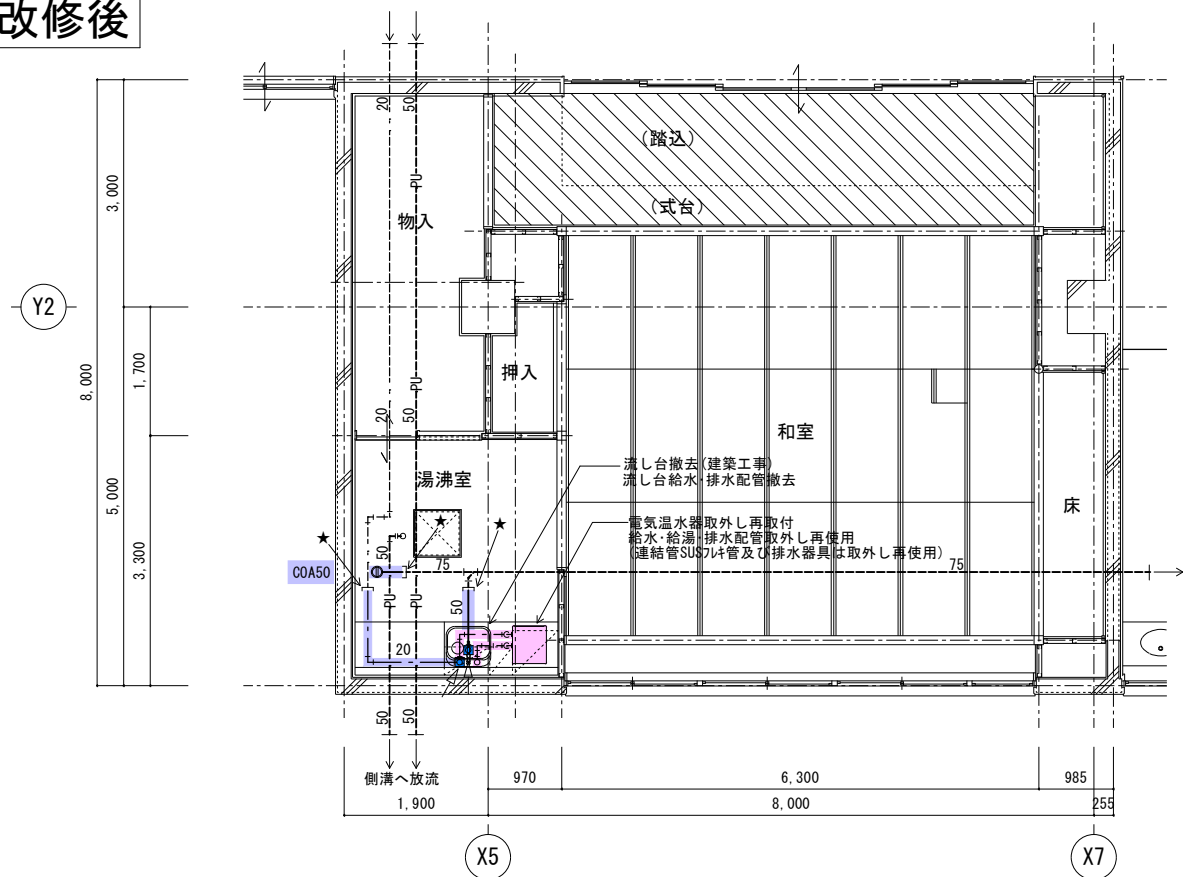
図面番号
M-15




工事名称
西部地区小学校災害復旧工事

図面名称
給排水衛生設備 既存改修 普通教室（既存1階職員室）平面詳細図

縮尺
1:100

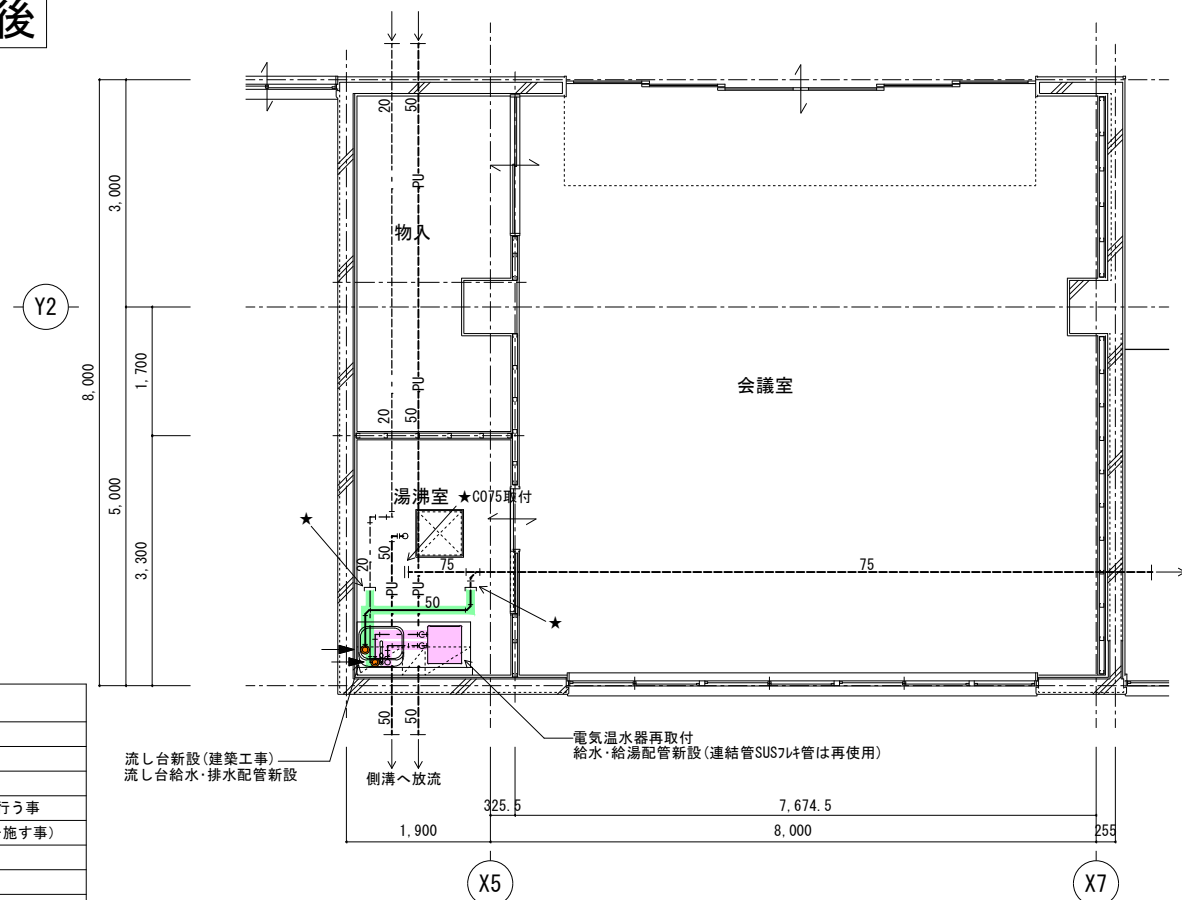
改修後



図示凡例	
図示記号	工事内容
——★	配管工事境界（既設管切断接続部）
——☆	配管工事境界（既設管切断部・キャップ止）
——▶●	機械貫通はつり箇所 100φ～150L
——▷■	既設配管撤去後の貫通穴はもみ削にて穴埋めを行う事 （ビット部分については吹付硬質ウレタンフォームA30tを施す事）
	既設撤去部分
	改修部分（新設）
	改修部分（取外再使用）

※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工

改修後



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

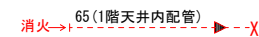
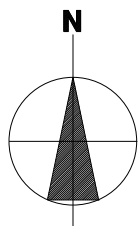
製作年月日
26. 03

設計番号
25_42

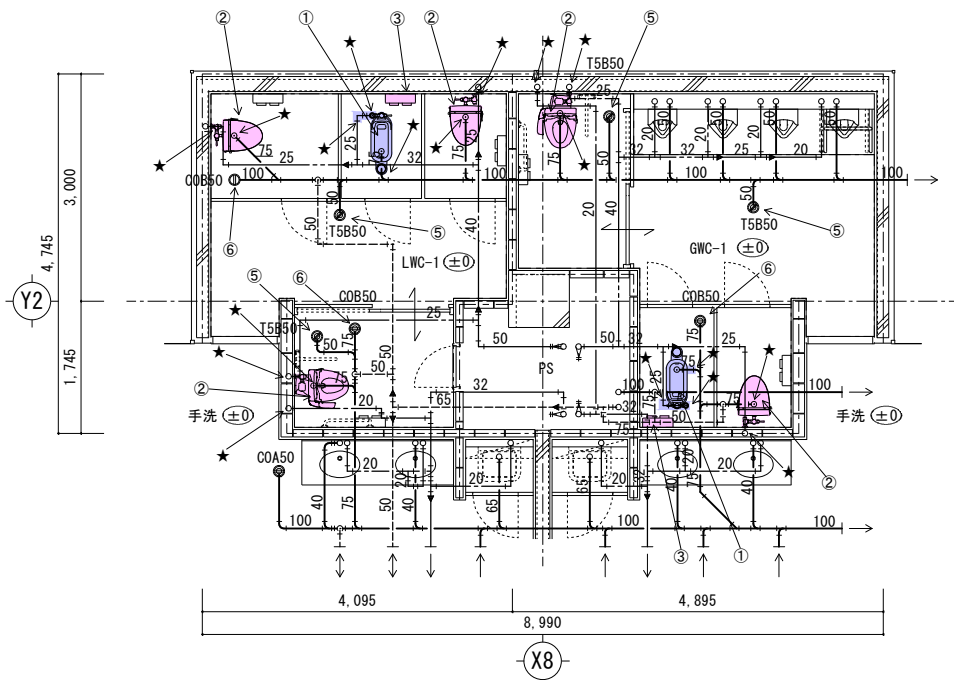
図面番号
M-16

工事名称	西部地区小学校災害復旧工事
図面名称	給排水衛生設備 既存改修 和室→会議室 改修図

縮尺
1:100

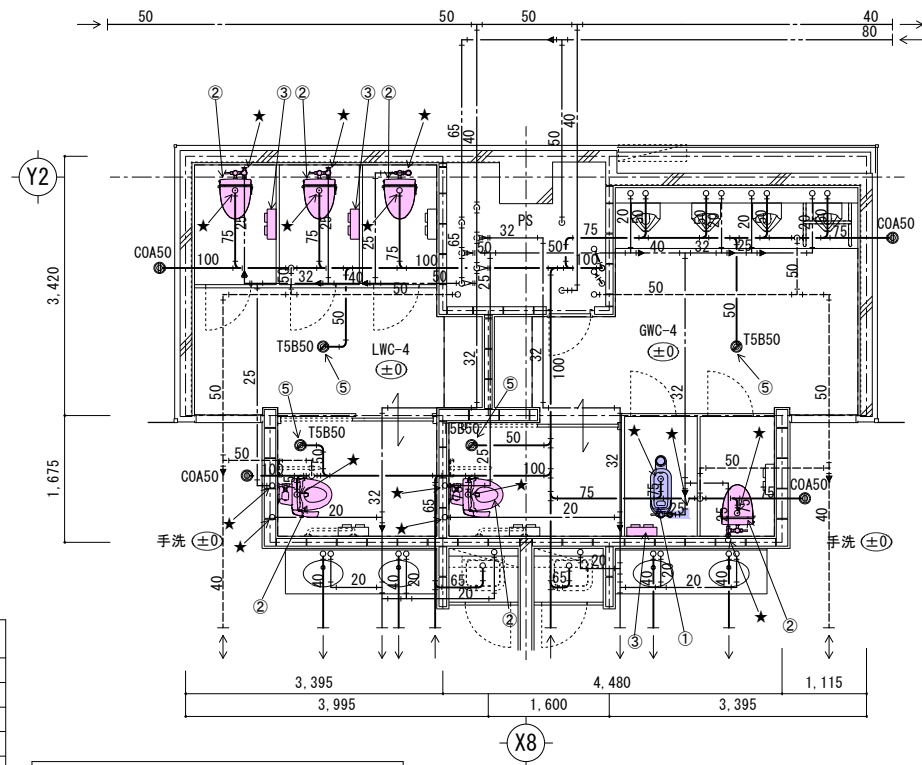


改修前



1FL GWC-1/LWC-1 平面図 1/100

改修前

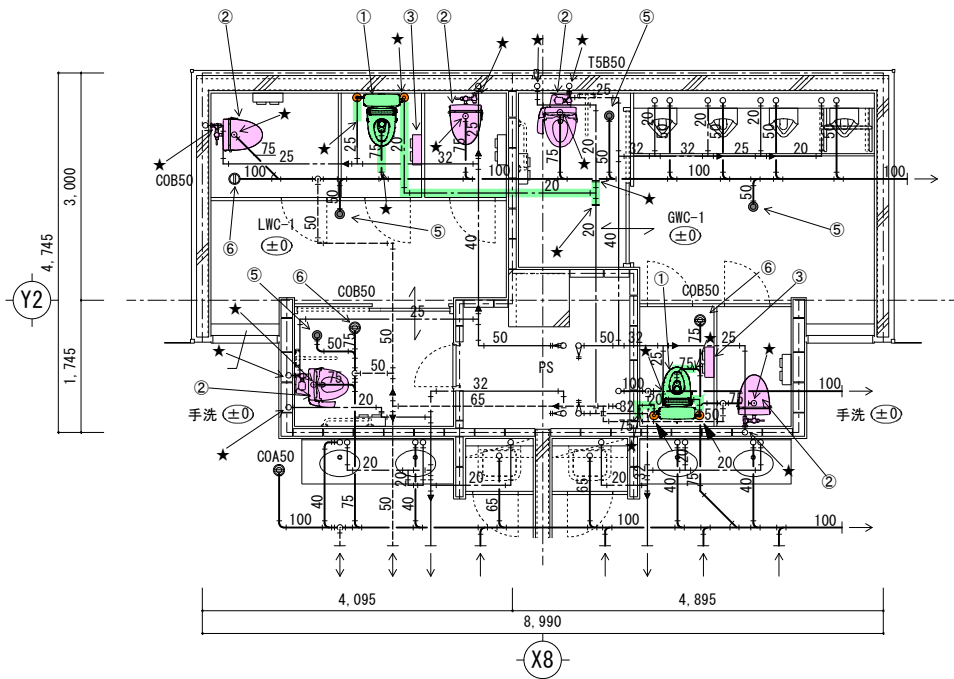


2FL GWC-4/LWC-4 平面図 1/100

- ① 和風大便器撤去：給水排水切断
- ② 腰掛便器取外し（再使用）：給水排水切断
- ③ 紙巻器取外し（再使用）
- ④ 掃除流し取外し（再使用）：給水排水切断
- ⑤ 床排水金具T5B50Iは周囲を清拭し金具枠・腕を撤去後、キャップにて閉塞しモルタル穴埋め
- ⑥ 床上掃除口COBは周囲を清拭し金具枠を撤去後、高さ調整（+15mm嵩上げ）してCOAを新設

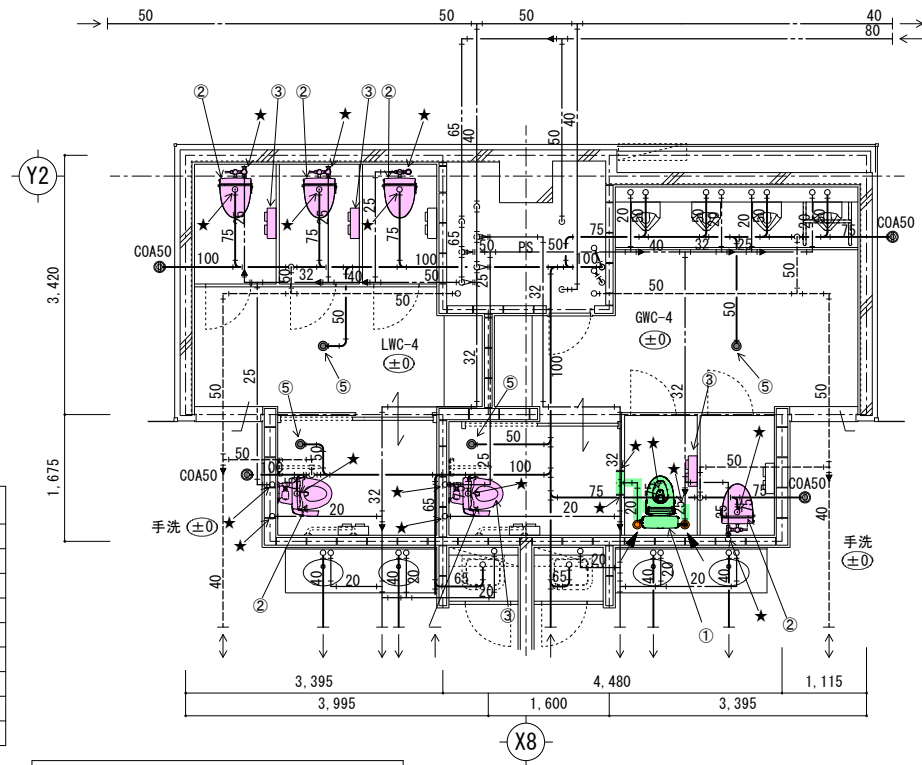
図示凡例	
図示記号	工事内容
—★	配管工事境界（既設管切断接続部）
—☆	配管工事境界（既設管切断部・キャップ止）
—●	機械貫通はつり箇所
—▽	既設配管撤去後の貫通穴はモルタルにて穴埋めを行う事
（青）	既設撤去部分
（緑）	改修部分（新設）
（紫）	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工	

改修後



1FL GWC-1/LWC-1 平面図 1/100

改修後



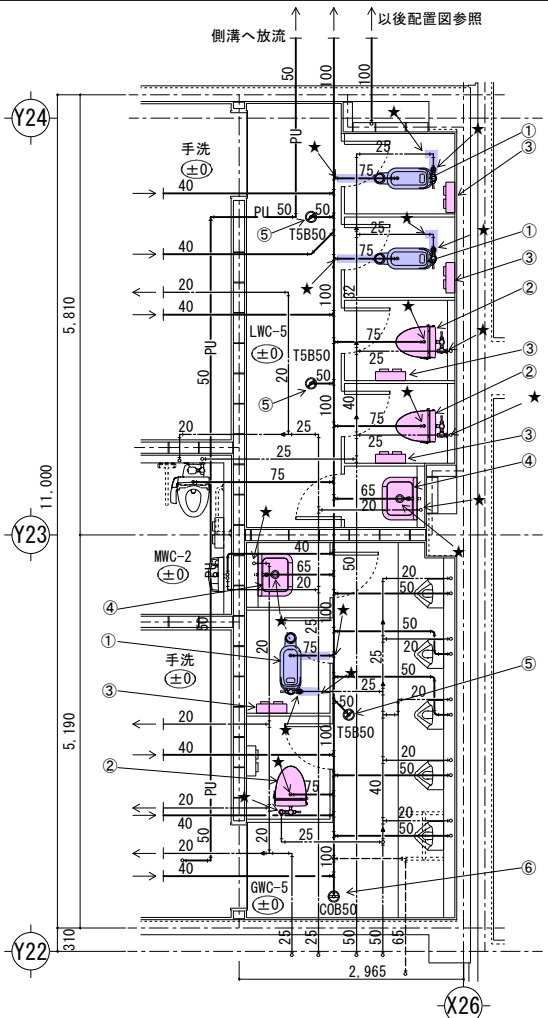
2FL GWC-4/LWC-4 平面図 1/100

- ① 腰掛便器新設：給水排水接続
- ② 腰掛便器再取付：給水・床排水フランジ 交換接続
- ③ 紙巻器再取付
- ④ 掃除流し再取付：給水・床排水フランジ 交換接続
- ⑤ 床排水金具T5B50Iは周囲を清拭し金具枠・腕を撤去後、キャップにて閉塞しモルタル穴埋め
- ⑥ 床上掃除口COBは周囲を清拭し金具枠を撤去後、高さ調整（+15mm嵩上げ）してCOAを新設

図示凡例	
図示記号	工事内容
—★	配管工事境界（既設管切断接続部）
—☆	配管工事境界（既設管切断部・キャップ止）
—●	機械貫通はつり箇所 100φ-150L
—▽	既設配管撤去後の貫通穴はモルタルにて穴埋めを行う事
（青）	既設撤去部分
（緑）	改修部分（新設）
（紫）	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工	



改修前



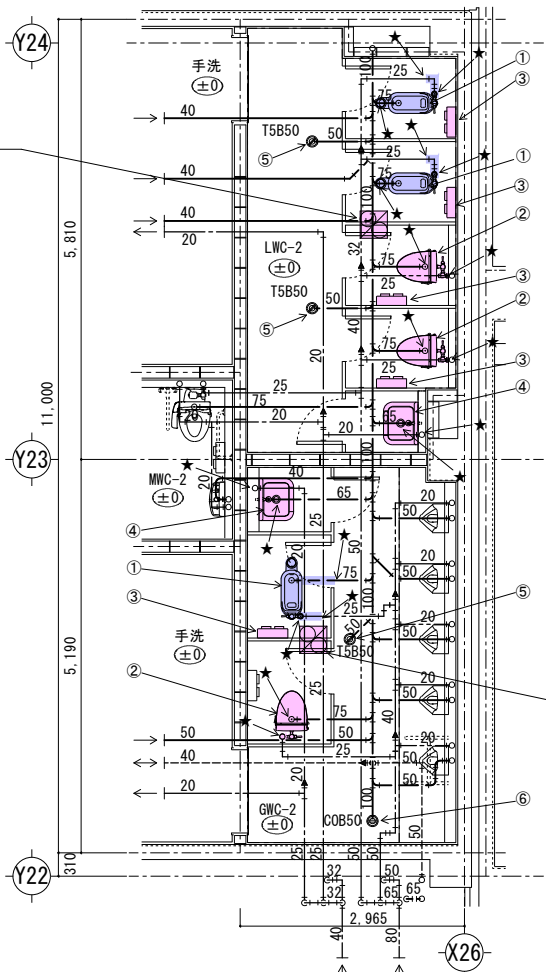
改修前

天井埋込換気扇取外し(再使用)

- ① 和風大便器撤去: 給水排水切断
- ② 腰掛便器取外し(再使用): 給水排水切断
- ③ 紙巻器取外し(再使用)
- ④ 掃除流し取外し(再使用): 給水排水切断
- ⑤ 床排水金具T5B50は周囲を溝研りし金具枠・桎を撤去後、キャップにて閉塞しモルタル穴埋め
- ⑥ 床上掃除口COBは周囲を溝研りし金具枠を撤去後、高さ調整(+15mm嵩上げ)してCOAを新設

図示凡例	
図示記号	工事内容
—★	配管工事境界(既設管切断接続部)
—☆	配管工事境界(既設管切断部・キャップ止)
—●	機械貫通はつり箇所
—□	既設配管撤去後の貫通穴はモルタルにて穴埋めを行う事
■	既設撤去部分
■	改修部分(新設)
■	改修部分(取外再使用)
※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工	

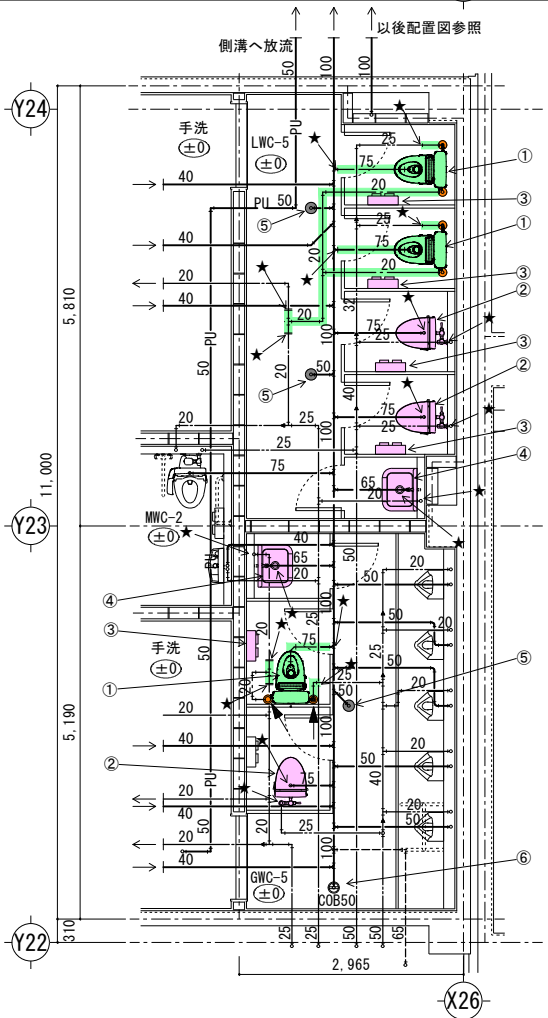
1FL GWC-2/LWC-2 平面図 1/100



天井埋込換気扇取外し(再使用)

2FL GWC-5/LWC-5 平面図 1/100

改修後



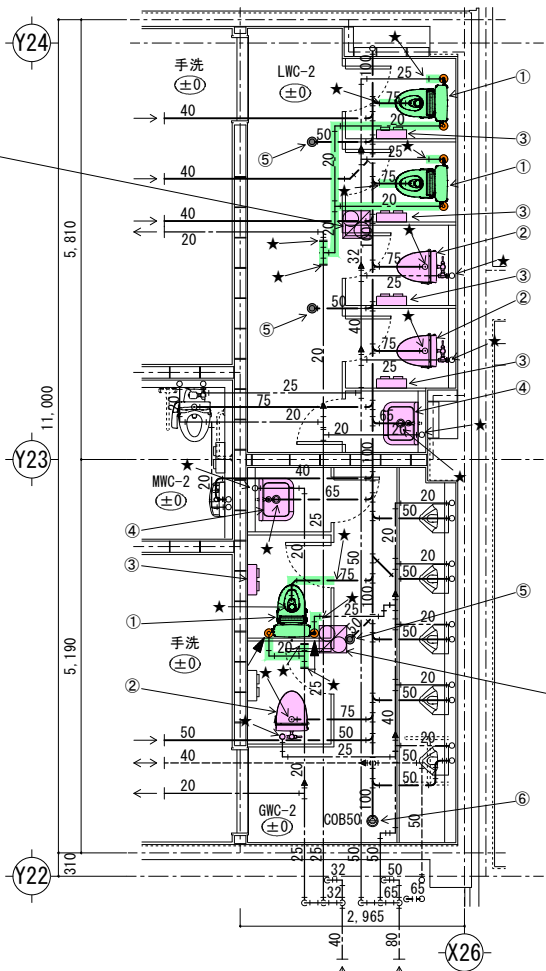
改修後

天井埋込換気扇再取付

- ① 腰掛便器新設: 給水排水接続
- ② 腰掛便器再取付: 給水・床排水フランジ 交換接続
- ③ 紙巻器再取付
- ④ 掃除流し再取付: 給水・床排水フランジ 交換接続
- ⑤ 床排水金具T5B50は周囲を溝研りし金具枠・桎を撤去後、キャップにて閉塞しモルタル穴埋め
- ⑥ 床上掃除口COBは周囲を溝研りし金具枠を撤去後、高さ調整(+15mm嵩上げ)してCOAを新設

図示凡例	
図示記号	工事内容
—★	配管工事境界(既設管切断接続部)
—☆	配管工事境界(既設管切断部・キャップ止)
—●	機械貫通はつり箇所 100φ-150L
—□	既設配管撤去後の貫通穴はモルタルにて穴埋めを行う事
■	既設撤去部分
■	改修部分(新設)
■	改修部分(取外再使用)
※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工	

1FL GWC-2/LWC-2 平面図 1/100

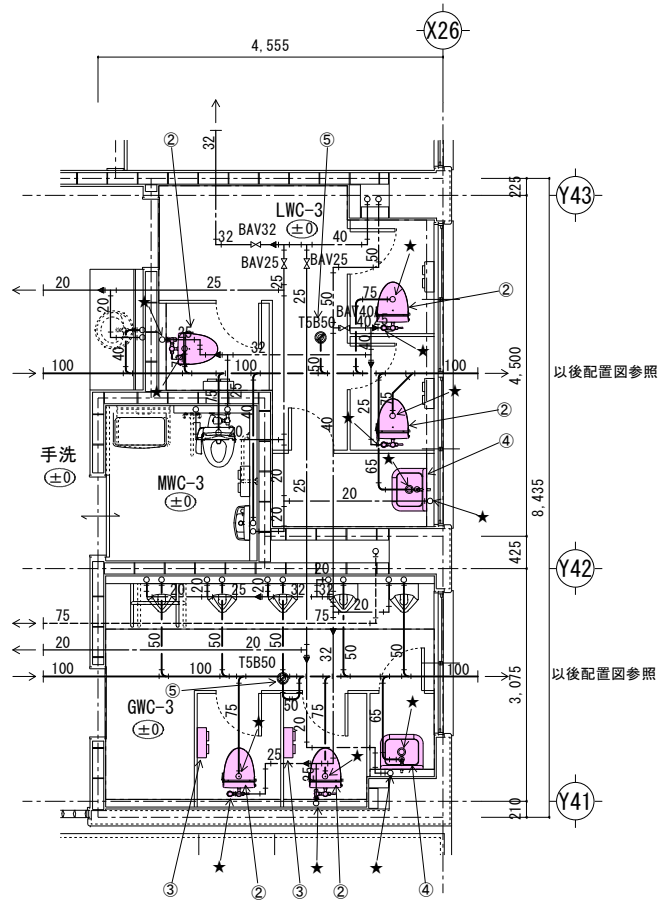


天井埋込換気扇再取付

2FL GWC-5/LWC-5 平面図 1/100

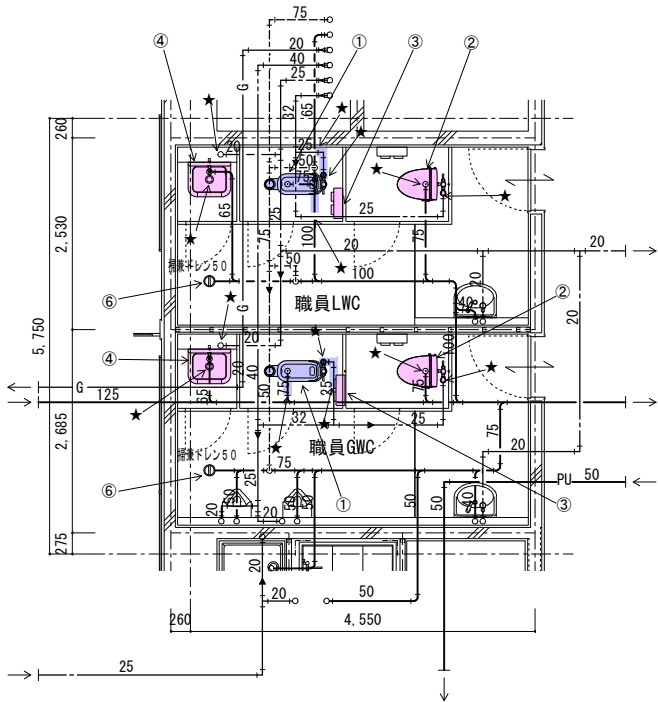


改修前



1FL GWC-3/LWC-3 平面図 1/100

改修前

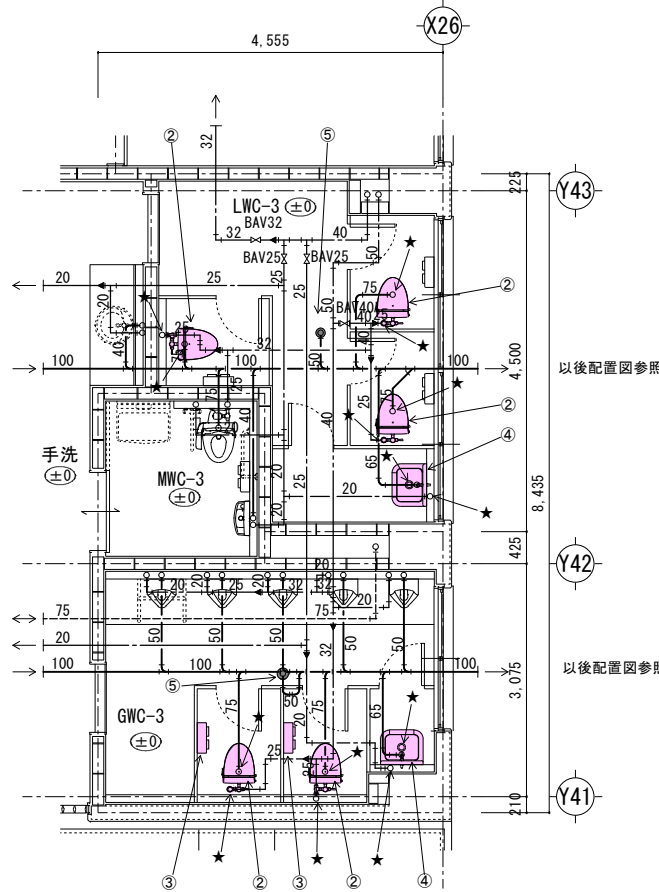


1FL 職員GWC/職員LWC 平面図 1/100

- ① 和風大便器撤去：給水排水切断
- ② 腰掛便器取外し(再使用)：給水排水切断
- ③ 紙巻器取外し(再使用)
- ④ 掃除流し取外し(再使用)：給水排水切断
- ⑤ 床排水金具T5B50は周囲を清研りし金具枠・碗を撤去後、キャップにて閉塞しも穴埋め
- ⑥ 床上掃除口COBは周囲を清研りし金具枠を撤去後、高さ調整(+15mm嵩上げ)してCOAを新設

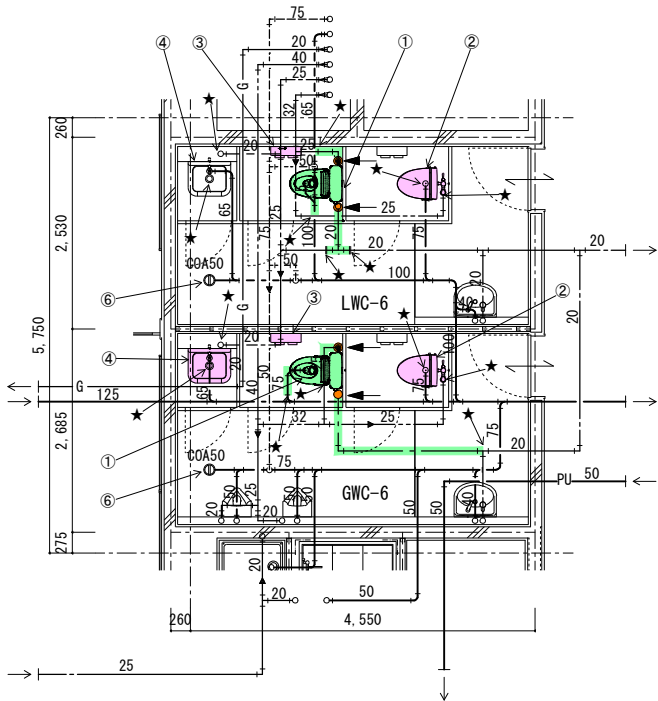
図示凡例	
図示記号	工事内容
★	配管工事境界(既設管切断接続部)
☆	配管工事境界(既設管切断部・キャップ止)
●	機械貫通はつり箇所
▽	既設配管撤去後の貫通穴はもみにて穴埋めを行う事
	既設撤去部分
	改修部分(新設)
	改修部分(取外再使用)
※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工	

改修後



1FL GWC-3/LWC-3 平面図 1/100

改修後



1FL 職員GWC/職員LWC 平面図 1/100

- ① 腰掛便器新設：給水排水接続
- ② 腰掛便器再取付：給水・床排水フランジ交換接続
- ③ 紙巻器再取付
- ④ 掃除流し再取付：給水・床排水フランジ交換接続
- ⑤ 床排水金具T5B50は周囲を清研りし金具枠・碗を撤去後、キャップにて閉塞しも穴埋め
- ⑥ 床上掃除口COBは周囲を清研りし金具枠を撤去後、高さ調整(+15mm嵩上げ)してCOAを新設

図示凡例	
図示記号	工事内容
★	配管工事境界(既設管切断接続部)
☆	配管工事境界(既設管切断部・キャップ止)
●	機械貫通はつり箇所 100φ-150L
▽	既設配管撤去後の貫通穴はもみにて穴埋めを行う事
	既設撤去部分
	改修部分(新設)
	改修部分(取外再使用)
※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工	



新設空調機器表

記号	機 器 名 称	仕 様	動 力			台数	設 置 場 所		備 考 (機種:参考型番)
			相φ	電圧V	出力kW		階	室 名	
ACP-20	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 超高効率型ﾊﾞｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ 1方向・天井ｶｾｯﾄ形				1	1	(増築)放送室	日本ｷｬﾘｱ(株)
	室外機耐塩害仕様	冷房能力 3.6kW (JIS条件時)	3	200	0.819				GSXA04013MUB (HXJZ)
		暖房能力 4.0kW (JIS条件時)	3	200	0.850				
		圧縮機機出力 0.56kW							ﾀﾞｲｴﾝ工業(株)
		送風機(内) 風量 13.0m³/min(急ﾉｯﾁ) ×出力 94W							SSRK40CTE
		送風機(外) 風量 36.7m³/min ×出力 43W							
		冷媒管(R32) (液管) 6.4φ (ｶﾞｽ管) 12.7φ							三菱電機(株)
		付属品 昇降ﾊﾞﾚﾂ,ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ,集中管理用ｱﾀﾞﾌﾞﾀｰ							PMZ-ZRMP40FF5 (BS)
		室外機平架台(溶融亜鉛メッキ:300H),転倒防止金具							
ACP-21	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 超高効率型ﾊﾞｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ 2方向・天井ｶｾｯﾄ形				1	1	(増築)事務室	日本ｷｬﾘｱ(株)
	室外機耐塩害仕様	冷房能力 3.6kW (JIS条件時)	3	200	0.721	1	1	(増築)相談室	GWXA04013MUB (HXJZ)
		暖房能力 4.0kW (JIS条件時)	3	200	0.814				
		圧縮機機出力 0.56kW							ﾀﾞｲｴﾝ工業(株)
		送風機(内) 風量 10.0m³/min(急ﾉｯﾁ) ×出力 60W							SSRG40CTE
		送風機(外) 風量 36.7m³/min ×出力 43W							
		冷媒管(R32) (液管) 6.4φ (ｶﾞｽ管) 12.7φ							三菱電機(株)
		付属品 昇降ﾊﾞﾚﾂ,ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ,集中管理用ｱﾀﾞﾌﾞﾀｰ							PLZ-ZRMP40LF5 (BS)
		室外機平架台(溶融亜鉛メッキ:300H),転倒防止金具							
ACP-22	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 超高効率型ﾊﾞｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ 2方向・天井ｶｾｯﾄ形				1	1	(増築)給湯ｺｰﾅｰ	日本ｷｬﾘｱ(株)
	室外機耐塩害仕様	冷房能力 7.1kW (JIS条件時)	3	200	2.21				GWXA08013MUB (HXJZ)
		暖房能力 8.0kW (JIS条件時)	3	200	2.32				
		圧縮機機出力 1.27kW							ﾀﾞｲｴﾝ工業(株)
		送風機(内) 風量 17.5m³/min(急ﾉｯﾁ) ×出力 94W							SSRG80CTE
		送風機(外) 風量 53.0m³/min ×出力 60W							
		冷媒管(R32) (液管) 9.5φ (ｶﾞｽ管) 15.9φ							三菱電機(株)
		付属品 昇降ﾊﾞﾚﾂ,ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ,集中管理用ｱﾀﾞﾌﾞﾀｰ							PLZ-ZRMP80LF5 (BS)
		室外機平架台(溶融亜鉛メッキ:300H),転倒防止金具							
ACP-23	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 超高効率型ﾊﾞｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ 4方向・天井ｶｾｯﾄ形				1	1	(増築)会議室	日本ｷｬﾘｱ(株)
	室外機耐塩害仕様	冷房能力 10.0kW (JIS条件時)	3	200	2.21	1	1	(増築)校長室	GUXA11213MUB (HXJZ)
		暖房能力 11.2kW (JIS条件時)	3	200	2.32				
		圧縮機機出力 1.86kW							ﾀﾞｲｴﾝ工業(株)
		送風機(内) 風量 38.0m³/min(急ﾉｯﾁ) ×出力 130W							SSRC112CE
		送風機(外) 風量 116.0m³/min ×出力100W×2							
		冷媒管(R32) (液管) 9.5φ (ｶﾞｽ管) 15.9φ							三菱電機(株)
		付属品 昇降ﾊﾞﾚﾂ,ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ,集中管理用ｱﾀﾞﾌﾞﾀｰ							PLZ-ZRMP112HF5 (BS)
		室外機平架台(溶融亜鉛メッキ:300H),転倒防止金具							

: 既設撤去機器を示す

: 新設機器を示す

: 既設取外し再取付機器を示す

記号	機 器 名 称	仕 様	動 力			台数	設 置 場 所		備 考 (機種:参考型番)
			相φ	電圧V	出力kW		階	室 名	
ACP-24	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 超高効率型ﾊﾞｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ 4方向・天井ｶｾｯﾄ形				2	1	(増築)職員室	日本ｷｬﾘｱ(株)
	室外機耐塩害仕様	冷房能力 12.5kW (JIS条件時)	3	200	3.08				GUXA14013MUB (HXJZ)
		暖房能力 14.0kW (JIS条件時)	3	200	3.11				
		圧縮機機出力 2.63kW							ﾀﾞｲｴﾝ工業(株)
		送風機(内) 風量 38.0m³/min(急ﾉｯﾁ) ×出力 130W							SSRC140CE
		送風機(外) 風量 116.0m³/min ×出力100W×2							
		冷媒管(R32) (液管) 9.5φ (ｶﾞｽ管) 15.9φ							三菱電機(株)
		付属品 昇降ﾊﾞﾚﾂ,ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ,集中管理用ｱﾀﾞﾌﾞﾀｰ							PLZ-ZRMP140HF5 (BS)
		室外機平架台(溶融亜鉛メッキ:300H),転倒防止金具							
ACP-24	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 超高効率型ﾊﾞｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ 4方向・天井ｶｾｯﾄ形				1	1	(既存)普通教室(4)	日本ｷｬﾘｱ(株)
	室外機耐塩害仕様	冷房能力 12.5kW (JIS条件時)	3	200	3.08	1	2	(既存)普通教室(6)	GUXA14013MUB (HXJZ)
		暖房能力 14.0kW (JIS条件時)	3	200	3.11	1	2	(既存)普通教室(7)	
		圧縮機機出力 2.63kW							ﾀﾞｲｴﾝ工業(株)
		送風機(内) 風量 38.0m³/min(急ﾉｯﾁ) ×出力 130W							SSRC140CE
		送風機(外) 風量 116.0m³/min ×出力100W×2							
		冷媒管(R32) (液管) 9.5φ (ｶﾞｽ管) 15.9φ							三菱電機(株)
		付属品 昇降ﾊﾞﾚﾂ,ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ,集中管理用ｱﾀﾞﾌﾞﾀｰ							PLZ-ZRMP140HF5 (BS)
		室外機壁掛架台(溶融亜鉛メッキ),転倒防止金具							
		※1階普通教室(4)のみ既設室外機架台を再利用							
ACP-25	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 超高効率型ﾊﾞｯｹｰｼﾞ ｴｱｺﾝ 4方向・天井ｶｾｯﾄ形				1	2	(既存)普通教室(5)	日本ｷｬﾘｱ(株)
	室外機耐塩害仕様	冷房能力 14.0kW (JIS条件時)	3	200	3.96				GUXA16013MUB (HXJZ)
		暖房能力 16.0kW (JIS条件時)	3	200	3.89				
		圧縮機機出力 3.29kW							ﾀﾞｲｴﾝ工業(株)
		送風機(内) 風量 38.0m³/min(急ﾉｯﾁ) ×出力 130W							SSRC160CE
		送風機(外) 風量 116.0m³/min ×出力100W×2							
		冷媒管(R32) (液管) 9.5φ (ｶﾞｽ管) 15.9φ							三菱電機(株)
		付属品 昇降ﾊﾞﾚﾂ,ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ,集中管理用ｱﾀﾞﾌﾞﾀｰ							PLZ-ZRMP160HF5 (BS)
		室外機壁掛架台(溶融亜鉛メッキ),転倒防止金具							

※１．エアコンの能力はJIS条件時とする。

※２．室内機～室外機間の電源・制御配線工事及び室内機～リモコンスイッチ間の制御配線工事及び集中リモコン用制御配線工事は本工事とする。

※３．現在職員室にある既設集中コントー(東芝キャリア製:BMS-CT5121)を増築棟職員室に移設し、集中制御可能なように新設エアコンには集中管理用ｱﾀﾞﾌﾞﾀｰを見込む事。

※４．既設集中コントー(東芝キャリア製:BMS-CT5121)ではﾃﾞﾓﾝﾄﾞ制御を行っているので、新設エアコンのﾌﾟﾚﾍﾞ設定作業を見込む事。

注１. 既設エアコン機器は東芝キャリア製に付き、省エネ適判申請の対象機器は日本キャリア製を選択

注２. 受注者の都合による省エネ適判申請の対象機器を変更する場合、軽微変更該証明申請にかかる申請料を受注者にて負担すること

既設品移設再使用空調機器表

記号	機 器 名 称	仕 様	動 力			台数	既存棟設置場所		備 考 (機種：メーカー型番)
			相φ	電圧V	出力kW		階	旧室名 → 新室名	
ACP-2	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 シﾝｸﾞﾙｴｱｺﾝ 4方向・天井ｶｾｯﾄ形				1	1	校長室→普通教室(1)	東芝ｷｬﾘｱ(株)
-125 ^{4CK}	室外機耐塩害仕様	冷房能力 12.5kW (JIS条件時)	3	200	3.75				RUSA14033MZ
		暖房能力 14.0kW (JIS条件時)	3	200	3.27				
		圧縮機機出力 3.21kW							
		冷媒管(R32) (液管) 9.5Φ (ガス管) 15.9Φ							
		付属品 ﾋﾞｰﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ							
ACP-3	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 シﾝｸﾞﾙｴｱｺﾝ 4方向・天井ｶｾｯﾄ形				2	1	職員室→普通教室(2)・(3)	東芝ｷｬﾘｱ(株)
-140 ^{4CK}	室外機耐塩害仕様	冷房能力 14.0kW (JIS条件時)	3	200	4.19	1	1	和室→会議室	RUSA16033MZ
		暖房能力 16.0kW (JIS条件時)	3	200	3.90				
		圧縮機機出力 3.61kW							
		冷媒管(R32) (液管) 9.5Φ (ガス管) 15.9Φ							
		付属品 ﾋﾞｰﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ							
ACP-4	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 シﾝｸﾞﾙｴｱｺﾝ 天吊露出形				2	2	会議室→特殊学級	東芝ｷｬﾘｱ(株)
-100 ^{4CR}	室外機耐塩害仕様	冷房能力 10.0kW (JIS条件時)	3	200	3.05				RCSA11233MZ
		暖房能力 11.2kW (JIS条件時)	3	200	2.75				
		圧縮機機出力 2.16kW							
		冷媒管(R32) (液管) 9.5Φ (ガス管) 15.9Φ							
		付属品 ﾋﾞｰﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ							
※５．上記既設空調機器は、室外機はそのまま再使用とし、室内機のみ移設（和室ACP-3系統のみ室外機も移設）									
※６．既設ﾌｪﾝｼﾝ室内機移設時の既設再利用冷媒管については、ピンチ処理等養生を行いメーカーのR32機種施工時の注意点を順守する事									
①配管の傷へこみ等損傷がないか確認 ②ポンプダウンによる冷媒回収									
③冷媒配管施工において、ろう付け時は窒素ブローを行い酸化被膜発生を防止									
④気密試験は窒素ガスにて設計圧力まで加圧 ⑤真空ポンプにより真空乾燥を実施し空気・水分・異物等の除去									
⑥必要な場合は冷媒追加充填 ⑦ガス漏れチェック ⑧試運転調整									
※７．室内機の電源取外し再取付は本工事									
MRC	集中管理ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ	型式 ﾀｯﾁﾊﾞｰﾈﾙ式 5.7ｲﾝﾁ液晶画面	1	100	28W	1	1	(既設校舎棟)職員室	東芝ｷｬﾘｱ(株)
		ﾀｯﾁｺﾝﾄﾛｰﾗｰﾅｰﾓﾝﾄﾞ 制御ｼｵﾌﾄｳｴｱ						→(増築棟)職員室	BMS-GT5121
		接続台数：47ｶﾞﾈﾙﾌﾞ 以上							
		ﾃﾞｼﾞﾀﾙ入出力ｲﾝﾀｰﾌｴｰｽ(BMS-IFDD03)							
		年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ機能							
		TCS-NET中継ｲﾝﾀｰﾌｴｰｽ(BMS-IFLSV4)							
※８．MRCは増築棟工事完成時には、既設職員室から増築棟職員室内の総合盤面(電気工事)に移設設置を行う									
TCS-NET中継ｲﾝﾀｰﾌｴｰｽは増築棟工事完成時には、既設職員室から増築棟職員室内の総合盤内(電気工事)に移設設置を行う									

撤去空調機器表

記号	機 器 名 称	仕 様	動 力			台数	既存棟設置場所		備 考 (機種：メーカー型番)
			相φ	電圧V	出力kW		階	室 名	
ACP-1	ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型空調機	型式 シﾝｸﾞﾙｴｱｺﾝ 1方向・天井ｶｾｯﾄ形				1	1	放送室	東芝ｷｬﾘｱ(株)
-36 ^{1CK}	室外機耐塩害仕様	冷房能力 3.6kW (JIS条件時)	3	200	1.08				RSSA04033MZ
		暖房能力 4.0kW (JIS条件時)	3	200	0.99				
		圧縮機機出力 0.73kW							
		冷媒管(R32) (液管) 6.4Φ (ガス管) 12.7Φ							
		付属品 ﾋﾞｰﾚﾝｱｯﾌﾟ,ﾘﾓｺﾝ							
OACP-1	熱回収外調機	型式 空冷ﾋｰﾋﾞﾙﾝｸﾞ式熱回収外調機 天井埋込蔽ｶﾞ外形				1	1	校長室	木村工機(株)
		給気・排気	1	200	0.69				AH-350
		冷却能力 2.66kW	1	200	0.47				
		加熱能力 2.84kW							
		給気風量 350m3/h×120Pa							
		排気風量 350m3/h×120Pa							
		圧縮機機出力 0.5kW							
		冷媒(R407C)							
		外寸・重量 1,195×1,140×465H 170kg							
		付属品 リモコン							
OACP-2	熱回収外調機	型式 空冷ﾋｰﾋﾞﾙﾝｸﾞ式熱回収外調機 天井埋込蔽ｶﾞ外形				1	1	職員室	木村工機(株)
		給気・排気	1	200	1.00				AH-500
		冷却能力 3.57kW	1	200	0.76				
		加熱能力 3.69kW							
		給気風量 500m3/h×120Pa							
		排気風量 350m3/h×120Pa							
		圧縮機機出力 0.75kW							
		冷媒(R407C)							
		外寸・重量 1,290×1,140×490H 190kg							
		付属品 リモコン							
EH-2	電気蓄熱暖房器	型式 電気式床置蓄熱暖房機				2	2	特殊学級	(株)ﾃﾞｻﾞｲﾝﾌﾞﾚｯｸｽ
		最大蓄熱量 32.0kWh	1	200	4.0				VFMi40JW
		送風機	1	100	18W				
		蓄熱ﾚﾝｶﾞ数 24個							
		外寸 926×250×672H							
		重量 本体：銅板製43kg 耐火ﾚﾝｶﾞ：133kg							
EH-3	電気蓄熱暖房器	型式 電気式床置蓄熱暖房機				2	2	会議室	(株)ﾃﾞｻﾞｲﾝﾌﾞﾚｯｸｽ
		最大蓄熱量 56.0kWh	1	200	7.0	1	2	生徒会ﾗﾝｼﾞﾝｸﾞ	VFMi70JW
		送風機	1	100	28W				
		蓄熱ﾚﾝｶﾞ数 42個							
		外寸 1,376×250×672H							
		重量 本体：銅板製63kg 耐火ﾚﾝｶﾞ：230kg							

：既設撤去機器を示す

：新設機器を示す

：既設取外し再取付機器を示す

新設換気機器表

記号	機器名称	仕 様	動 力			台数	設 置 場 所		備 考 (機種：参考型番)
			相 対	電圧V	出力kW		階	室 名	
HEA-1	全熱交換器	型式 天井埋込㊦形	1	100	0.043	1	1	(増築)事務室	三菱電機(株)
		能力 100Φ × 90m³/h × 60Pa				1	1	(増築)放送室	VL-150ZSD3
		温度交換効率 62%							
		エンタルピー-交換効率（冷房）42% （暖房）46%							
		付属品 24時間換気ユニット専用コントロールスイッチ							
		SUS製ｷﾞﾔﾘｰ・防虫網付深形ｽｸｲﾌﾟｰﾄﾞ × 2							
HEA-2	全熱交換器	型式 天井㊦形(マイコンﾀｲﾌﾟ)	1	100	0.128	1	1	(増築)相談室	三菱電機(株)
		能力 150Φ × 180m³/h × 140Pa							LGH-N25CX₃
		温度交換効率 70.5%							
		エンタルピー-交換効率（冷房）60.5% （暖房）67%							
		付属品 24時間換気ユニット専用コントロールスイッチ(微弱風量対応)							
		虫侵入防止ユニット、SUS製ｷﾞﾔﾘｰ・防虫網付深形ｽｸｲﾌﾟｰﾄﾞ							
HEA-3	全熱交換器	型式 天井㊦形(マイコンﾀｲﾌﾟ)	1	100	0.249	1	1	(増築)会議室	三菱電機(株)
		能力 150Φ × 360m³/h × 150Pa				1	1	(増築)校長室	LGH-N50CX₃
		温度交換効率 69%				2	1	(増築)職員室	
		エンタルピー-交換効率（冷房）60.5% （暖房）67%							
		付属品 24時間換気ユニット専用コントロールスイッチ(微弱風量対応)							
		虫侵入防止ユニット、SUS製ｷﾞﾔﾘｰ・防虫網付深形ｽｸｲﾌﾟｰﾄﾞ							
HEA-4	全熱交換器	型式 天井㊦形(マイコンﾀｲﾌﾟ)	1	100	0.249	4	1	(既存校舎棟) 普通教室(1)～(4)	三菱電機(株)
		能力 150Φ × 400m³/h × 150Pa				3	2	(既存校舎棟) 普通教室(5)～(7)	LGH-N50CX₃
		温度交換効率 69%							
		エンタルピー-交換効率（冷房）60.5% （暖房）67%							
		付属品 24時間換気ユニット専用コントロールスイッチ(微弱風量対応)							
		虫侵入防止ユニット							
		SUS製ｷﾞﾔﾘｰ・防虫網付ﾊﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ(1階普通教室(1)～(4))							
		SUS製ｷﾞﾔﾘｰ・防虫網付深形ﾌｰﾄﾞ(2階普通教室(5)～(7))							
FE-1	排気ファン	型式 消音型DCモーターストレートフローファン(天吊埋込ﾀｲﾌﾟ)	1	100	116W	1	1	(増築)LWC	三菱電機㈱
		能力 200Φ × 500m³/h × 200Pa				1	1	(増築)GWC	BFS-80SUDC
		付属品 天吊金具、SUS製ｷﾞﾔﾘｰ付深形ｽｸｲﾌﾟｰﾄﾞ							
FV-1	排気ファン	型式 低騒音形天井扇(DCﾌｧﾝ)	1	100	3.3W	2	1	(増築)物入、外部物入	三菱電機㈱
		能力 100Φ × 100m³/h × 85Pa				2	1	(増築)教材-1、教材-3	VD-13ZVC₇
		付属品 SUS製ｷﾞﾔﾘｰ付深形ｽｸｲﾌﾟｰﾄﾞ、天吊金具付							
FV-2	排気ファン	型式 低騒音形天井扇(DCﾌｧﾝ)	1	100	19.5W	1	1	(増築)男子更衣室	三菱電機㈱
		能力 100Φ × 120m³/h × 140Pa				1	1	(増築)女子更衣室	VD-15ZVC₇
		付属品 SUS製ｷﾞﾔﾘｰ付深形ｽｸｲﾌﾟｰﾄﾞ、天吊金具付							
FV-3	排気ファン	型式 低騒音形天井扇(DCﾌｧﾝ)	1	100	36W	1	1	(増築)教材-2	三菱電機㈱
		能力 150Φ × 200m³/h × 135Pa				1	1	(既設校舎棟)給湯室	VD-20ZVC₇
		付属品 SUS製ｷﾞﾔﾘｰ付深形ｽｸｲﾌﾟｰﾄﾞ、天吊金具付							

※FE、FVの換気扇用コントロールスイッチは配管配線を含め電気工事

既設換気機器表

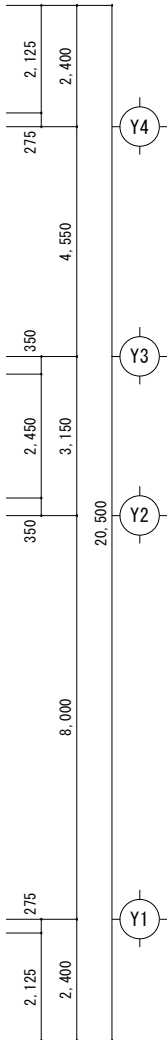
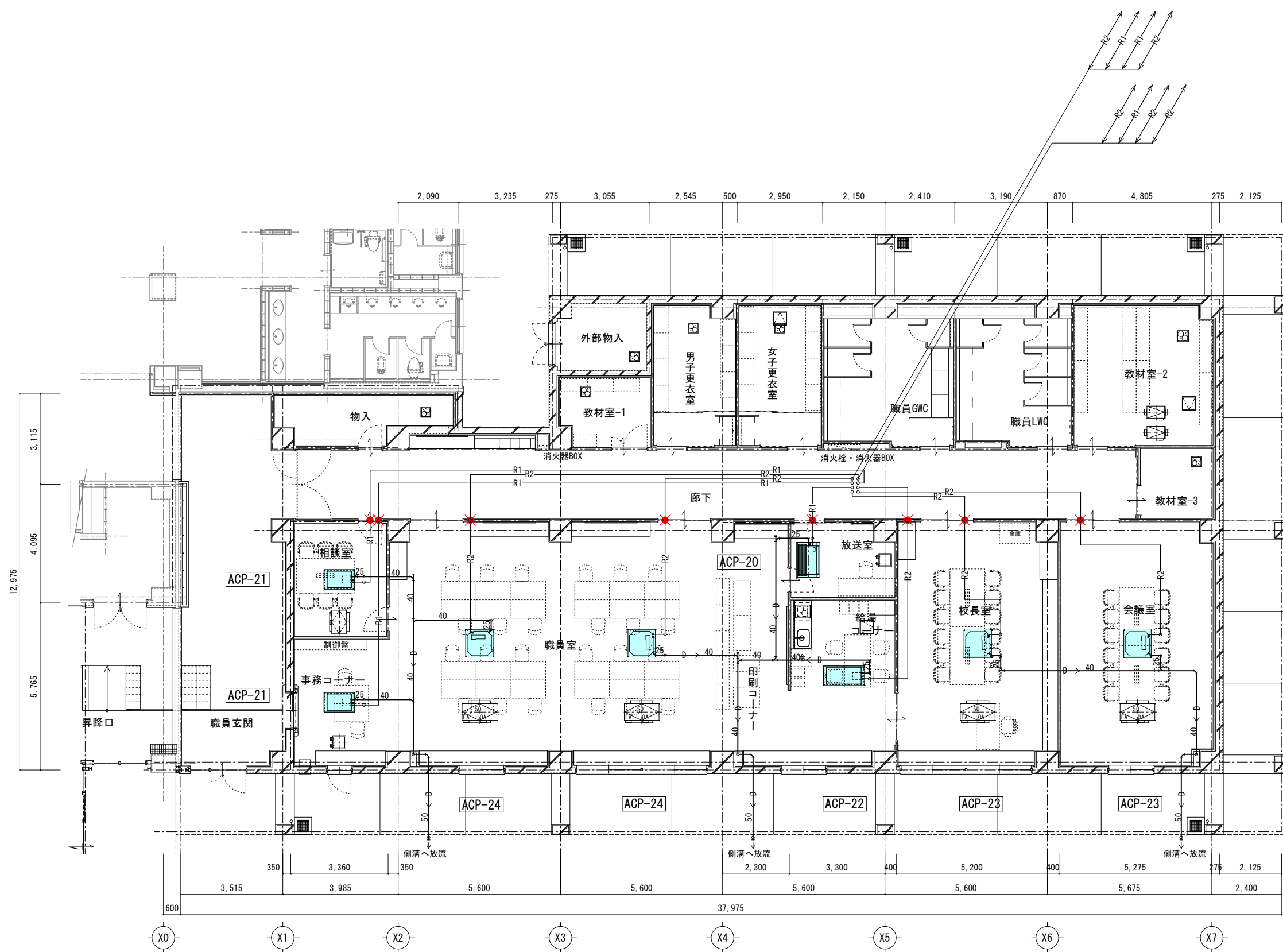
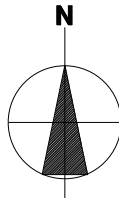
[illegible]

 : 既設撤去機器を示す

 : 新設機器を示す

 : 既設取外し再取付機器を示す





冷媒配管リスト

記号	冷媒管口径 (φ)	
	ガス側	液側
R・1	12.7	6.4
R・2	15.9	9.5

※1. 天井高が1.0m以上ある為、室内機を自重支持用吊钩4本で構成される4面にそれぞれ2本の斜材でX形として固定し、固定金具は吊钩固定式タイプ加圧型の振れ止め金具を使用し防振措置を行う事。
【参考品番：因幡電工 クロスロック FL-VS (17コン1台分セット)】
・・・建築設備耐震設計施工指針 準拠品
(建築設備耐震設計施工指針2014年版の施工方法により行う事)
※2. 断熱材のある床や壁にフックにて吊钩等を設置する場合は断熱材の補修を行う事。
注) 表示は冷媒配管が防火区画を貫通する箇所を示す。
防火区画貫通耐火キャップを取付の事。
国土交通大臣認定番号
壁：(中空壁) PS060WL-0774-1・(コンクリート) PS060WL-0777-1



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

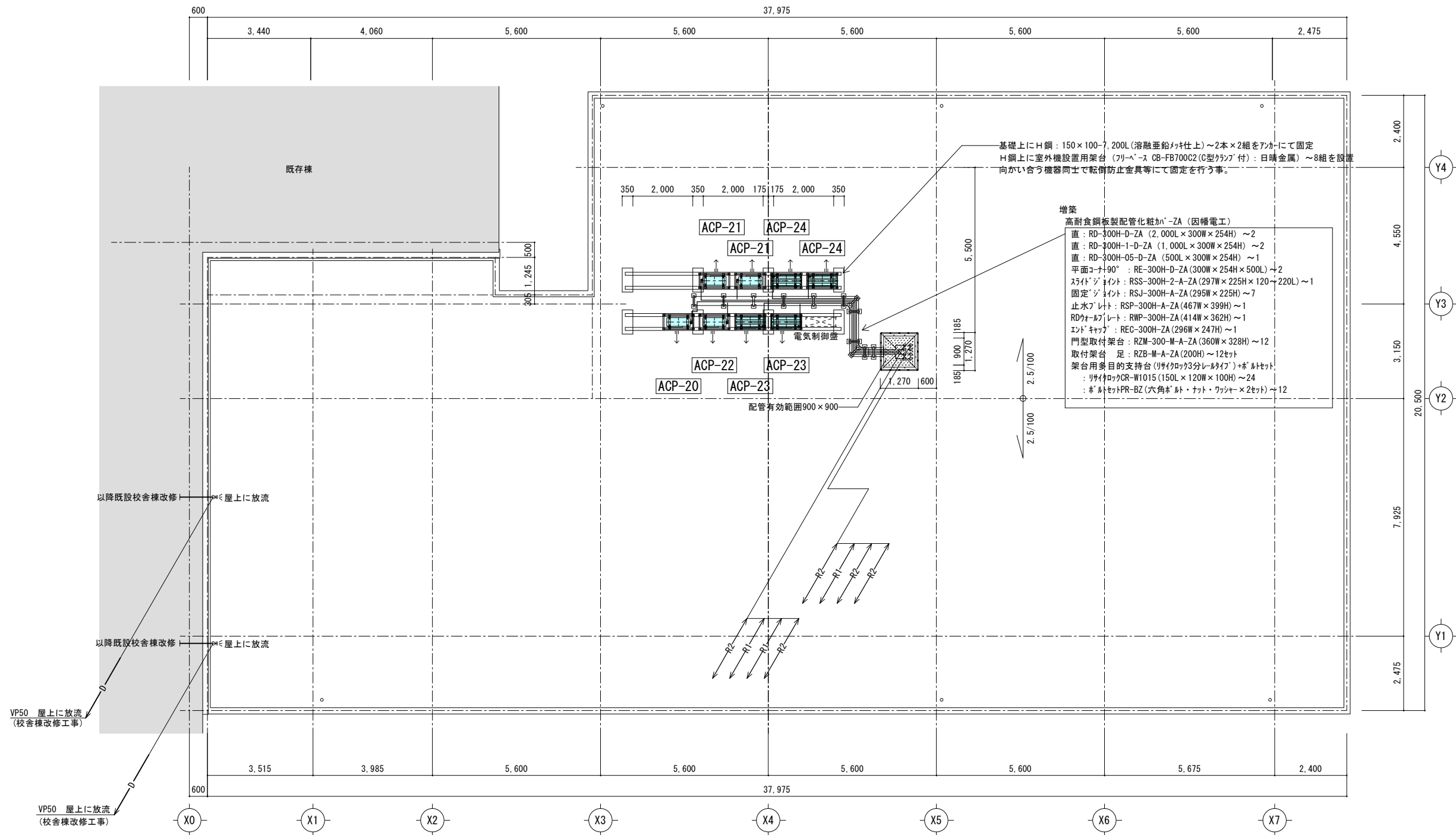
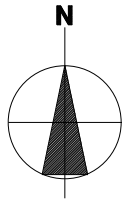
設計番号
25_42

図面番号
M-24

工事名称
図面名称

西部地区小学校災害復旧工事
空調設備 平面図 (増築棟)

縮尺
1:150



冷媒配管リスト

記号	冷媒管口径 (φ)	
	ガス側	液側
R・1	12.7	6.4
R・2	15.9	9.5

- ※ 1. 図示の屋外露出の冷媒管はダクト外型配管化粧カバーにて保護する事。
(高耐食鋼板製配管化粧カバー-ZA)
- ※ 2. 配管化粧カバーから室外機までの屋外露出の冷媒管は
(GW25t保温材+SUS外装)にて保護する事。
- ※ 3. 基礎上にH鋼: 150×100-7, 200L (溶融亜鉛メッキ仕上) ~4本を固定し、
その上に室外機設置用架台 (フリース) を設置し、転倒防止金具等にて固定を行う事。
- ※ 4. ハト小屋 (建築工事) はFRP製の既製品である為、配管開口の加工については
建築工事と十分協議する事。
- ※ 5. ハト小屋内部の屋上スラブ配管貫通部は断熱材にて充填する事。



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26. 03

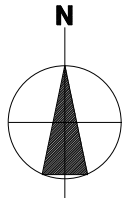
設計番号
25_42

図面番号
M-25

工事名称
図面名称

西部地区小学校災害復旧工事
空調設備 屋上平面図 (増築棟)

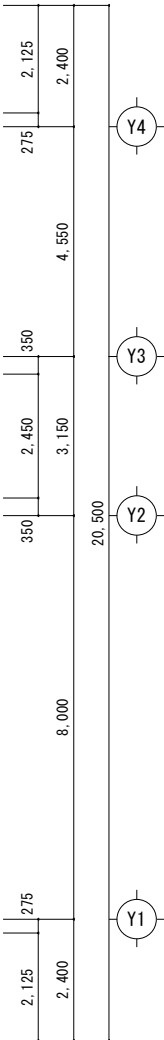
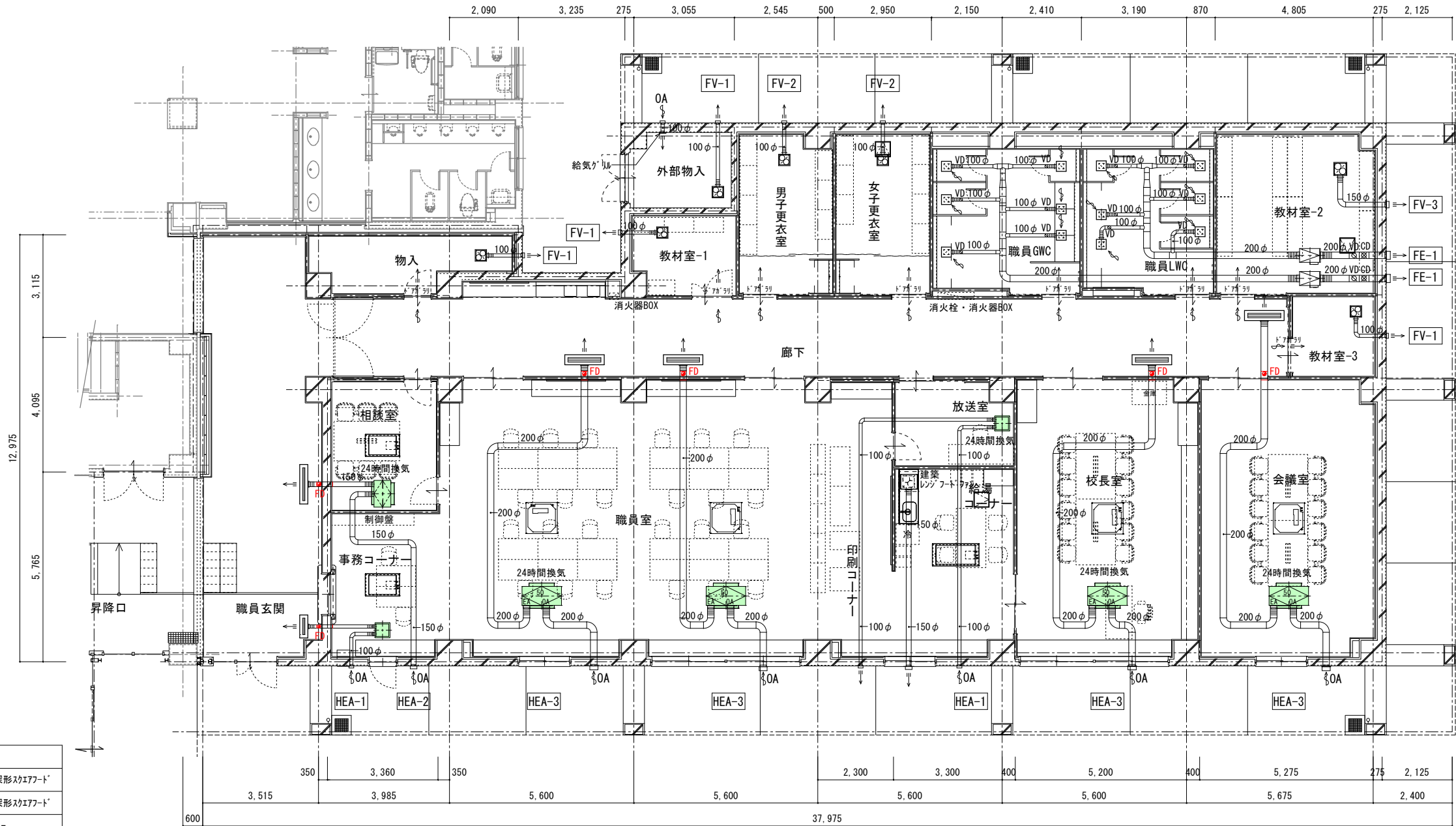
縮尺
1:150



外部物入	
OA=100m ² /h	1
給気グリル	
角形樹脂製100φ用	
ネットフィルター付、風量調節機構付	

GWC	
EA=90m ² /h	5
HS 150×150	
BOX 300×300×300H	
EA=50m ² /h	1
HS 100×100	
BOX 250×250×250H	

LWC	
EA=90m ² /h	5
HS 150×150	
BOX 300×300×300H	
EA=50m ² /h	1
HS 100×100	
BOX 250×250×250H	



凡例

記号	名称
← 排気	SUS製ステンレス防虫網付深形スリット
→ 給気	SUS製ステンレス防虫網付深形スリット
VD	風量調整ダンパー
CD	逆流防止ダンパー
FD	防火ダンパー

- ※1. OAの外全て、EAの外壁から2m以上はGW25tにて防露を行うこと。
- ※2. 全熱交換器のOAの外・EAの外は機器まで全てGW25tにて保温する事。
- ※3. 深形スリットは（参考品番：スリット付 AT-100HWS・AT-150HWS・AT-200HWS）指定色塗装とする。
- ※4. 天井高が1.0m以上ある為、室内機を自重支持用吊り具4本で構成される4面にそれぞれ2本の斜材でX形として固定し、固定金具は斜材固定タイプ、X型の振れ止め金具を使用し防振措置を行う事。
- 【参考品番：因幡電工 カロツク FL-VS（175mm1台分）】
- ・・・建築設備耐震設計施工指針 準拠品】
- （建築設備耐震設計施工指針2014年版の施工方法により行う事）
- ※5. 断熱材のある床や壁にフックにて吊り具を設置する場合は断熱材の補修を行う事。

職員玄関	
EA=180m ² /h (HEA-2)	1
BL-D 1,000 L	
BOX 250×1,200×300H	
EA=90m ² /h (HEA-1)	1
BL-D 500 L	
BOX 250×700×300H	

※BOX：GW25t内貼

廊下	
EA=360m ² /h (HEA-3)	4
BL-T 1,000 L	
BOX 300×1,200×350H	

※BOX：GW25t内貼

シックハウス計算書

階	室名	床面積 (m ²)	平均天井高	気積 (m ³)	換気種別	給気量 (A)	排気量 (B)	換気回数 (n)	機器記号 (風量)	備考
1	会議室	47.869	2.7	129.25	第1種	360	360	—	HEA-3	基準値0.3<2.78・・・OK
	校長室	48.300	2.7	130.41	〃	360	360	—	HEA-3	基準値0.3<2.76・・・OK
	職員室	156.574	2.7	422.75	〃	360	360	—	HEA-3	基準値0.3<0.85・・・OK
	放送室	10.083	2.7	27.23	〃	90	90	—	HEA-1	基準値0.3<3.30・・・OK
	相談室	13.692	2.7	36.97	〃	180	180	—	HEA-2	基準値0.3<4.86・・・OK



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号

吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
M-26

工事名称
図面名称

西部地区小学校災害復旧工事
換気設備 平面図（増築棟）

縮尺
1:150

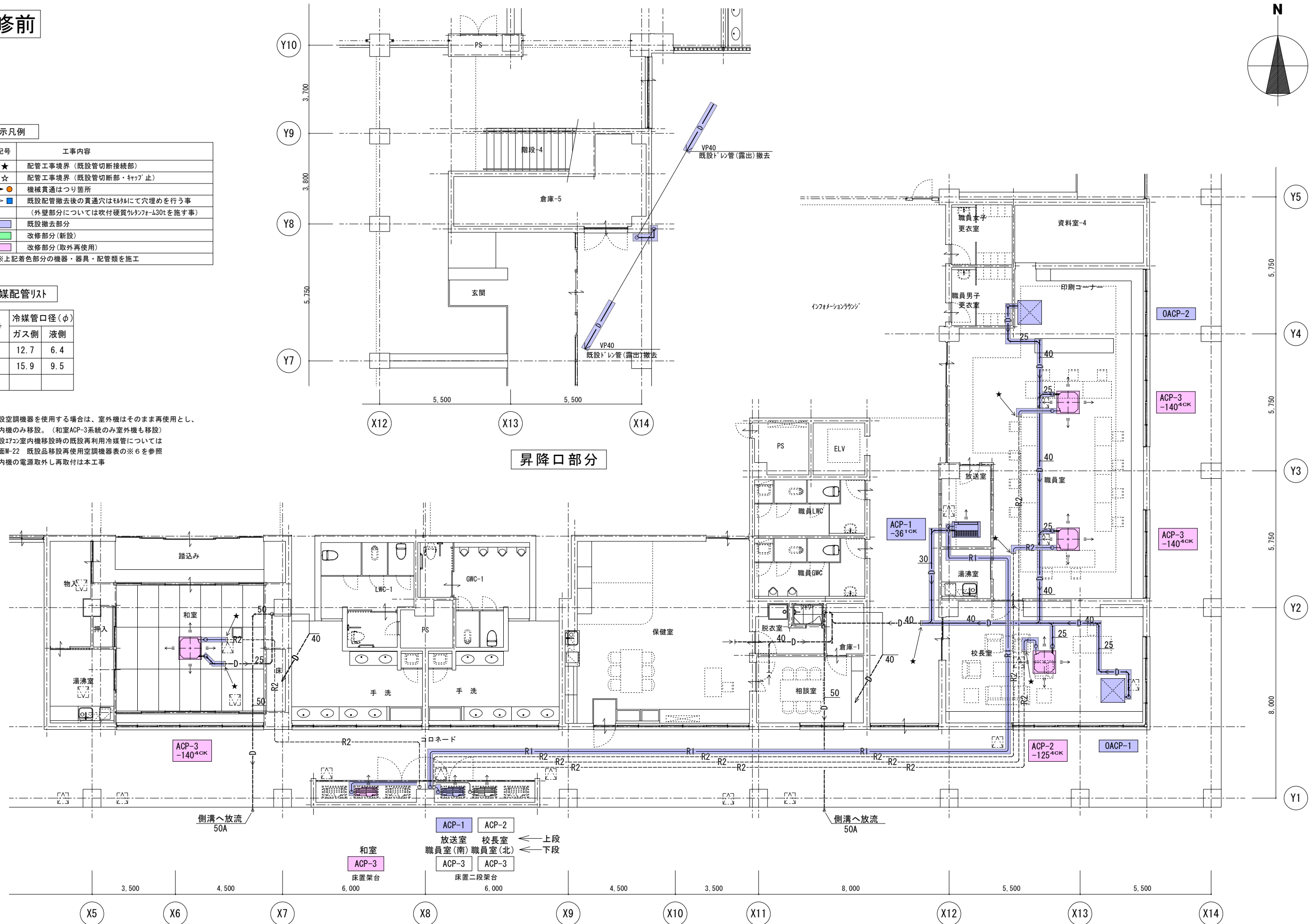
改修前

図示凡例	
図示記号	工事内容
★	配管工事境界（既設管切断接続部）
☆	配管工事境界（既設管切断部・キャップ止）
●	機械貫通はつり箇所
→	既設配管撤去後の貫通穴はモルタルにて穴埋めを行う事 （外壁部分については吹付硬質珪砂フォーム30tを施す事）
■	既設撤去部分
■	改修部分（新設）
■	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工	

冷媒配管リスト

記号	冷媒管口径(φ)	
	ガス側	液側
R-1	12.7	6.4
R-2	15.9	9.5

- ※1. 既設空調機器を使用する場合は、室外機はそのまま再使用とし、室内機のみ移設。（和室ACP-3系統のみ室外機も移設）
※2. 既設773室内機移設時の既設再利用冷媒管については
図面M-22 既設品移設再使用空調機器表の※6を参照
※3. 室内機の電源取外し再取付は本工事



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号

吉田 典生

製作年月日
26. 03

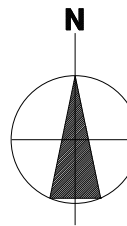
設計番号
25_42

図面番号
M-27

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
空調設備 1階平面図(既存棟 改修前)

縮尺
1:150

改修後



图例

図示記号	工事内容
——★	配管工事境界（既設管切断接続部）
——☆	配管工事境界（既設管切断部・キャップ止）
——▶●	機械貫通はつり箇所
——▷■	既設配管撤去後の貫通穴は 1/4 にて穴埋めを行う事 （外壁部分については吹付硬質ウレタンフォーム30tを施す事）
■	改修部分（新設）
■	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工	

※ 1. 既設空調機器を使用する場合は、室外機はそのまま再使用とし、室内機のみ移設。(和室ACP-3系統の室外機も移設)

※ 2. 既設773mm室内機移設時の既設再利用冷媒管については図面M-22 既設品移設再利用空調機器表の※6を参照

※ 3. 室内機の電源取外し再取付は本工事


※ 4. 室外機は転倒防止金具等に固定を行う工事

※ 5. 屋外露出の冷媒管は保温化粧ケースにて保護する工事

※ 6. 天井板が1.0m以上ある為、室内機を自重支持用吊钩4本で構成される4面にそれぞれ2本の斜材で×形として固定し、固定金具は吊钩固定式774×740型の振れ止めの金具を使用し防振措置を行う工事

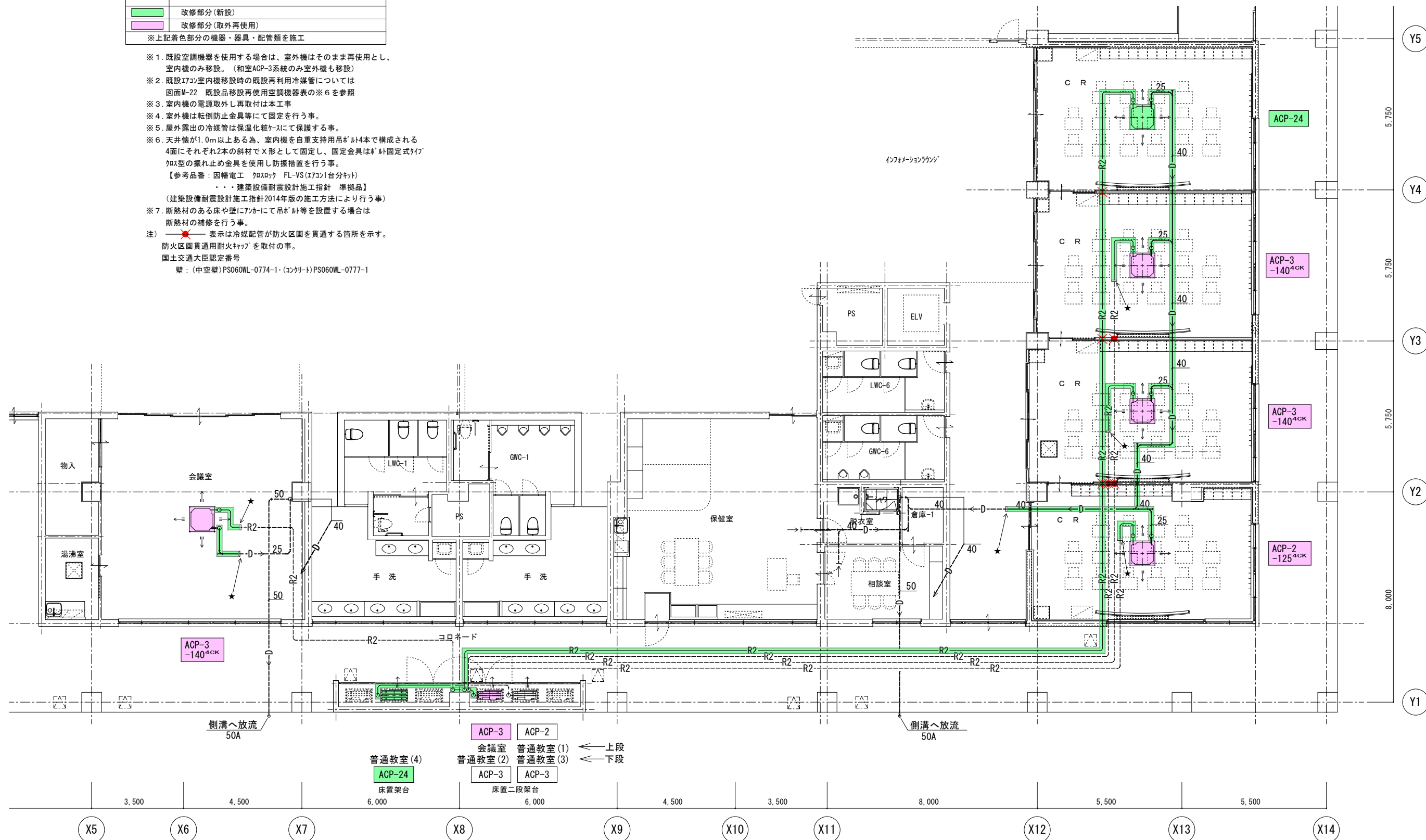
【参考品番：因幡電工 カマロク FL-VS(773mm分台付)】
・・・建築設備耐震設計施工指針 準拠品】
(建築設備耐震設計施工指針2014年版の施工方法により行う工事)

※ 7. 断熱材のある床や壁に774mmに付く吊钩4本を設置する場合は断熱材の補修を行う工事

注)  表示は冷媒配管が防火区画を貫通する箇所を示す。
防火区画貫通用耐火ハットプを取付の事。
国土交通大臣認定番号
仕 込 (中空壁) PS060WL-0774-1、(コンクリート) PS060WL-0777-1

冷媒配管リスト

記号	冷媒管口径(φ)	
	ガス側	液側
R・1	12.7	6.4
R・2	15.9	9.5



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26. 03

設計番号
25 42

図面番号
M-28

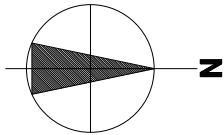
工事名称	西部地区小学校災害復旧工事
図面名称	空調設備 1 階平面図(既存棟 改修後)

縮尺
1:150

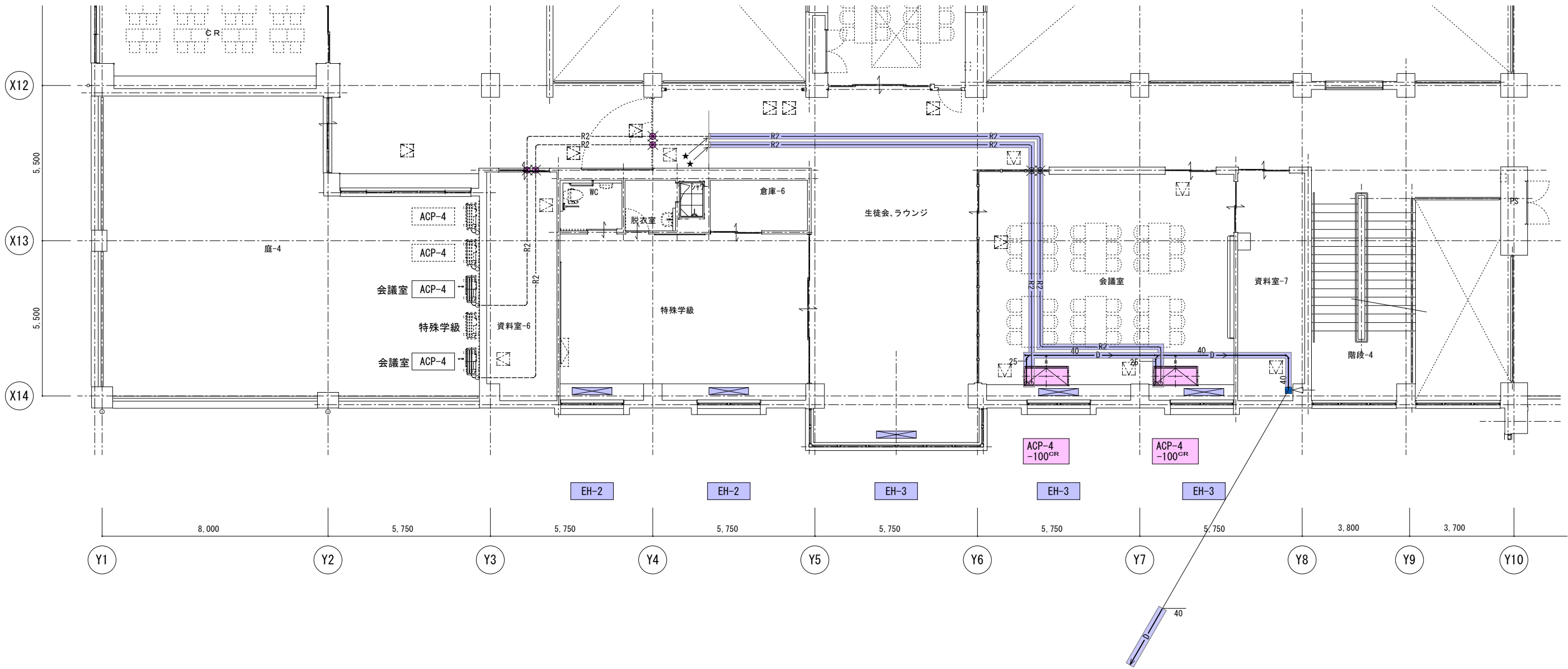
改修前

図示凡例	
図示記号	工事内容
—★—	配管工事境界（既設管切断接続部）
—☆—	配管工事境界（既設管切断部・キャップ止）
—●—	機械貫通はつり箇所
—□—	既設配管撤去後の貫通穴はモルタルにて穴埋めを行う事 （外壁部分については吹付硬質ウレタンフォーム30tを施す事）
■	既設撤去部分
■	改修部分（新設）
■	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工	

- ※1. 既設空調機器を使用する場合は、室外機はそのまま再使用とし、室内機のみ移設
※2. 既設17コ室内機移設時の既設再利用冷媒管については
図面M-22 既設品移設再使用空調機器表の※6を参照
※3. 室内機の電源取外し再取付は本工事



冷媒配管リスト		
記号	冷媒管口径(φ)	
	ガス側	液側
R-1	12.7	6.4
R-2	15.9	9.5



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26. 03

設計番号
25_42

図面番号
M-29

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
空調設備 2階平面図(既存棟 改修前)

縮尺
1:150

改修後

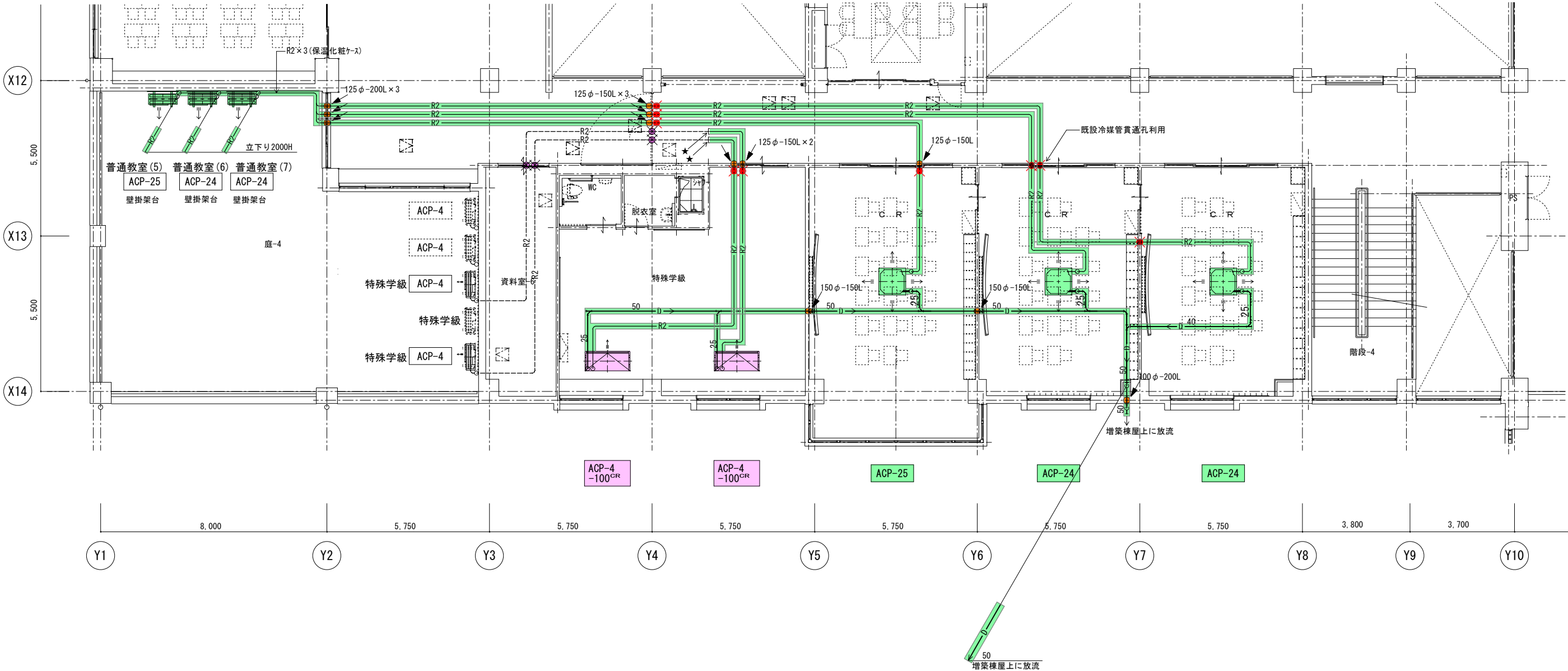
図示凡例

図示記号	工事内容
★	配管工事境界（既設管切断接続部）
☆	配管工事境界（既設管切断部・キャップ止）
●	機械貫通はつり箇所
□	既設配管撤去後の貫通穴はモルタルにて穴埋めを行う事 （外壁部分については吹付硬質ウレタンフォームを施す事）
	改修部分（新設）
	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・配管類を施工	

冷媒配管リスト

記号	冷媒管口径(φ)	
	ガス側	液側
R-1	12.7	6.4
R-2	15.9	9.5

- ※1. 既設空調機器を使用する場合は、室外機はそのまま再使用とし、室内機のみ移設
- ※2. 既設エアコン室内機移設時の既設再利用冷媒管については
図面M-22 既設品移設再使用空調機器表の※6を参照
- ※3. 室内機の電源取外し再取付は本工事
- ※4. 室外機は転倒防止金具等にて固定を行う事。
- ※5. 屋外露出の冷媒管は保温化被ケスにて保護する事。
- ※6. 天井懐が1.0m以上ある為、室内機を自重支持用吊钩4本で構成される
4面にそれぞれ2本の斜材でX形として固定し、固定金具は吊钩固定式タイプ
加圧型の振れ止め金具を使用し防振措置を行う事。
【参考品番：図幅電工 加圧ロック FL-VS (エアコン1台分吊钩)
・・・建築設備耐震設計施工指針 準拠品】
(建築設備耐震設計施工指針2014年版の施工方法により行う事)
- ※7. 断熱材のある床や壁にフックにて吊钩等を設置する場合は
断熱材の補修を行う事。
- 注) 表示は冷媒配管が防火区画を貫通する箇所を示す。
防火区画貫通用耐火キャップを取付の事。
国土交通大臣認定番号
壁：(中空壁) PS060WL-0774-1・(コンクリート) PS060WL-0777-1



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

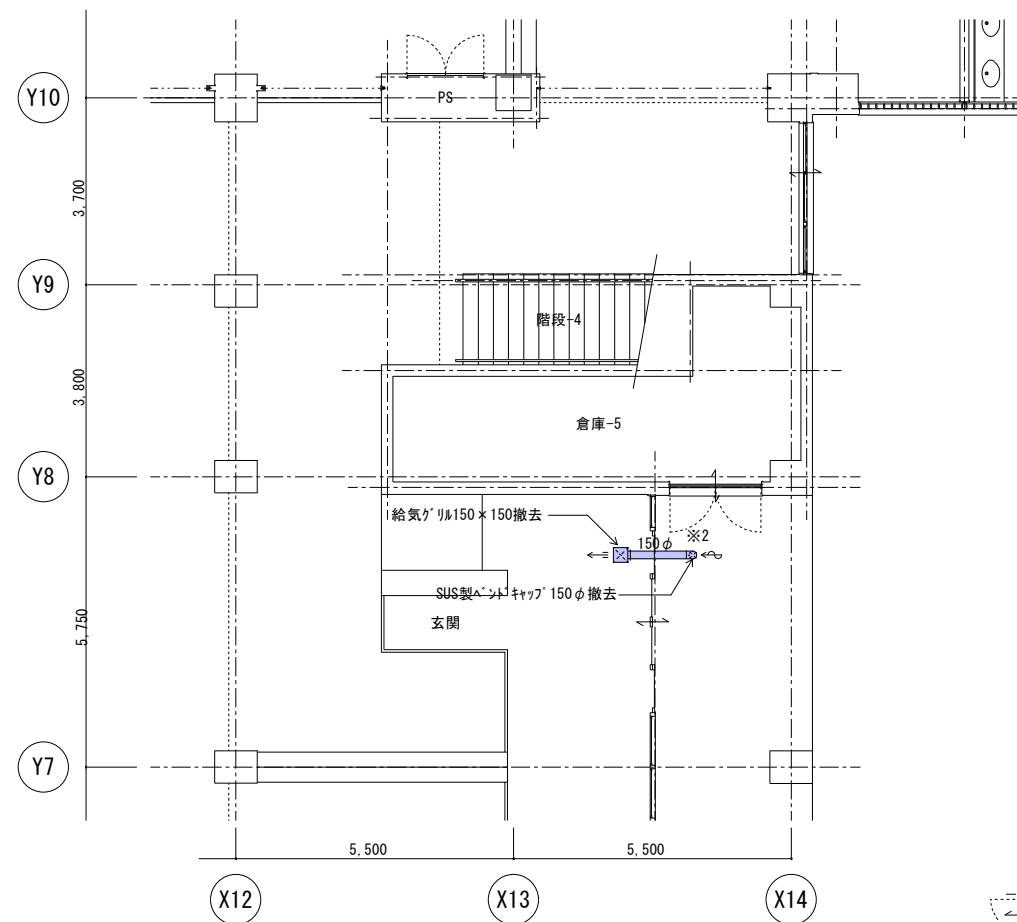
設計番号
25_42

図面番号
M-30

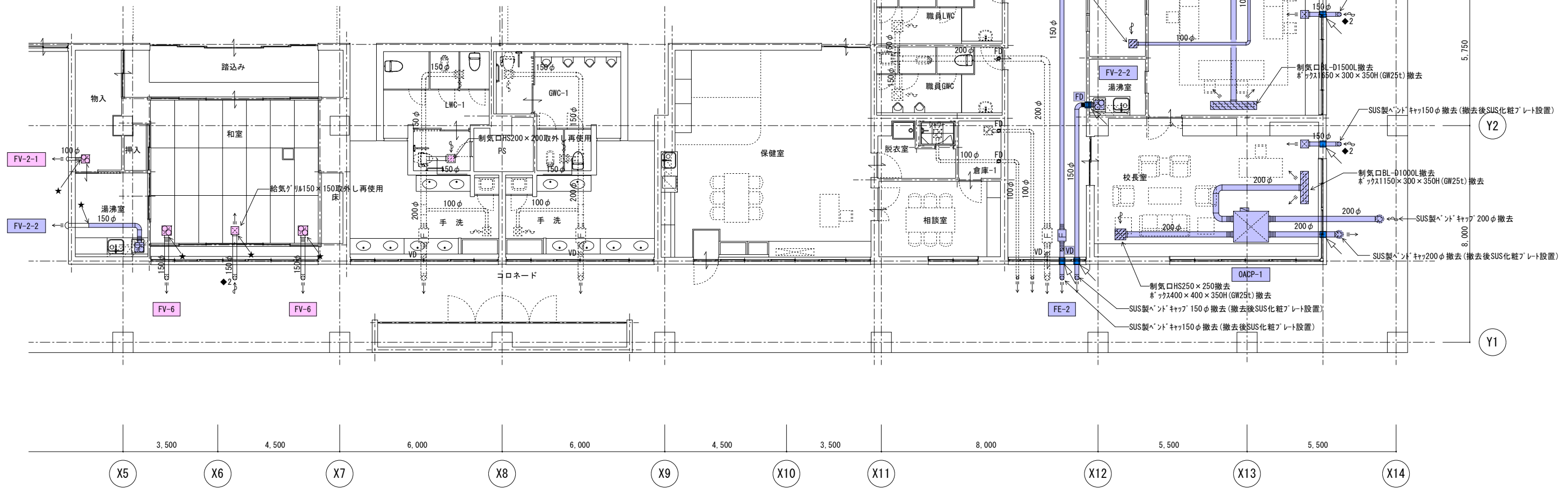
工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
空調設備 2階平面図(既存棟 改修後)

縮尺
1:150

改修前

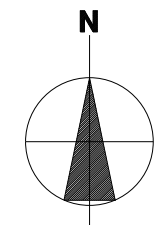


昇降口部分



図示凡例	
図示記号	工事内容
★	ダクト工事境界（既設ダクト切所接続部）
☆	ダクト工事境界（既設ダクト切断部・閉塞）
●	機械貫通はつり箇所
▽	既設ダクト撤去後の貫通穴はもみりにて穴埋めを行う事 （外壁部分については吹付硬質ウレタンフォーム30tを施す事）
■	既設撤去部分
■	改修部分（新設）
■	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・ダクト類を施工	






- ◆1 既設シカガス給気口150φ
屋外側SUS製防虫網・キャリ付丸形フード（P-18FSQ_A）
室内側フィルタ・風量調整機能付給気グリル（P-18GLF_A）
接続ダクト 150φ
- ◆2 既設シカガス給気口150φ
屋外側SUS製防虫網・キャリ付ベントキャップ（P-18RSQ）
室内側フィルタ・風量調整機能付給気グリル（P-18GLF_A）
接続ダクト 150φ



改修後

図示凡例	
図示記号	工事内容
——★	ダク工事境界（既設ダク切断接続部）
——☆	ダク工事境界（既設ダク切断部・閉塞）
—▶●	機械貫通はつり箇所
—▷■	既設ダク撤去後の貫通穴は $\phi 400$ にて穴埋めを行う事 （外壁部分については吹付硬質ウレタン $\phi 30t$ を施す事）
	改修部分（新設）
	改修部分（取外再使用）

※上記着色部分の機器・器具・ダク類を施工

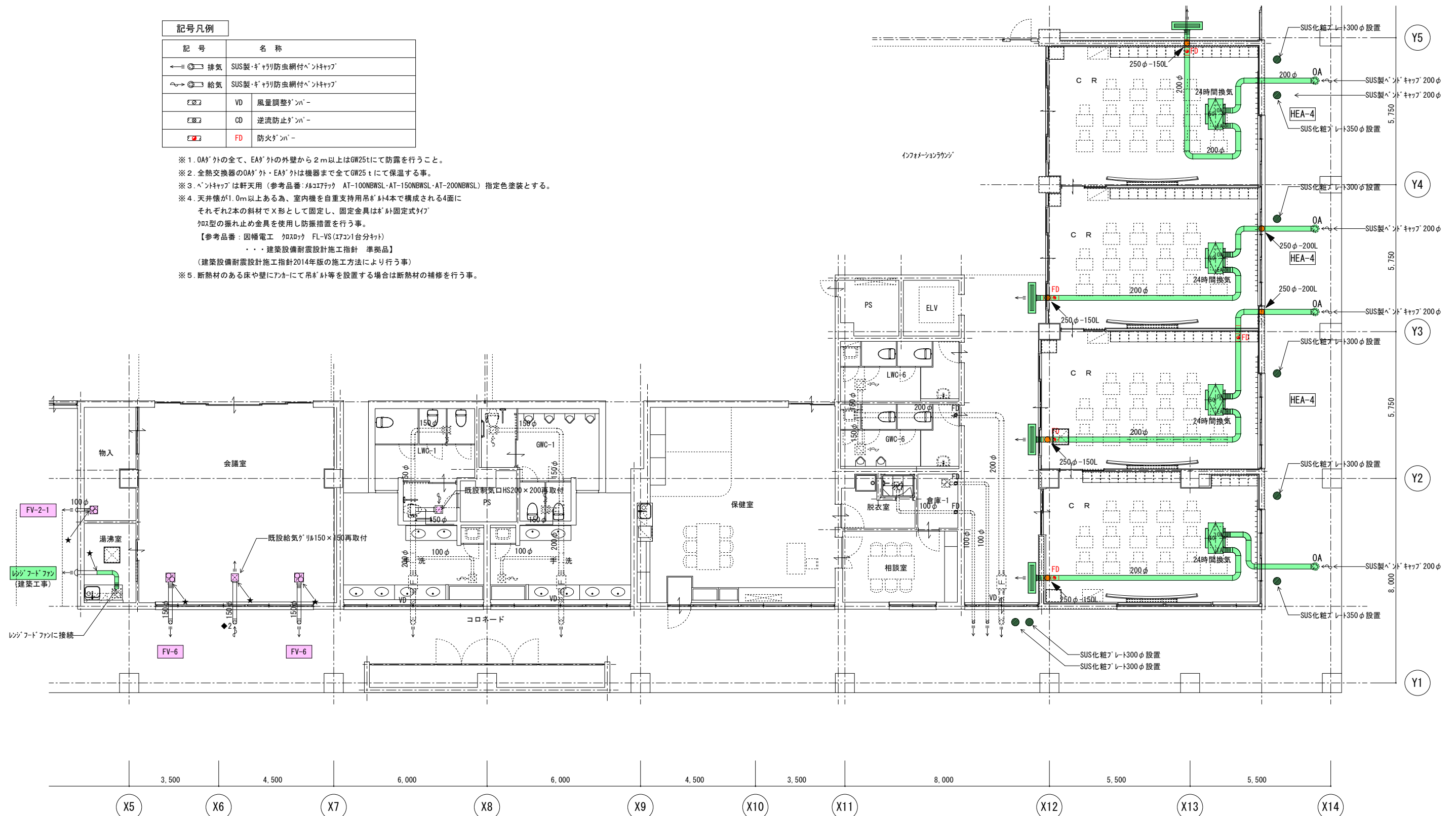
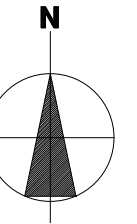
記号凡例	
記 号	名 称
 排気	SUS製・ギヤリ防虫網付ベントキャップ
 給気	SUS製・ギヤリ防虫網付ベントキャップ
 VD	風量調整ダンプ
 CD	逆流防止ダンプ
 FD	防火ダンプ

- ※ 1. 0A⁹ 外の全て、EA⁹ 外の外壁から 2m 以上はGW25tにて防露を行うこと。
- ※ 2. 全熱交換器の0A⁹ 外・EA⁹ 外は機器まで全てGW25 tにて保温する事。
- ※ 3. ベントキャップは軒天用（参考品番：メロテック AT-100NBWSL・AT-150NBWSL・AT-200NBWSL）指定色塗装とする。
- ※ 4. 天井横が1.0m以上ある為、室内機を自重支持用吊⁹吊⁹4本で構成される4面にそれぞれ2本の斜材でX形として固定し、固定金具は⁹吊⁹固定式⁹吊⁹型⁹の振れ止め金具を使用し防振措置を行う事。
- 【参考品番：因幡電工 クハロック FL-VS（エアコン台分付）
- ・ ・ ・ 建築設備耐震設計施工指針 準拠品】
- （建築設備耐震設計施工指針2014年版の施工方法により行う事）
- ※ 5. 断熱材のある床や壁にアールにて吊⁹吊⁹等を設置する場合は断熱材の補修を行う事。

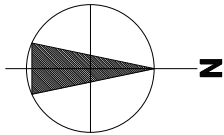
- ◆1 既設ツツカハ給気口 150φ
屋外側SUS製防虫網・ギヤリ付丸形フー(P-18FSQ_A)
室内側フイルター・風量調整機能付給気グリル(P-18GLF_A)
接続グット 150φ
- ◆2 既設ツツカハ給気口 150φ
屋外側SUS製防虫網・ギヤリ付ベントキャップ(P-18RSQ)
室内側フイルター・風量調整機能付給気グリル(P-18GLF_A)
接続グット 150φ

廊下	
EA=400m ³ /h (HEA-4)	
BL-T 1,000 L	
BOX 300 × 1,200 × 350H	

※BOX : GW25t内貼

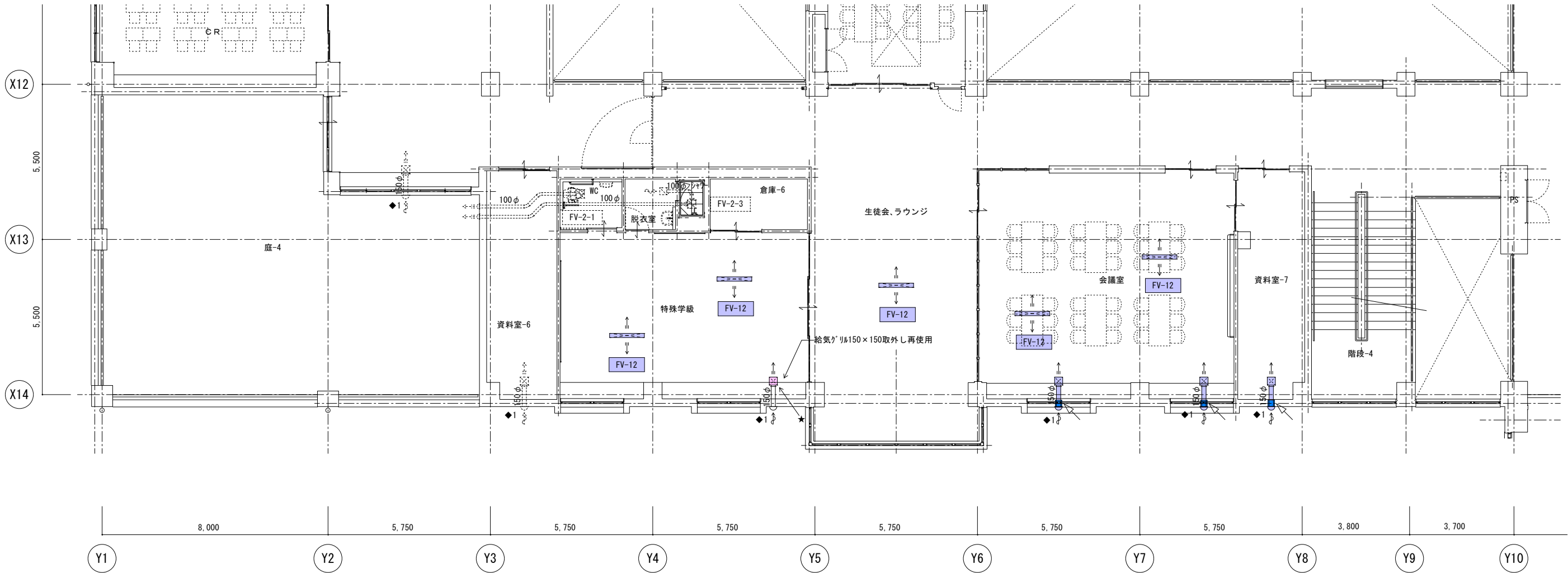


改修前










図示凡例	
図示記号	工事内容
—★—	ﾀﾞｯﾄ工事境界（既設ﾀﾞｯﾄ切断接続部）
—☆—	ﾀﾞｯﾄ工事境界（既設ﾀﾞｯﾄ切断部・閉塞）
—●—	機械貫通はつり箇所
—▷—	既設ﾀﾞｯﾄ撤去後の貫通穴はﾓﾙﾄﾙにて穴埋めを行う事 （外壁部分については吹付硬質ｶﾅﾌｵｰﾑ30tを施す事）
■	既設撤去部分
■	改修部分（新設）
■	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・ﾀﾞｯﾄ類を施工	

- ◆1 既設ｼｯｸﾊｳｽ給気口150φ
屋外側SUS製防虫網・ｷﾞﾔﾘ付丸形ﾌｰﾄﾞ（P-18FSQ_a）
室内側ﾌｨﾙﾀｰ・風量調整機能付給気ｸﾞﾘﾙ（P-18GLF_a）
接続ﾀﾞｯﾄ 150φ
- ◆2 既設ｼｯｸﾊｳｽ給気口150φ
屋外側SUS製防虫網・ｷﾞﾔﾘ付ﾊﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ（P-18RSQ）
室内側ﾌｨﾙﾀｰ・風量調整機能付給気ｸﾞﾘﾙ（P-18GLF_a）
接続ﾀﾞｯﾄ 150φ



改修後

図示凡例	
図示記号	工事内容
	ダクト工事境界（既設ダクト切断接続部）
	ダクト工事境界（既設ダクト切断部・閉塞）
	機械貫通はつり箇所
	既設ダクト撤去後の貫通穴は もみ にて穴埋めを行う事 （外壁部分については吹付硬質ウレタンフォーム30tを施す事）
	改修部分（新設）
	改修部分（取外再使用）
※上記着色色部分の機器・器具・ダクト類を施工	

記号凡例	
記 号	名 称
←≡  排気	SUS製・ギヤ71防虫網付深形フド*
→≡  給気	SUS製・ギヤ71防虫網付深形フド*
	VD 風量調整ギヤンパ-
	CD 逆流防止ギヤンパ-
	FD 防火ギヤンパ-

※ 1. OA9'外の全て、EA9'外の外壁から2m以上はGW25tにて防露を行うこと。

※ 2. 全熱交換器のOA9'外・EA9'外は機器まで全てGW25tにて保温する事。

※ 3. 深形7'ドは（参考品番：ハコワテック AT-100FWS5・AT-150FWS5・AT-200FWS5）指定色塗装とする。

※ 4. 天井機が⁶1.0m以上ある為、室内機を自重支持用吊⁷4本で構成される4面にそれぞれ2本の斜材でX形として固定し、固定金具は⁸4'ド固定式7'ド⁹型型の振れ止め金具を使用し防振措置を行う事。

【参考品番： 因幡電気 ハコワテック FL-VS(インツ1台分キツ)

・・・建築設備耐震設計施工指針 準拠品

（建築設備耐震設計施工指針2014年版の施工方法により行う事）

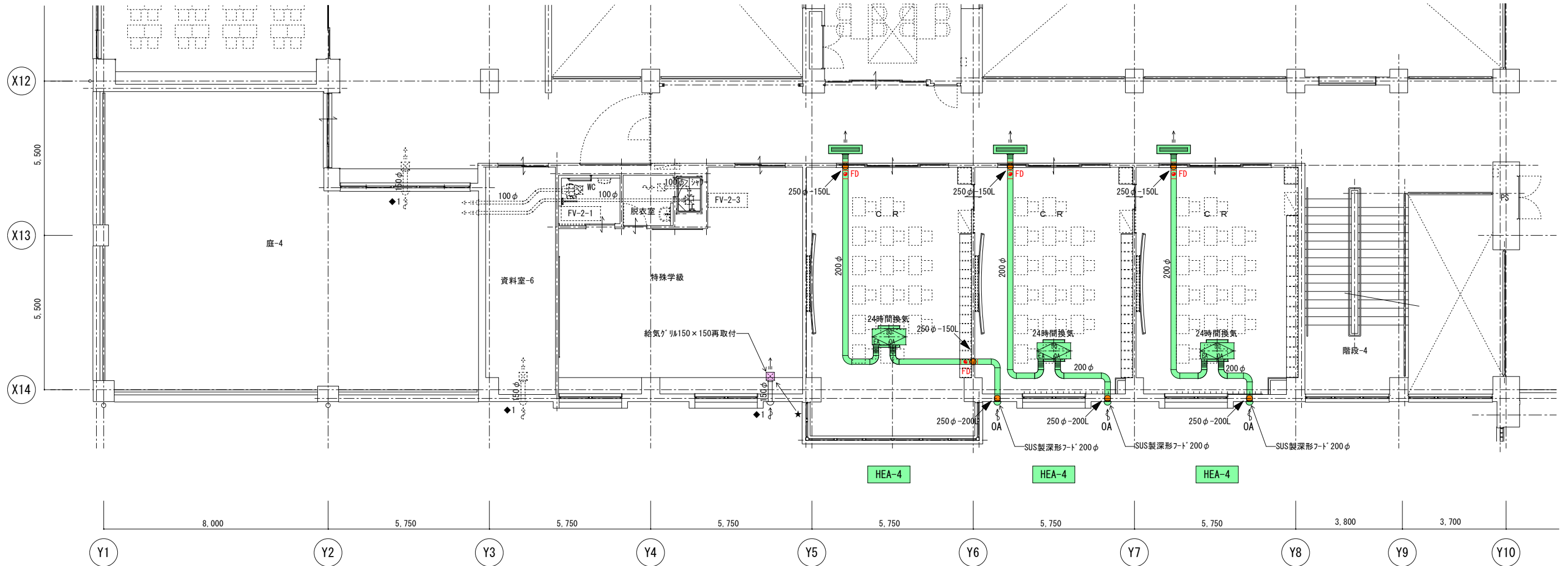
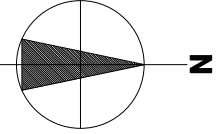
※ 5. 断熱材のある床や壁に7'ドににて吊⁷4等を設置する場合は断熱材の補修を行う事。

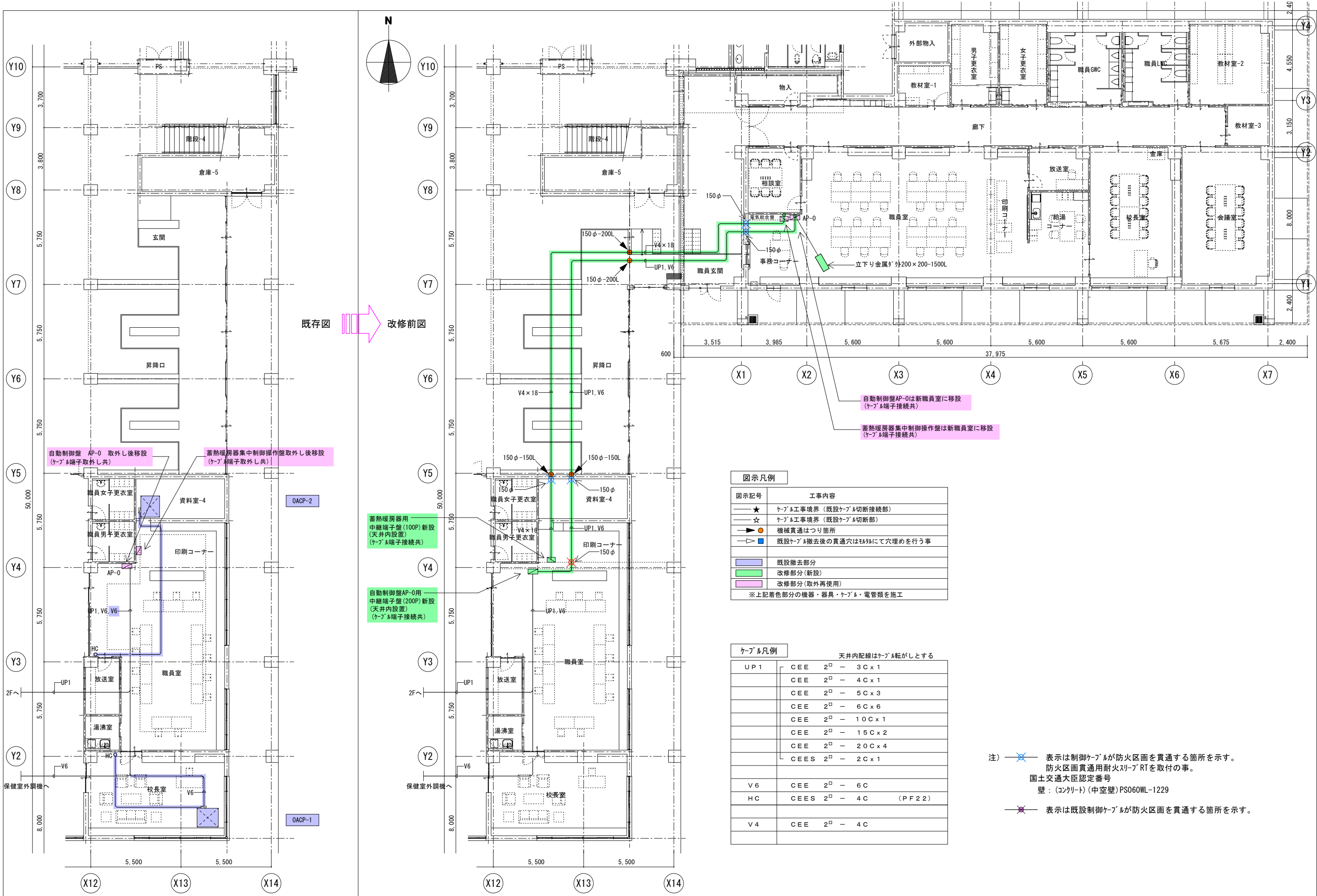
廊下	
EA=400m ³ /h (HEA-4)	
BL-T 1,000 L	3
BOX 300×1,200×350H	

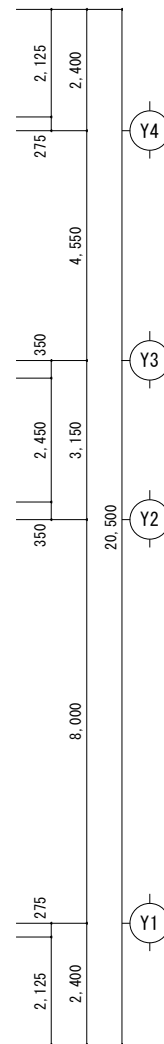
※BOX : GW25t内貼

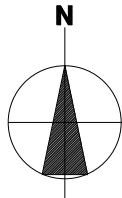
※BOX : GW25t内貼

- ◆1 既設シックハス給気口150φ
屋外側SUS製防虫網・ギャリ付丸形フード（P-18FSQ₄）
室内側フィルター・風量調整機能付給気口Ⅱ（P-18GLF₄）
接続ダクト 150φ
- ◆2 既設シックハス給気口150φ
屋外側SUS製防虫網・ギャリ付ベンドキャップ（P-18RSQ）
室内側フィルター・風量調整機能付給気口Ⅱ（P-18GLF₄）
接続ダクト 150φ





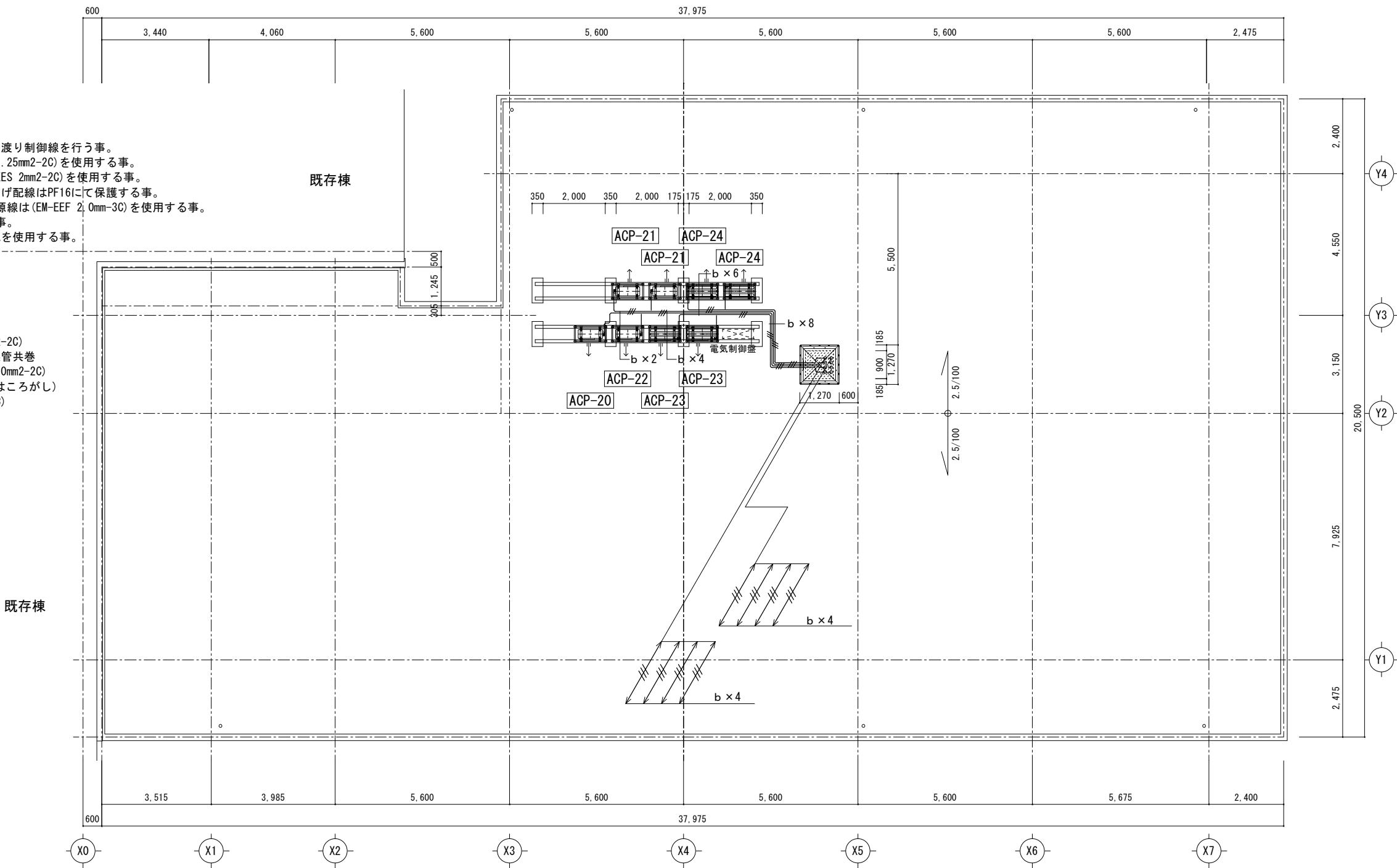




- ※1. 屋外機～室内機～室内機～運転リコンの渡り制御線を行う事。
※2. 制御線 (a) は無極性2線式 (EM-CEES 1.25mm2-2C) を使用する事。
※3. 集中制御線 (d) は無極性2線式 (EM-CEES 2mm2-2C) を使用する事。
※4. 制御線は天井内はころがし、壁内立下げ配線はPF16にて保護する事。
※5. 屋外機～室内機～室内機間の連絡・電源線は (EM-EEF 2.0mm-3C) を使用する事。
※6. 連絡・電源線は冷媒管に共巻きとする事。
※7. 運転リコン取付には2個用埋込スイッチボックスを使用する事。

★：既設ケーブル取外し再接続

- 【ケーブル仕様】
(天井内配線はケーブルころがしとする)
a：制御線・・・無極性2線式 (EM-CEES 1.25mm2-2C)
b：連絡・電源線・・・ (EM-EEF 2.0mm-3C) -冷媒管共巻
c：既設制御線・・・無極性2線式 (EM-CEES 2.0mm2-2C)
～再利用 (冷媒管共巻又はころがし)
d：制御線・・・無極性2線式 (EM-CEES 2mm2-2C)



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26. 03

設計番号
25_42

図面番号
M-37

工事名称
図面名称




西部地区小学校災害復旧工事

自動制御設備 屋上平面図 (増築棟)

縮尺

1:150

改修前

図示凡例	
図示記号	工事内容
——★	ケーブル工事境界（既設ケーブル切断接続部）
——☆	ケーブル工事境界（既設ケーブル切断部）
—▶●	機械貫通はつり箇所
—▷■	既設ケーブル撤去後の貫通穴は残りにて穴埋めを行う事
	既設撤去部分
	改修部分（新設）
	改修部分（取外再使用）

※上記着色部分の機器・器具・ケーブル・電管類を施工

MRC : 集中管理コントローラー (1φ100V電源は電気工事)

ITF : 中継インターフェース

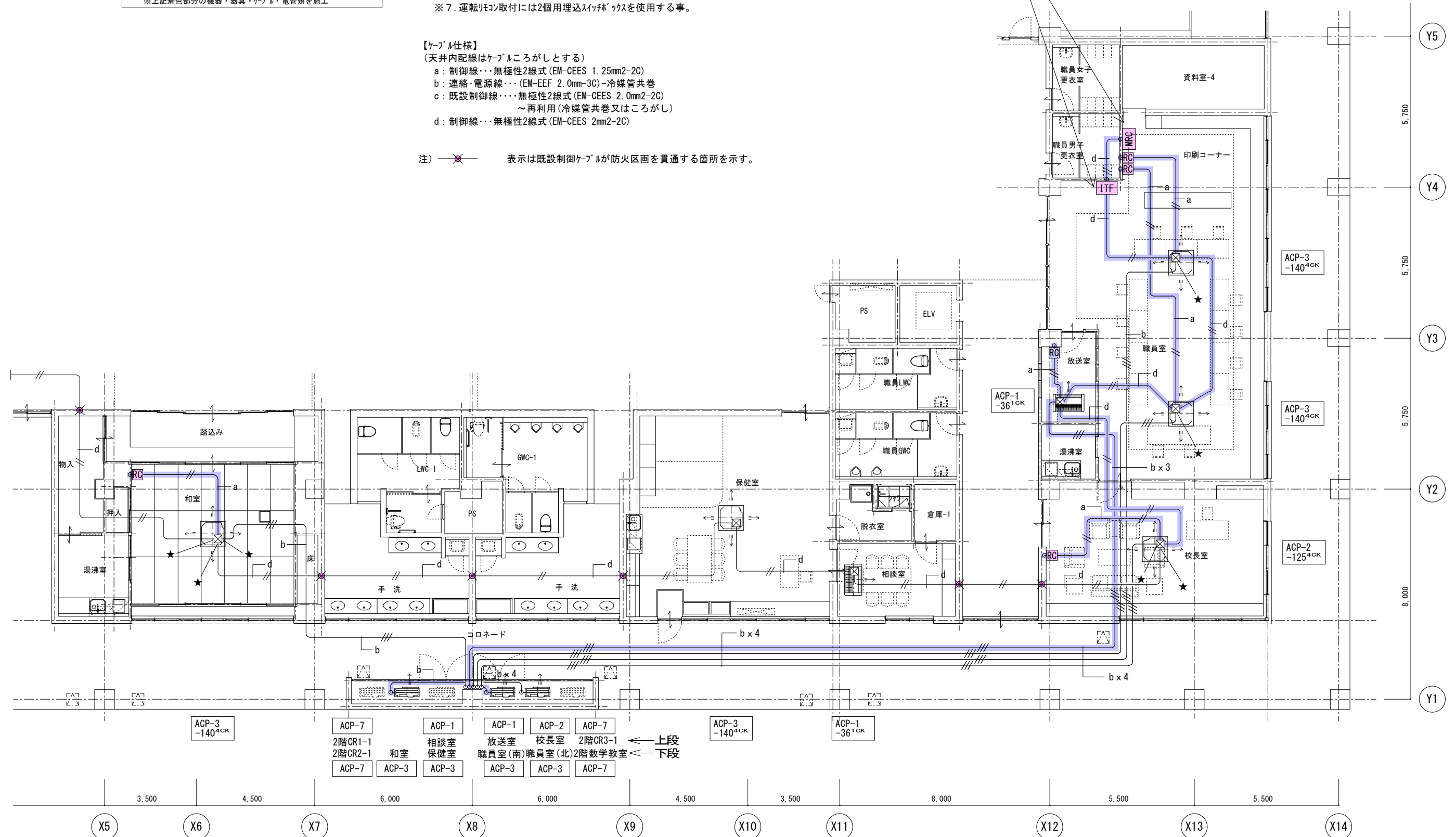
RC : 手元運転リモコン

- ※ 1. 屋外機～室内機～室内機～運転転コンの渡り制御線を行う事。
- ※ 2. 制御線 (a) は無極性2線式 (EM-CEES 1.25mm2-2C) を使用する事。
- ※ 3. 集中制御線 (d) は無極性2線式 (EM-CEES 2mm2-2C) を使用する事。
- ※ 4. 制御線は天井内はころかし、壁内立下げ配線はPF16にて保護する事。
- ※ 5. 屋外機～室内機～室内機間の連絡・電源線は (EM-EEF 2.0mm-3C) を使用する事。
- ※ 6. 連絡・電源線は冷媒管に共巻きとする事。
- ※ 7. 運転転コン取付には2個用埋込スイッチボックスを使用する事。

【ケーブル仕様】
(天井内配線はケーブルころがしとする)

- a：制御線・・・無極性2線式 (EM-CEES 1.25mm2-2C)
- b：連絡・電源線・・・(EM-EEF 2.0mm-3C)-冷媒管共巻
- c：既設制御線・・・無極性2線式 (EM-CEES 2.0mm2-2C)
～再利用 (冷媒管共巻又はころがし)
- d：制御線・・・無極性2線式 (EM-CEES 2mm2-2C)

注) 表示は既設制御ケーブルが防火区画を貫通する箇所を示す。



改修後

図示凡例	
図示記号	工事内容
★	ケーブル工事境界（既設ケーブル切断接続部）
☆	ケーブル工事境界（既設ケーブル切断部）
●	機械貫通はつり箇所
▽	既設ケーブル撤去後の貫通穴はモルタルにて穴埋めを行う事
	既設撤去部分
	改修部分（新設）
	改修部分（取外再利用）
※上記着色部分の機器・器具・ケーブル・電管類を施工	

MRC：集中管理コントローラ（1φ100V電源は電気工事）

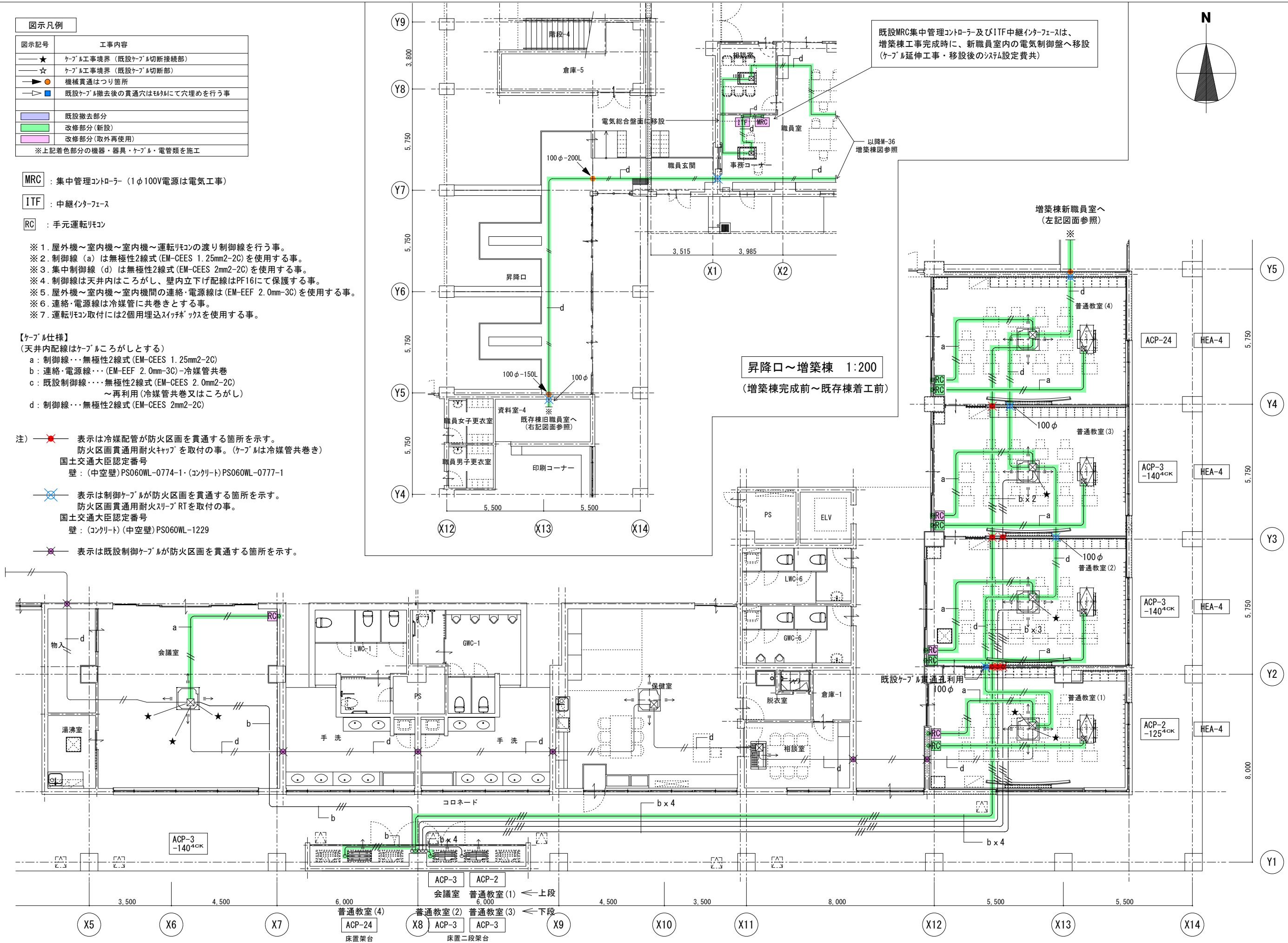
ITF：中継インターフェース

RC：手元運転リモコン

- ※1. 屋外機～室内機～室内機～運転リモコンの渡り制御線を行う事。
※2. 制御線（a）は無極性2線式（EM-CEES 1.25mm²-2C）を使用する事。
※3. 集中制御線（d）は無極性2線式（EM-CEES 2mm²-2C）を使用する事。
※4. 制御線は天井内はころがし、壁内立下げ配線はPF16にて保護する事。
※5. 屋外機～室内機～室内機間の連絡・電源線は（EM-EF 2.0mm²-3C）を使用する事。
※6. 連絡・電源線は冷媒管に共巻きとする事。
※7. 運転リモコン取付には2個用埋込スイッチボックスを使用する事。

【ケーブル仕様】
（天井内配線はケーブルころがしとする）
a：制御線・・・無極性2線式（EM-CEES 1.25mm²-2C）
b：連絡・電源線・・・（EM-EF 2.0mm²-3C）-冷媒管共巻
c：既設制御線・・・無極性2線式（EM-CEES 2.0mm²-2C）
～再利用（冷媒管共巻又はころがし）
d：制御線・・・無極性2線式（EM-CEES 2mm²-2C）

- 注）
表示は冷媒配管が防火区画を貫通する箇所を示す。
防火区画貫通用耐火キャップを取付の事。（ケーブルは冷媒管共巻き）
国土交通大臣認定番号
壁：（中空壁）PS060WL-0774-1（コンクリート）PS060WL-0777-1
表示は制御ケーブルが防火区画を貫通する箇所を示す。
防火区画貫通用耐火スリーブRTを取付の事。
国土交通大臣認定番号
壁：（コンクリート）（中空壁）PS060WL-1229
表示は既設制御ケーブルが防火区画を貫通する箇所を示す。



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
M-39

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
自動制御設備 1階平面図(既存棟 改修後)

縮尺
1:150, 1/200

改修前

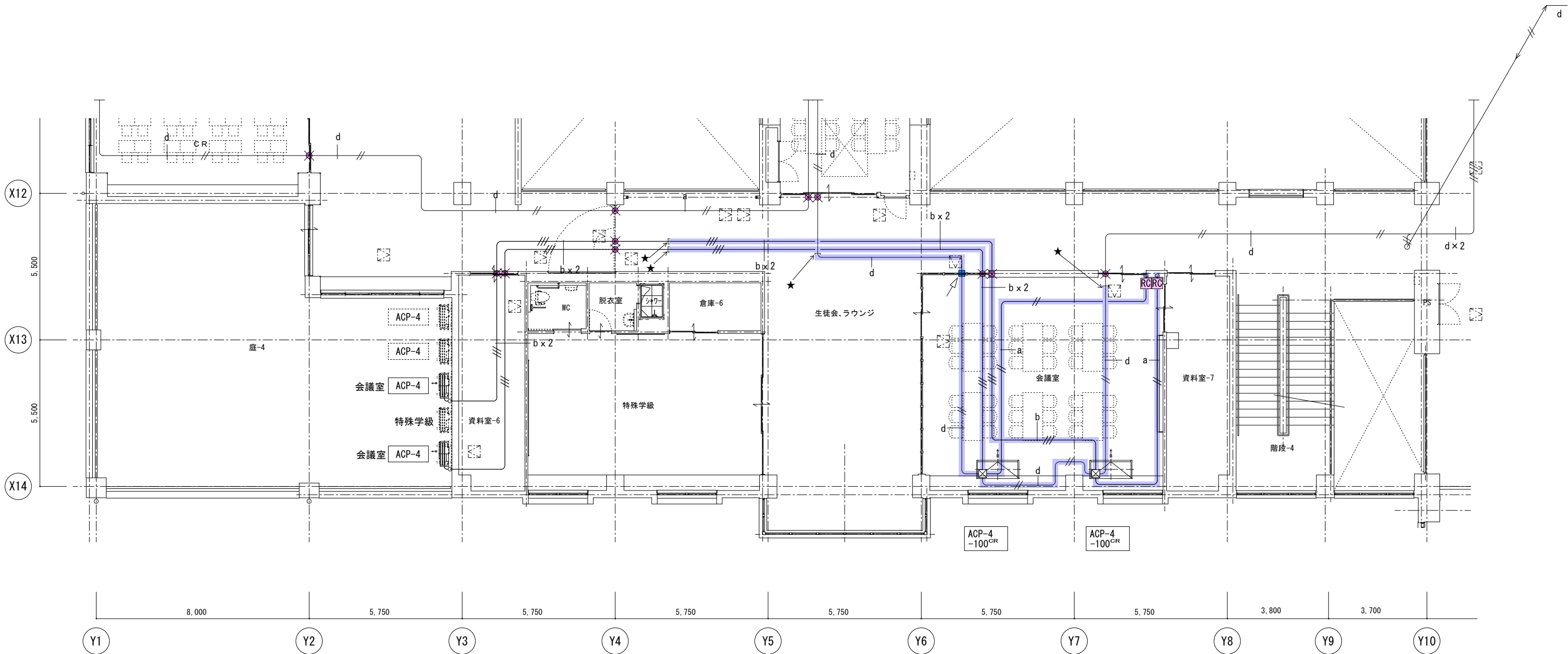
図示凡例	
図示記号	工事内容
—★—	ケーブル工事境界（既設ケーブル切断接続部）
—☆—	ケーブル工事境界（既設ケーブル切断部）
—●—	機械貫通はつり箇所
—▷—	既設ケーブル撤去後の貫通穴はモルタルにて穴埋めを行う事
	既設撤去部分
	改修部分（新設）
	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・ケーブル・電管類を施工	

RC：手元運転リモコン

- ※1. 屋外機～室内機～室内機～運転リモコンの渡り制御線を行う事。
※2. 制御線（a）は無極性2線式（EM-CEES 1.25mm2-2C）を使用する事。
※3. 集中制御線（d）は無極性2線式（EM-CEES 2mm2-2C）を使用する事。
※4. 制御線は天井内はころがし、壁内立下げ配線はPF16にて保護する事。
※5. 屋外機～室内機～室内機間の連絡・電源線は（EM-EEF 2.0mm-3C）を使用する事。
※6. 連絡・電源線は冷媒管に共巻きとする事。
※7. 運転リモコン取付には2個用埋込スイッチボックスを使用する事。

- 【ケーブル仕様】
（天井内配線はケーブルころがしとする）
a：制御線・・・無極性2線式（EM-CEES 1.25mm2-2C）
b：連絡・電源線・・・（EM-EEF 2.0mm-3C）-冷媒管共巻
c：既設制御線・・・無極性2線式（EM-CEES 2.0mm2-2C）
～再利用（冷媒管共巻又はころがし）
d：制御線・・・無極性2線式（EM-CEES 2mm2-2C）

注）—✕— 表示は既設制御ケーブルが防火区画を貫通する箇所を示す。



改修後

図示凡例	
図示記号	工事内容
—★—	ケーブル工事境界（既設ケーブル切断接続部）
—☆—	ケーブル工事境界（既設ケーブル切断部）
—●—	機械貫通はつり箇所
—□—	既設ケーブル撤去後の貫通穴は移動にて穴埋めを行う事
	既設撤去部分
	改修部分（新設）
	改修部分（取外再使用）
※上記着色部分の機器・器具・ケーブル・電管類を施工	

RC：手元運転リモコン

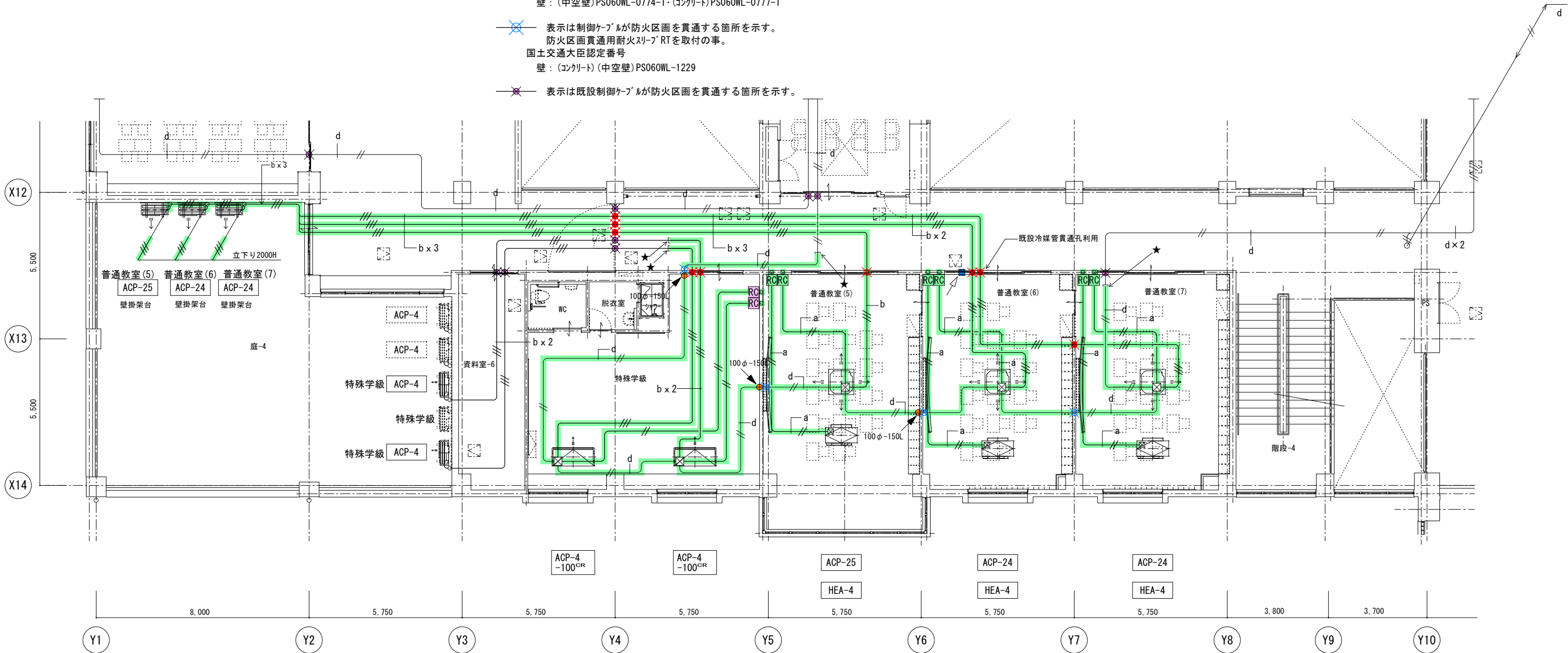
- ※1. 屋外機～室内機～室内機～運転リモコンの渡り制御線を行う事。
※2. 制御線（a）は無極性2線式（EM-CEES 1.25mm2-2C）を使用する事。
※3. 集中制御線（d）は無極性2線式（EM-CEES 2mm2-2C）を使用する事。
※4. 制御線は天井内はころがし、壁内立下げ配線はPF16にて保護する事。
※5. 屋外機～室内機～室内機間の連絡・電源線は（EM-EEF 2.0mm-3C）を使用する事。
※6. 連絡・電源線は冷媒管に共巻きとする事。
※7. 運転リモコン取付には2個用埋込スイッチボックスを使用する事。

- 【ケーブル仕様】
（天井内配線はケーブルころがしとする）
a：制御線・・・無極性2線式（EM-CEES 1.25mm2-2C）
b：連絡・電源線・・・（EM-EEF 2.0mm-3C）-冷媒管共巻
c：既設制御線・・・無極性2線式（EM-CEES 2.0mm2-2C）
～再利用（冷媒管共巻又はころがし）
d：制御線・・・無極性2線式（EM-CEES 2mm2-2C）

- 注）
表示は冷媒配管が防火区画を貫通する箇所を示す。
防火区画貫通用耐火キャップを取付の事。（ケーブルは冷媒管共巻き）
国土交通大臣認定番号
壁：（中空壁）PS060WL-0774-1・（コンクリート）PS060WL-0777-1

表示は制御ケーブルが防火区画を貫通する箇所を示す。
防火区画貫通用耐火スリーブRTを取付の事。
国土交通大臣認定番号
壁：（コンクリート）（中空壁）PS060WL-1229

表示は既設制御ケーブルが防火区画を貫通する箇所を示す。



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

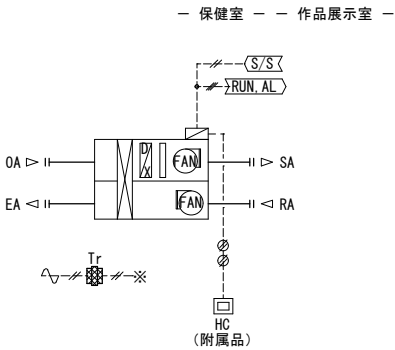
図面番号
M-41

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
自動制御設備 2階平面図(既存棟 改修後)

縮尺
1:150

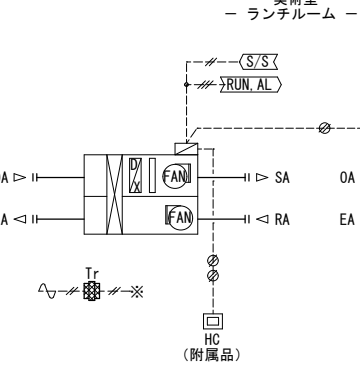
参考図

1. 熱回収型エアコン制御-1 (2セット)



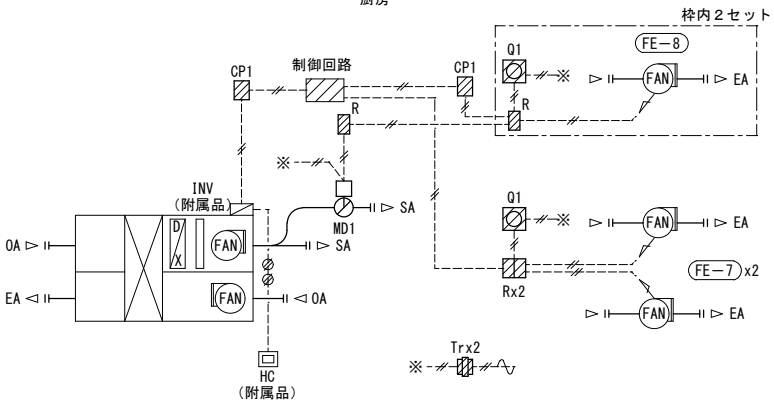
- <制御内容>
- 1) 手元リモコン配線工事
 - 2) 遠方操作盤からの信号による操作、監視

2. 熱回収型エアコン制御-2 (2セット)



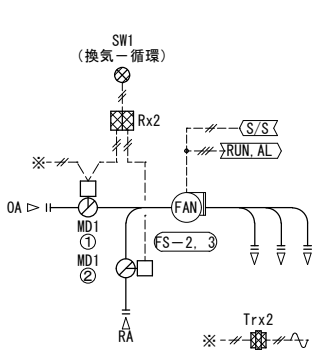
- <制御内容>
- 1) 手元リモコン配線工事
 - 2) 遠方操作盤からの信号による操作、監視

3. 外気処理エアコン制御 (1セット)



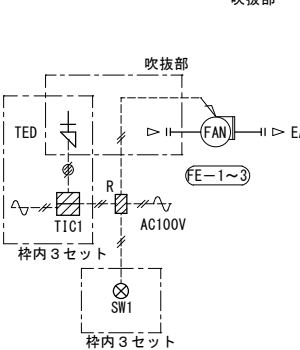
- <制御内容>
- 1) 排気ファンの運転状況による外気処理エアコンのファンのインバーター制御 (40% ~ 100%)
 - 2) 排気ファン (FE-8) との連動による給気MDの開閉制御
 - 3) 手元リモコン配線工事

4. ダンパー切替制御 (2セット)



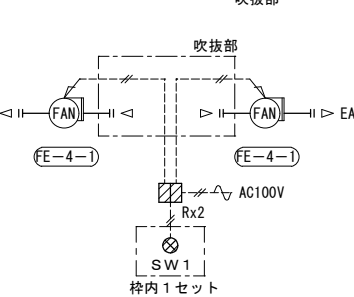
- <制御内容>
- 1) スイッチ (手動) によるダンパー (MD1) の切替制御

5. 換気制御-1 (6セット)



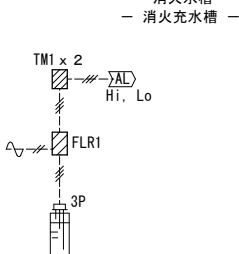
- <制御内容>
- 1) 温度によるトップライト部の排気ファンのオンオフ制御 (3セット)
 - 2) 手元スイッチによるトップライト部の排気ファンのオンオフ制御 (3セット)

6. 換気制御-2 (2セット)



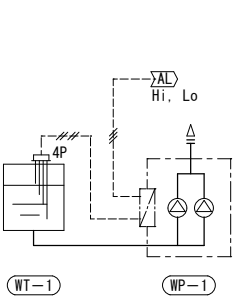
- <制御内容>
- 1) 手動スイッチによる排気ファンのオンオフ操作

7. 水槽水位警報 (2セット)



- <制御内容>
- 1) 水槽の満水、減水警報出力

8. 電極配線工事 (1セット)



9. 操作警報表示 (AP-0)

名 称	操 作	表 示	故障・警報	備 考
熱回収型エアコン	○ x 4	○ x 4	○ x 4	
デリバントファン	○ x 3	○ x 3	○ x 3	2 M-1
ダンパー切替	○ x 2	○ x 2		
飲料加圧ポンプ			○	一括
動力盤M-1 異常		○	○	一括
消火設備 異常		○	○	一括
受変電設備			○	一括
床暖 故障		○	○	附属盤
ポンプアップ槽 異常		○	○	附属盤

自動制御機器表

記 号	名 称	参 考 型 式	備 考
TED	室内用温度検出器	TDN10-300	Pt100オーム
H1	室内用ヒューズ	HSC-120	
TIC1	温度指示調節器	EDY3101SR	
MD1	ダンパー操作器	DA1	
Q1	開度設定器	FZA61J	
CP1	加算演算器	CP2EA	
TP1	サモプレート	TP-1	
Tr	トランス	TA-25	
FLR1	電極リレー	61FI	3P用
SW1	切替スイッチ		
TM1	タイマー		
R	補助リレー		

自動制御盤

盤記号	形 状		参 考 寸 法(mm)			収 納 系 統		
	壁掛	自立	W	H	D			
A P - 0	○		700	1200	250	④(SW1x2)	⑥(SW1)	⑦ ⑨
A P - 1	○		400	600	200	③		
A P - 2	○		600	900	250	⑤ ⑥		777用75×75×8組込

凡例

- ・ - - - は電線とその本数を示す。
- ・ - - - はシールド線を示す。
- ・ - - - はAC100V又はAC200Vを示す。
- ・ YAL はAP-0への信号を示す。
- ・ ZZZ は盤内収納機器を示す。
- ・ Tr はTr, BOX内収納機器を示す。

増築棟(新職員室内)電気工事盤面に移設



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
M-42

工事名称

西部地区小学校災害復旧工事

図面名称

自動制御設備 既存系統図・機器表 (参考図)

縮尺

—